

平針住宅集会所建設工事

番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺
A00	表紙、図面目録		S01	木工事標準仕様書1		G01	外構工事特記仕様書1		E01	電気設備工事特記仕様書1	
A01	木造工事特記仕様書1		S02	木工事標準仕様書2		G02	外構工事特記仕様書2		E02	電気設備工事特記仕様書2	
A02	木造工事特記仕様書2		S03	木工事標準仕様書3		G03	外構工事特記仕様書3		E03	電気設備工事特記仕様書3	
A03	木造工事特記仕様書3		S04	基礎伏図	A1: 1/20、1/50 A3: 1/40、1/100	G04	外構工事特記仕様書4		E04	電気設備工事特記仕様書4	
A04	木造工事特記仕様書4		S05	土台伏図	A1: 1/50 A3: 1/100	G05	外構工事特記仕様書5		E05	電気設備工事特記仕様書5	
A05	木造工事特記仕様書5		S06	小屋伏図	A1: 1/20、1/50 A3: 1/40、1/100	G06	外構配置図(施設)	A1: 1/200 A3: 1/400	E06	電気設備配置図	A1: 1/200 A3: 1/400
A06	木造工事特記仕様書6		S07	屋根伏図、小屋伏図	A1: 1/50 A3: 1/100	G07	外構配置図(舗装)	A1: 1/200 A3: 1/400	E07	電気設備機器姿図、分電盤図	
A07	木造工事特記仕様書7		S08	屋根伏図	A1: 1/50 A3: 1/100	G08	外構配置図(排水)	A1: 1/200 A3: 1/400	E08	幹線・コンセント設備図	A1: 1/100 A3: 1/200
A08	木造工事特記仕様書8		S09	軸組図1	A1: 1/50 A3: 1/100	G09	外構詳細図1	A1: 1/10、1/20 A3: 1/20、1/40	E09	電灯設備図	A1: 1/100 A3: 1/200
A09	木造工事特記仕様書9		S10	軸組図2	A1: 1/50 A3: 1/100	G10	外構詳細図2	A1: 1/30、1/50 A3: 1/60、1/100	E10	弱電設備平面図	A1: 1/100 A3: 1/200
A10	木造工事特記仕様書10		S11	軸組図3	A1: 1/50 A3: 1/100	G11	外構詳細図3	A1: 1/30、1/50、1/100 A3: 1/60、1/100、1/200	E11	自動火災報知設備平面図	A1: 1/100 A3: 1/200
A11	木造工事特記仕様書11		S12	軸組図4	A1: 1/50 A3: 1/100	G12	側溝・樹詳細図、樹リスト	A1: 1/10、1/20 A3: 1/20、1/40			
A12	全体配置図、附近見取図	A1: 1/500 A3: 1/1,000	S13	軸組図5	A1: 1/50 A3: 1/100	G13	現況配置図・仮設計画図	A1: 1/200 A3: 1/400			
A13	配置図、建物概要	A1: 1/200 A3: 1/400				G14	承認工事 外構図	A1: 1/200 A3: 1/400			
A14	仕上表					G15	承認工事 外構詳細図	A1: 1/30、1/50 A3: 1/60、1/100			
A15	平面図、屋根伏図	A1: 1/100 A3: 1/200				G16	承認工事 標準図		M01	給排水・ガス設備工事特記仕様書1	
A16	求精図	A1: 1/50 A3: 1/100							M02	給排水・ガス設備工事特記仕様書2	
A17	立面図	A1: 1/100 A3: 1/200							M03	給排水・ガス設備工事特記仕様書3	
A18	断面図	A1: 1/100 A3: 1/200							M04	給排水・ガス設備工事特記仕様書4	
A19	矩計図 部分詳細図	A1: 1/30 A3: 1/60							M05	給排水・ガス設備工事特記仕様書5	
A20	平面詳細図	A1: 1/50 A3: 1/100							M06	給排水・ガス設備工事特記仕様書6	
A21	展開図1	A1: 1/50 A3: 1/100							M07	衛生設備配置図	A1: 1/200 A3: 1/400
A22	展開図2	A1: 1/50 A3: 1/100							M08	衛生設備平面図・衛生器具表	A1: 1/50 A3: 1/100
A23	展開図3	A1: 1/50 A3: 1/100							M09	換気設備平面図・換気機器表	A1: 1/50 A3: 1/100
A24	建具表	A1: 1/50 A3: 1/100							M10	ガス設備平面図	A1: 1/50 A3: 1/100
A25	天井伏図、雑詳細図	A1: 1/100 A3: 1/200							M11	衛生設備 樹標準図	A1: 1/20 A3: 1/40
A26	雑詳細図(1)	A1: 1/30 A3: 1/60									
A27	雑詳細図(2)	A1: 1/10 A3: 1/20									
A28	雑詳細図(3)	A1: 1/20 A3: 1/40									

愛知県建設部建築局公営住宅課

工事(積算)番号H30Q12J00490

課長	主幹	課長補佐	主査	担当

章	項目	特記事項	備考
3章	4節 ガス圧接		
	5.4.9 圧接完了後抜取試験	* ※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験	
	5.5.2 機械式継手	* 種類 () 工法 () * 機械式継手の工法、品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等 ※ 1.2.2[施工計画書]による品質管理で定める ()	
	5.5.3 溶接継手	* 溶接継手の工法、品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等 ※ 1.2.2[施工計画書]による品質管理で定める ()	
	【6章 コンクリート工事】		
	1節 一般事項		
	6.1.2 基本要品品質	受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合の工場選定は以下による。 (1) JISマーク表示認証製品を製造している工場(工業標準化法の一部を改正する法律(平成16年6月9日公布)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場)で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者(コンクリート主任技士等)が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる。全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場(以下「 ◎ マークを取得した工場」という。)から選定し、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)に適合するものを用いなければならない。 (2) JISマーク表示認証製品を製造し、 ◎ マークを取得した工場が工事現場近くに見当たらない場合は、使用する工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたうえで、その資料により監督職員の確認を得なければならない。なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者(コンクリート主任技士等)が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。	
	2節 コンクリートの種類及び品質		
	6.2.1 コンクリートの種類	* 気乾単位容積質量による種類 <input type="radio"/> 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート * 適用箇所及び施工時期 寒中コンクリート 適用箇所 ※ 図示による () 施工時期 ※ 監督職員と協議 () 暑中コンクリート 適用箇所 ※ 図示による () 施工時期 ※ 監督職員と協議 () 無筋コンクリート 適用箇所 ※ 図示による () 施工時期 ※ 監督職員と協議 ()	
	6.2.2 コンクリートの強度	* コンクリートの種別 ※ I 類 ・ II 類 [表6.2.1] * 大臣認定コンクリート(建築基準法第37条第2号) () * 設計基準強度(Fc) <input type="radio"/> 普通コンクリート (24)N/mm ² ・ 軽量コンクリート ()N/mm ² ・ 図示による * コンクリートの荷卸し地点におけるスランプ ※ 表6.2.1による ()	
6.2.5 構造体コンクリートの仕上り	* 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ ・ A種 <input type="radio"/> B種 ・ C種 [表6.2.4]		
3節 コンクリートの材料及び割合			
6.3.1 コンクリートの材料	* セメント ※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント(A種) ・ シリカセメント(A種) ・ フライアッシュセメント(A種) * 適用箇所 高炉セメントB種 () フライアッシュセメントB種 () * 骨材 フェロニッケルスラグ細骨材 ・ 使用する ※ 使用しない 銅スラグ細骨材 ・ 使用する ※ 使用しない 電気炉酸化スラグ骨材 ・ 使用する ※ 使用しない 再生骨材H ・ 使用する ※ 使用しない * 砕石、砕砂、細骨材、骨材のアルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B * 混和剤 種類 <input type="radio"/> AE剤 ・ AE減水剤 ・ 高性能AE減水剤 ・ 使用しない () 混和剤 種類 ・ フライッシュ(I種) ・ フライッシュ(II種) ・ フライッシュ(IV種) ・ 高炉スラグ微粉末 ・ シリカフェム ・ 膨張剤 * 6.3.2(2)(vi)①～③以外の混和剤 種類 () 使用方法 () 使用量 ()		
6.3.2 コンクリートの割合	* アルカリ総量 3.0kg/m ³ 以下とする。 * 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上(9.7.3による) () * 上記以外の箇所の目地 ※ 幅10mm以上、深さ10mm以上(9.7.3による) () * コンクリートの打込みは、監督職員の立会いを受ける。ただし、監督職員の指示により報告にかえることができる。		
5節 普通コンクリートの品質管理			
6.6.3 打継ぎ	* 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上(9.7.3による) () * 上記以外の箇所の目地 ※ 幅10mm以上、深さ10mm以上(9.7.3による) ()		
6.6.4 打込み	* コンクリートの打込みは、監督職員の立会いを受ける。ただし、監督職員の指示により報告にかえることができる。		
8節 型枠			
6.8.3 材料	* せき板の種別 材料 ※ 合板 () 塗装 <input type="radio"/> 有 ・ 無 合板を用いる場合 厚さ ※ 12mm ()mm * 断熱材を兼用した型枠材 ・ 使用する(使用箇所:()) <input type="radio"/> 使用しない * 配管等スリーブの材質及び規格等 ※ 6.8.3(i)(2)(i)～(iv)による () * 適用期間 ※ JASS5による「打込み日を含む旬の平均気温が4℃以下の期間」 () * 積算温度を元に定める場合 () * 構造体強度補正值(S) ※ 6N/mm ² () * 設計基準強度 ※ 18N/mm ² () * スランプ ※ 15cm ※ 18cm () * 適用箇所 ※ 6.14.1(e)(1)～(5) ※ 捨コンクリート ()		
11節 寒中コンクリート			
6.11.2 材料及び割合			
12節 暑中コンクリート			
14節 無筋コンクリート			
4章	1節 一般事項		
	4.1.1 総則	* 複数の構工法を適用する場合の部位ごとの構・工法 ※ 図示による ()	
	2節 防汚・防蟻処理		
	4.2.1 防汚・防蟻処理	* 適用部位及び処理の種類 <input type="radio"/> 図示による 適用部位 処理の種類 処理の種類 (1) 防汚・防蟻処理が不要な樹種による製材 (2) 薬剤の加圧注入による防汚・防蟻処理 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 インサイジング ・ する ・ しない (3) 薬剤の塗布等による防汚・防蟻処理 処理の方法 ※ 4.2.1(3)(ii)による () (4) ボード原料接着剤への薬剤混入による防汚・防蟻処理 * 最下階の床下に床組を行う場合の地盤に接する床下 <input type="radio"/> RC造のべた基礎 ・ 基礎梁と配筋により一体とした厚さ100mm以上の土間コンクリート 配筋 ※ 図示による () * 地盤の土壌への薬剤による防蟻処理 <input type="radio"/> 行わない ・ 行う(薬剤: 、使用量:) * 床下換気方法 <input type="radio"/> ねこ土台 ・ 換気孔 * 小屋裏換気方法(4.2.4(c)) ・ (i) ・ (ii) ・ (iii) ・ (iv) ・ (v) 換気口の大きさ ※ 図示による ()	
	4.2.2 地盤に接するRCによる床下の防蟻処理		
	4.2.3 地盤土壌の防蟻処理		
	4.2.4 防汚措置		
	3節 防火被覆処理		
	4.3.1 適用範囲	* 耐火被覆処理 ・ 行う ・ 行わない <input type="radio"/> 図示による	
	4.3.2 防火被覆材	* 耐火被覆材料 (石こうボード) 耐火被覆材厚さ (21+21)	
4.3.3 接合部等	* 柱若しくは梁を接合する継手又は仕口の接合金物の被覆処理 (行う) ボルト、ドリフトピン等の接合具の防火被覆処理 <input type="radio"/> 行う () ・ 行わない		
5～8章	9枚目以降 適用する工法による		

章	項目	特記事項	備考	
1章	1節 一般事項			
	9.1.3 表面仕上げ	* 機械加工の適用箇所及び種別 <input type="radio"/> 図示による 施工箇所 種別 ※ B種 [表9.1.1]		
	2節 材料			
	9.2.1 一般事項	* 含水率 下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種		
	9.2.2 木材	* 製材 「製材のJAS」による製材 <input type="radio"/> 図示による 「製材のJAS」以外の製材 <input type="radio"/> 図示による		
	9章	* 造作用集成材 「集成材のJAS」による造作用集成材 <input type="radio"/> 図示による		
		* 「集成材のJAS」以外の造作用集成材 <input type="radio"/> 図示による		
		* 造作用単板積層材 「単板積層材のJAS」による造作用単板積層材 ・ 図示による		
		* 「単板積層材のJAS」以外の造作用単板積層材 ・ 図示による		
		9.2.3 合板等	* 下地用合板 普通合板 厚さ ※ 5.5mm ()mm 接着の程度 ※ 1類 () <input type="radio"/> 図示による 板面の品質 ※ 2等以上(広葉樹) ※ C-D以上(針葉樹) () 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない 構造用合板 厚さ ※ 12mm ()mm 接着の程度 ※ 1類(湿潤箇所を除く) () <input type="radio"/> 図示による 表板の樹種 () 等級 ※ 2級以上 () 強度等級 () 板面の品質 ※ C-D以上 () 防虫処理 ・ 行う () ・ 行わない * 化粧張り構造用合板 厚さ ()mm 接着の程度(湿潤箇所を除く) () ・ 図示による 化粧単板の樹種名 () 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない * 天然木化粧合板 厚さ ()mm 接着の程度 () ・ 図示による 化粧単板の樹種名 () 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない * 特殊加工化粧合板 厚さ ()mm 接着の程度 () 表面性能及び化粧加工方法 () ・ 図示による 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない * パーティクルボード 厚さ ※ 15mm ()mm 表裏面の状態による区分 () ・ 図示による 曲げ強さによる区分、接着剤による区分 ※ 13Pタイプ ※ 13Mタイプ () 難燃性による区分 () * 構造用パネル 等級 () 厚さ ()mm	
9.2.4 接合具等		* 釘 ※ JIS A5508による表面処理された鉄又はステンレス鋼の釘 ・ 左記以外の釘 () 釘打ち工法 下張材に対する釘の打込み本数 () 斜めに釘を打ち込む場所 () 造作材化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し * 木ねじ ※ JIS B 1112又はJIS B 1135によるステンレス製の木ねじ ・ 左記以外の木ねじ ()		
3節 耐候性・防汚・防蟻・防虫処理				
9.3.1 耐候性処理		* 屋外に使用する仕上げ木材への木材保護塗料塗り 種別 ・ A種 ※ B種 【建築工事標準仕様書 表18.14.1】		
9.3.2 防虫処理		* 防虫処理 <input type="radio"/> 行う ・ 行わない		
4節 屋根回り				
9.4.1 軒先・けらば回り	* 部材名 鼻隠し 破風板 広小舞・登りよど 面戸板 樹種 寸法			
株式会社 黒川建築事務所		平針住宅集会所建設工事	図面番号	
一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦		木造工事特記仕様書 3	縮尺 No.A03	
検図	製図	設計 H29年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	

章	項目	特記事項	備考
9	9.4.2 屋根下地	* 部材名 瓦葺葺屋根用心木 屋根通気垂木 *屋根の構造用面材の上部に通気層を設ける場合 樹種 部材名 断熱材 下地用合板 寸法 厚さ 種類	
	9.4.3 軒天井下地	* 部材名 野縁 野縁受け 下地板 樹種 寸法	
	5節 外部開口部回り	* 部材名 窓取付け下地材 窓取付け受材 出入口取付け下地材 出入口取付け受材 樹種 寸法	
	9.5.1 建具回り		
	9.5.2 建具回り木製枠	* 部材名 枠材 額縁材 樹種 寸法 下枠の材料 種類 ・ ステンレス ・ 花こう岩による石材() 寸法 形状	
	9.5.3 外部額縁		
	6節 内部開口部回り	* 部材名 出入口枠材 窓枠材 樹種 寸法 箇所	
	9.6.1 建具回り木製枠		
	9.6.2 内部窓回り		
	7節 内部床回り		
9.7.1 内部床下地	* 下地用床材 [・ 下地用合板 (厚さ ※ 12mm ※ 図面による ・ ()) ・ パーティクルボード (強度及び接着剤による区分 ・ 13Pタイプ ・ 13Mタイプ ・ ()) (厚さ ※ 15mm ※ 図示による ・ ())] * 仕上げ用下地用床材(下地用合板) 厚さ ※ 図示による ・ ()		
9.7.2 内部床板張り	* 部材名 床板用製材 上がりがまち材 樹種 寸法 厚さ 箇所 ※ フローリングは本工事特記仕様書18章による。		
9.7.3 上がりがまち			
8節 外壁回り			
9.8.1 外壁下地材料	* 部材名 胴縁 ラス下地板 通気胴縁 通気胴縁(仕上材継目、出入口) 樹種 杉 ※杉 ※杉 寸法 21×42 ※厚さ12mm、幅75mm 間隔 455 防腐、防蟻処理の適用		
9.8.2 外壁通気工下地	* ラス下地板 釘の種類及び寸法 ※ 9.8.1(b)(1)③による ・ 図示による ・ () * 下地用合板 釘の種類、寸法及び留付け間隔 ※ 図示による ・ () * 通気金物 材質、形状及び寸法 ※ 図示による ・ () * 通気胴縁工法 特殊な場合の接合部と留め付け間隔 ※ 図示による ・ () 補強胴縁の方法及び高さ(積雪地域) ※ 9.8.2(3)(viii)③による ・ () 横通気胴縁 胴縁の間隔 ※ 図示による ・ ()		
9.8.3 外壁板張り	* 工法 押縁下見板張り 南京下見板張り 横羽目板張り・縦羽目板張り 目板付縦羽目板張り 敷目板張り 部材名 押縁、下見板 下見板 羽目板 目板、羽目板 敷目板 樹種 寸法		
9.8.4 外壁造作	* 部材名 付け土台 雨押え 見切り縁 笠木 外部回り縁 樹種 寸法		
9.8.5 ひさし	* 部材名 陸ひさし 霧除けひさし 腕木ひさし(しころひさし) 樹種 寸法 * 霧除けひさし 持ち送り板の形 ※ 図示による ・ () * 腕木ひさし(しころひさし) えぶり板の線形 ※ 図示による ・ ()		
9節 内部壁			
9.9.1 内壁下地	* 内壁に木下地を設ける場合 樹種 寸法 間隔 胴縁 杉 21×42		
9.9.2 内壁板張り			
9.9.3 内部造作	* 工法 横羽目板張り・縦羽目板張り 目板付縦羽目板張り 敷目板張り 部材名 羽目板 目板、羽目板 敷目板 樹種 寸法		
9.9.4 天井下地	* 部材名 幅木 回り縁 樹種 夕毛集成材 杉 寸法 12×100 箇所 図示		
9.9.5 天井板張り	* 工法 敷目天井板張り 打ち上げ天井板張り 部材名 敷目板 天井板 樹種 寸法		
10節 和室の造作	* 部材名 柱 敷居 かもい 塗込め貫 樹種 寸法		

章	項目	特記事項	備考	
9	9.10.1 柱	* 背割不要の処理を行った製材 ※ 使用しない ・ 図示による ・ ()		
	9.10.5 天井回り	* 格縁天井板張り 格縁の面 ※ 大面取り ※ 図示による ・ () 特殊吊金具 ・ 使用しない ・ 使用する () ※ 図示による		
	9.10.7 床の間回り	* 床の間 製材等 樹種及び寸法 ※ 図示による ・ () 掛軸用金物 ※ 図示による ・ () * 床脇棚 製材等 樹種及び寸法 ※ 図示による ・ ()		
	10.2.2 材 料	* ルーフドレン ・ FRP系塗膜防水用ルーフドレン ・ 鋳鉄製 * 下地の構造 根太掛 樹種、寸法及び防腐・防蟻処理 ※ 図示による ・ () 根太 樹種、寸法及び防腐・防蟻処理 ※ 杉45×55@300、K2 ・ 図示による ・ () 構造用合板 厚さ、防虫処理、表板の樹種等 ・ 図示による ・ () 下地用合板 厚さ、防虫処理、表板の樹種等 ・ 図示による ・ () 釘の留付け間隔 ※ 150mm間隔 ・ 図示による ・ () 木ねじの留付け間隔 ※ 150mm間隔 ・ 図示による ・ () 防火板の設置 ・ 設置しない ・ 設置する (※ ケイ酸カルシウム板 10mm ※ 図示による ・ ()) * 防水層の下地 平場の勾配 ※ 1/100以上 ・ 図示による ・ () * 水張り試験 ・ 行う ・ 行わない		
	10.2.4 施 工			
	防 3節 シーリング		* 種類 ※ 被着体に応じたもの(表10.3.1) ・ () 施工箇所 ※ 図示による ・ ()	
	水 10.3.2 材 料		* 目地寸法 ※ 10.3.3(a)(1)~(3)による ・ ()	
	10.3.3 目地寸法	* 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験		
	10.3.5 シーリング材の試験			
	工 4節 透湿防水シート等工事	* 防水テープ 両面粘着防水テープ 幅 ※ 50mm幅以上のもの ・ 図示による ・ () * バルコニー手すりの工法 ※ 10.4.3(b)(9)①~⑤による ・ 図示による ・ () 10.4.2 防水テープ		
10.4.3 施 工	* 笠木の固定方法、材料及び仕上げ ※ 図示による ・ ()			
5節 ケイ酸質系塗布防水				
10.5.1 適用範囲	* 【建築工事標準仕様書 9章6節による】 表9.6.1以外の適用部位 () 防水層の種類及び工程 ※ C-UI ・ C-UP [表9.6.2] 9.6.4(1)~(3)以外の下地処理 ()			
11章 石工事				
【建築工事標準仕様書 10章による】				
1節 一般事項				
10.1.3 施工一般	* 石材の割付 ※ 10.1.3(a)(1)、(2) ・ () * 粗面仕上げの場合の合端の見え隠れ部分の仕上げ () * 粗面仕上げの場合の地中その他の材料等のみ込みとなる部分の仕上げ () * ワックス(床用) ・ 使用する ・ 使用しない ・ ()			
10.1.5 清掃				
2節 材 料				
10.2.1 石 材 *天然石	* 品質 床用 ・ 1等品 ※ 2等品 ・ 3等品 その他 ※ 1等品 ・ 2等品 ・ 3等品 * 種類 () * 形状、寸法 ・ () ※ 正方形に近い矩形(0.8㎡/枚以下) * 表面仕上げ (表10.2.1及び表10.2.2) 適用箇所 仕上げの種類 ジェットバーナーの場合のパフ仕上げ ・ 有 ・ 無			
*テラゾ	* 種石の種類 ※ 大理石 ・ () 種石の大きさ ※ 1.5~12mm ・ () * テラゾブロック 形状区分 ※ 図示による 仕上げ面区分及び寸法 ※ 図示による * テラゾタイル 寸法区分 ※ 図示による * 表面仕上げ ・ 粗磨き ・ 水磨き ・ 本磨き			
10.2.2 取付け金物	* 外壁湿式工法及び内壁空積工法用受金物 材質 ※ SS400 ・ () 形状、寸法 ※ L=75×75×6、L=100又は150 ・ () * 乾式工法用金物 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 * 特殊部位用金物 引金物、だぼ、かすがい、受金物 ※ 10.2.2(a) ・ () ファスナー ※ 10.2.2(b)に準ずるスライド式(通しだぼ) ・ () 吊金物 ※ SUS304 径6mm L=80mmの加工物 ・ () 化粧吊ボルト ※ SUS304 M10 化粧ナット付 ・ () アンカー ※ 10.2.2(d)(1)、(2) ・ ()			
石	* あと施工アンカー 材質 () 寸法 () その他 () * 10.2.2(a)~(e)以外の金物 ※ 監督職員と協議(見本又は証明となる資料等を提出) ・ () * 取付け用モルタル、既調合の目地用モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物固定に使用する充填材等 ※ 石材施工業者指定製品(実績等の資料を監督職員に提出) ・ () * ドレンパイプ(外壁湿式工法) 材質 ()			
工 10.2.3 その他の材料				
3節 外壁湿式工法				
10.3.2 材 料	* 石材の厚さ ※ 有効25mm以上 ・ ()mm * 石裏面処理 ・ する ・ しない 裏打ち処理 ・ する ・ しない * 下地ごしらえ ※ 流し筋工法 ・ あと施工アンカー工法 ・ あと施工アンカー・横筋流し工法 * 一般目地 目地幅 ※ 6mm以上 ・ ()mm シーリング材 ・ 用いる ・ 用いない * 伸縮調整目地の位置 ※ 表11.1.1による ・ () * 伸縮調整目地のシーリング材の目地寸法 ※ 9.7.3(a)(3)による ・ ()			
10.3.3 施 工				
4節 内壁空積工法				
10.4.2 材 料	* 石材の厚さ ※ 有効20mm以上 ・ ()mm * 石裏面処理 ・ する ・ しない 裏打ち処理 ・ する ・ しない * 下地ごしらえ ・ あと施工アンカー工法 ※ あと施工アンカー・横筋流し工法 * 一般目地 目地幅 ※ 6mm以上 ・ ()mm シーリング材 ・ 用いる ・ 用いない * 伸縮調整目地の位置 ※ 6m程度ごと ・ () * 伸縮調整目地のシーリング材の目地寸法 ※ 9.7.3(a)(3)による ・ ()			
10.4.3 施 工				
		株式会社 黒川建築事務所	平針住宅集会所建設工事	
		一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦	縮尺 No.A04	
検 図	製 図	設 計 H29年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	

章	項目	特記事項	備考
11	5節 乾式工法		
	10.5.2 材料	*石材の厚さ 外壁 ※有効30mm以上 ()mm 内壁 ※有効25mm以上 ()mm *だぼ用穴の位置 ※10.5.2(b)(1) *石裏面処理 ・する ・しない 裏打ち処理 ・する ・しない *建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 () *目地幅 ※8mm以上 ()mm 目地のシーリング仕上げ ※9章7節[シーリング]による ()	
石	6節 床及び階段の石張り		
	10.6.2 床の石張り	*石材の厚さ ()mm 石裏面処理 ・する ・しない *一般目地幅 屋外 ※4mm以上 () 屋内 ※3~6mm () *目地にシーリング材 ・用いる ・用いない *伸縮調整目地の位置 ※10.6.2(e)(2)(i)による () *石材の厚さ ()mm 石裏面処理 ・する ・しない *一般目地幅 屋外 ※4mm以上 () 屋内 ※3~6mm () *伸縮調整目地の位置 ※10.6.2(e)(2)(i)による ()	
工	7節 特殊部位の石張り		
	10.7.1 適用範囲 10.7.2 アーチ、上げ裏等の石張り 10.7.3 笠木、甲板等の石張り 10.7.4 隔て板	*取付工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法 *石材の厚さ ()mm 石裏面処理 ・する ・しない *裏打ち処理 ・する ・しない 一般目地幅 ※6mm以上 () *伸縮調整目地の位置 ※他の部位との取合い部 () *石材の厚さ ()mm 石裏面処理 ・する ・しない *取付け代(乾式工法) ※10.5.3(b) *石裏補強用モルタル(乾式工法) ・する ・しない *石材の厚さ ()mm ※40mm	
12	12章 タイル工事		
	【建築工事標準仕様書 11章による】 1節 一般事項 2節 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り	*伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 目地の位置 ※表11.1.1による ()	
タ	11.2.2 材料	*適用箇所 形状・寸法 工法 耐凍害性の有無 耐滑り性 標準色・特別色の別 玄関床 300×300 有 有 標準色	
	11.2.7 施工	*役物 ・有 ○無 試験張り ・有 ※無 見本焼き ・有 ※無 *モルタル塗りのコンクリート素地面 ・MCR工法 ・目荒し工法 () *壁タイル張り工法 外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り [表11.2.3] 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り	
イ	3節 接着剤による陶磁器質タイル張り		
	11.3.2 材料	*適用箇所 形状・寸法 工法 耐凍害性の有無 耐滑り性 標準色・特別色の別	
ル	11.3.4 シーリング材	*役物 ・有 ・無 試験張り ・有 ※無 見本焼き ・有 ※無 *種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウタン系 () 伸縮調整目地、その他の目地 ※変成シリコン系 ()	
	11.3.7 施工	*モルタル塗りのコンクリート素地面 ・MCR工法 ・目荒し工法 () *工法 ・内装壁タイル接着剤張り ・外装壁タイル接着剤張り ・図示による [表11.3.2]	
工	4節 陶磁器質タイル型枠先付		
	11.4.2 材料	*適用箇所 形状・寸法 工法 標準色・特別色の別	
事	11.4.3 タイル型枠先付けの種類	*役物 ・有 ・無 試験張り ・有 ※無 見本焼き ・有 ※無 *タイル型枠先付け面のせき板 ※6.8.3(b)(2) ※金属製タイル先付け用パネル () *種類 ・タイルシート法 ・目地樹法 ・積木法 *雪止め ・設ける ・設けない ※図示による	
	2節 下地及び下葺		
13	13.2.2 材料	*アスファルト-フィング940 ・改質アスファルト-フィング下葺材	
	13.2.3 工法	*下地材料の種類、形状等(壁面に下葺材張りに必要な下地材) ※図示による ()	
章	3節 金属板葺		
	13.3.2 材料	*金属板、板及びコイルの種類 ※JIS G 3322の屋根用コイル(種類: 、記号:) () 塗膜の耐久性の種類 () めっき付着量 () 厚さ () *固定釘等 固定釘 13.3.2(b)(2)(ii)によらない釘 ・図示による () 木ねじ 13.3.2(b)(2)(i)によらない木ねじ ・図示による () 固定釘等の材質 ・図示による () 固定釘の形状及び寸法 心木なし瓦葺葺(母屋に固定の場合) () 横葺 () 心木 樹種及び防腐・防蟻処理 ※図示による ()	
屋	13.3.3 加工	*通し吊子の各部分の寸法 ※図示による () 釘留め間隔 ()	
	13.3.4 平葺(一文字葺)工法	*建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 () *加工 はぜのつくり方 ※図示による () *一般部の葺き方 吊子の間隔 ※図示による () *各部工法 吊子及び釘の留付け間隔 ※図示による () 軒先及びげらば 唐草の留付け間隔 ※図示による ()	
根	13.3.5 心木あり瓦葺工法	*建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 () *一般部の葺き方 銅板以外 瓦葺及び釘の留付け間隔 ※図示による () 溝板及びキャップの留付け方法 ※13.3.5(c)(1)(iii)による () 銅板 瓦葺、吊子及び釘の留付け間隔 ※図示による () *各部工法 棟覆い 銅板以外 棟板の材質及び留付け釘の間隔 ※図示による () 銅板 通し付け子 留付け釘の間隔 ※図示による () 軒先 唐草の留め付け間隔 ※図示による ()	
	13.3.6 心木なし瓦葺工法	*特殊工法 ※図示による () *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 () *一般部の葺き方 釘打ちの間隔 ※図示による () *各部工法 棟覆い 取付け釘の間隔 ※図示による () 軒先 唐草の留め付け釘の間隔 ※図示による () 屋根の流れ方向に平行な壁との取合い部 ・雨押えを付ける ・雨押えを付けない ※図示による 留め付け釘または吊子の間隔 ※図示による ()	

章	項目	特記事項	備考
13	13.3.7 横葺の工法	*特殊工法 ※図示による () *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ()	
	13.3.8 立平葺の工法	*特殊工法 ※図示による () *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 () *吊子の工法 ※図示による () 特殊工法 ※図示による ()	
4	4節 折板葺		
	13.4.2 材料	*折板 形式 ※重ね型 ※はぜ締め型 () 山高 () 山ピッチ () 厚さ () 耐力 ・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 材料 ※鋼板製(表13.2.1による) () *軒先面戸板 ・有 ・無 *断熱材張り 種類 () 厚さ () 防火性能 () *タイルフレームを留め付ける下地材の材質、形状及び寸法 ※図示による () *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ()	
13	13.4.3 工法		
	5節 粘土瓦葺		
13	13.5.2 材料	*粘土瓦 製法による区分 (釉薬かわら) 形状による区分 (棧かわら) 寸法による区分 (F型) 産地 ※愛知県産 () 役物瓦の種類 (片流れ棟瓦、軒先瓦、袖瓦)	
	13.5.3 工法	*瓦積木 材質 ※杉 ※ひのき () 寸法 ※幅21×高さ15(mm)以上 () *防腐処理の方法 ・図示による (塗布) () *棟補強用心材 材質 ※杉 ※ひのき () 寸法 ※幅40×高さ30(mm)以上 () *防腐処理の方法 ・図示による (塗布) () *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 () *木材以外の野地板の材料及び瓦積木の留付け工法 ※図示による () *瓦の取付け ※13.5.3(d)(1)、(2)による () ※図示による () 棟の工法 ○(片流れ棟 ・冠瓦伏せ棟(13.5.3(1)) ・のし一体棟(13.5.3(2)) ・のし積み棟(13.5.3(3))	
屋	6節 スレート葺		
	13.6.2 材料 13.6.3 工法	*屋根スレート 種類、寸法及び形状、棟・げらば等の役物並びに色彩等 ※図示による () *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ()	
根	7節 アスファルトシングル葺		
	13.7.2 材料 13.7.3 工法	*アスファルトシングル 品質、形状、色調及び寸法 ※図示による () *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 () *軒先及びげらば等に曲面を設ける場合 ※図示による	
及	8節 とい		
	13.8.2 材料	*といの材料 金属板 といに用いる金属板の種類及び板厚 ※図示による () [表13.8.1] (耐酸被覆鋼板の場合の材質その他 ※図示による ()) 谷どいの種類及び板厚 ※図示による () 銅板 板厚 谷どい ※0.4mm ※図示による () その他い ※0.35mm ※図示による () 硬質塩化ビニル樹脂 種類、外形、厚さ、長さ ※図示による () *集水器、あんこう 硬質塩化ビニル製集水器及びあんこうの形等 ※図示による ()	
び	13.8.3 といの加工 取付け		
	14章 金属工事		
14	【建築工事標準仕様書 14章 節～3節による】 1節 一般事項		
	14.1.3 工法	* (b)あと施工アンカー 引抜耐力の確認試験 ※行方(14.1.3(b)(4)(i)～(v)) 設計用引張強度() ・行わない	
金	2節 表面処理		
	14.2.1 ステンレスの表面仕上げ 14.2.2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	*種類 ※HL仕上げ () *種別 ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 ・D種 [表14.2.1] 常温乾燥形の塗装 ()	
工	14.2.3 鉄鋼の亜鉛めっき	*陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 () 色合等 () *熔融亜鉛めっき種別 ・A種 ・B種 ○C種 [表14.2.2] *電気亜鉛めっき種別 ・D種 ・E種 ○F種	
	2節 下地		
15	15.2.3 ラス系下地	*ラス系下地の種類 ・直張りラスモルタル下地 ・直張りラスシート下地 ・通気構法単層下地 ・通気構法二層下地 ラス下地板 樹種 ※図示による () 寸法 ※厚さ12mm、幅75mm ※図示による () 防腐・防蟻処理 ※図示による () 釘の種類及び寸法 ※9.8.1(b)(1)(3)による ※図示による () 建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定 ※図示による () *材料 ラス 素材による区分、種類及び単位面積当たりの質量 ※図示による () ステープル 形状及び寸法 ※L925T-S以上(リプラス) ※L1019J-S以上(波形ラス) () *通気構法二層下地 ラス 素材による区分、種類及び単位面積当たりの質量 ※2種波形ラス700 ・種 () *通気構法単層下地 ラス 素材による区分、種類及び単位面積当たりの質量 ※2種リラス800 ※2種防水紙付きリラス800 外張り断熱工法で断熱材の上に胴縁を施工する形式の通気構法を行う場 ※図示による () 換気口部の防水処置 ※10.4.3(b)(8)に準じる ・図示による ()	
	15.2.4 木質系セメント板 15.2.6 小舞下地 15.2.7 木ずり下地	*木質系セメント板 種類 ※図示による () *建築基準法に基づく耐力壁の指定 ※図示による () *木ずり用小幅板 樹種 ※杉の心去り材 ・図示による ()	
官	3節 モルタル塗り		
	15.3.2 材料	*セメント(床のモルタルにて仕上及び寒冷期の外部モルタル塗を除く) ※普通ポルトランドセメント ・高炉セメント(A種) ・シリカセメント(A種) ・フライアッシュセメント(A種) *既調合モルタル ○使用する ・使用しない *既製目地材 ・使用する(形状:) ○使用しない	
工	15.3.4 工法	*コンクリート面等への下地モルタル塗り 床塗りの目地の設置及び工法 ※15.3.4(b)(3)(iii)による () *タイル張り下地等の均しモルタル塗り 外壁タイル張り下地等の均しモルタルの接着剤試験 ・行う ・行わない	
	4節 せっこうプラスター塗り		
事	15.4.3 調合及び塗厚	*上塗り ・既調合プラスター(上塗り用) ・しゅくい塗り	
	15.6.2 材料 15.6.3 下地	*既調合しゅくい 製造所及び種類 ・図示による () ・使用しない *下地 ・木ずり ・小舞土壁塗り ・せっこうラスボード ・せっこうボード ・図示による ()	
15	15.6.4 調合及び塗厚	*調合及び各層の塗厚 ※表15.6.1及び表15.6.2による(木ずり下地) ※図示による ()	
	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅集会所建設工事	図面番号
一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦	木造工事特記仕様書 5	縮尺	No.A05
検 図	製 図	設 計 H29年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課

章	項目	特記事項	備考		
15	7節 小舞壁塗り	<ul style="list-style-type: none"> *のり 土壁用 ・ふのり ※ つのまた ・ぎんなんそう ・() 砂壁用 ・つのまた ※ ふのり ・こんにやくのり ・にかわ ・合成樹脂系混和剤 ・() *色土 土物仕上げ用 種類 ※ 図示による ・() 大津仕上げ用 種類 ※ 図示による ・() *色砂 種類 ※ 図示による ・() *塗厚 ※ 表15.7.8による ※ 図示による ・() *小舞壁の工程種別 ※ A種 ・ B種 [表15.7.9] *工法の種類 ・ 土物仕上げ工法(・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法) ・ 砂壁仕上げ工法 ・ 切返し仕上げ工法 *工法の種類 ・ 普通大津仕上げ工法 ・ 大津みがき仕上げ工法 			
	15.7.2 材料				
	15.7.4 塗厚				
	15.7.5 工程				
	15.7.7 土物仕上げ				
	15.7.8 大津仕上げ				
	8節 仕上塗材仕上げ				
	15.8.2 材料		<ul style="list-style-type: none"> *仕上塗材の種類、仕上げの形状、工法 ※ 図示による ・() [表15.8.1] 内装薄塗材及び内装厚塗材で吸放湿性を有する塗材 ・ 使用する ・ 使用しない ・ 図示による 複層仕上塗材の耐候性 ※ 耐候形3種 ・() ・ 図示による 複層仕上塗材の上塗材 種類 ※ 水系アクリルのつやあり ・() ・ 図示による [表15.8.2] 防火材料の指定 ・ 有() ・ 無し() ・ 図示による *外装厚塗材Si、外装厚塗材Eの上塗材 ・ 適用する ・ 適用しない *外装厚塗材Cの上塗材(セメント系以外の場合) () 		
	15.8.4 下地処理		<ul style="list-style-type: none"> *その他の下地の場合 ・() ・ 図示による *所要量等の確認 ※ 表15.8.4による ・() ・ 図示による 		
	9節 床コンクリート直均し仕上げ				
	15.9.1 適用範囲		*適用箇所 ※ 図示による ・()		
	10節 セルフレベリング材塗り				
	15.10.1 適用範囲		*種類及び品質 ・ せっこう系 ・ セメント系 【建築工事標準仕様書 表15.4.1】		
	16		1節 一般事項		
			16.1.3 防火戸	<ul style="list-style-type: none"> *防火戸の指定 ※ 図示による *自動閉鎖機構及び防火戸と連動させるもの ・ ヒューズ装置 ・ 熱感知器 ・ 煙感知器 *建具見本の作成 ・ 有 ※ 無 特殊な建具の仮組 ・ 実施する ・ 実施しない *防犯建物部品 ・ 適用する ・ 適用しない 	
16.1.4 建具見本の製作					
16.1.6 その他					
2節 アルミニウム製建具					
16.2.2 性能及び構造		<ul style="list-style-type: none"> *外部に面するアルミニウム製建具の種類 ・ A種 ⊙ B種 ・() 枠見込み寸法 (70) [表16.2.1] 外部に面さない建具 ・ (耐風圧性: 気密性: 水密性:) ・ 図示による *防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する(遮音性等級:) ・ 適用しない ・ 図示による *断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する(断熱性等級:) ・ 適用しない ・ 図示による *網戸 ⊙設置する ※ 設置しない ・ 図示による 防虫網 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ⊙ ステンレス製 *シャッター ・ 建具一体型 ・ 後付け ⊙ 図示による ・() スラット ・ アルミ製 ・ 塗装鋼板 ・ 図示による 鏡板等 ・ アルミ製 ・ 塗装鋼板 ・ 図示による 雨戸 ・ アルミ製 ・ 塗装鋼板 ・ 図示による 断熱性能 ・ 有() ・ 無し() 			
16.2.3 材料		<ul style="list-style-type: none"> *雨掛り部分の建具枠回りのシーリング材 目地の寸法 ※ 幅10mm、深さ10mm以上 ・ 図示による ・() *建具の枠の形状 ⊙ 図示による ・() *構造 外部に面するアルミ製建具に取付けるもの ⊙ シャッター ⊙ 網戸 ・ 図示による *アルミニウムの表面処理 塗膜の種類() 色 ⊙ 標準色 ・ 特注色 *結露水の処理方法 (下枠排水) *水切り板 () ぜん板 () その他 () *内付け建具の止水 ※ 図示による ・() 			
16.2.4 形状及び仕上げ					
16.2.5 工法					
3節 樹脂製サッシ					
16.3.2 性能及び構造		<ul style="list-style-type: none"> *外部に面する建具 ・ A種 ・ B種 ・() ・ 図示による [表16.3.1] 外部に面さない建具 ・ (耐風圧性: 気密性: 水密性:) ・ 図示による 枠の見込み寸法 ・()mm ・ 図示による *防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する(・ T-A ・ T-B) ・ 適用しない ・ 図示による ・() [表16.3.2] *断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する(・ H-A ・ H-B ・ H-C) ・ 適用しない ・ 図示による ・() [表16.3.3] 			
16.3.3 材料		<ul style="list-style-type: none"> *シャッター ・ 設置する ・ 設置しない ※ 図示による スラット ・ アルミ製 ・ 塗装鋼板 ・ 図示による *ガラス ・ 複層ガラス ・ 単層ガラス ・ 三重ガラス ・() ※ 図示による *雨掛り部分の建具枠回りのシーリング材 目地の寸法 ※ 幅10mm、深さ10mm以上 ・ 図示による ・() *建具の枠の見込み寸法 ・()mm ・ 図示による 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 			
16.3.4 形状及び仕上げ					
16.3.5 工法					
4節 鋼製建具					
16.4.2 性能及び構造	<ul style="list-style-type: none"> *簡易気密型ドアセットの性能等級 ※ 表16.4.1による ・() ・ 図示による 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-2 ・ S-3 ・() ・ 図示による *防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する(遮音性等級:) ・ 適用しない ・ 図示による *断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する(断熱性等級:) ・ 適用しない ・ 図示による 				
16.4.3 材料	<ul style="list-style-type: none"> *鋼板の適用 ・ JIS G 3302による(めっき付着量 ※ Z12またはF12 ・()) ・ JIS G 3317による(めっき付着量 ※ Y08 ・()) 				
16.4.4 形状及び仕上げ	*鋼板類の厚さ ※ 表16.4.2による ・(区分・使用箇所・厚さ:) ・ 図示による				
5節 鋼製軽量建具					
16.5.2 性能及び構造	<ul style="list-style-type: none"> *簡易気密型ドアセット(気密性:A-2) ・ 適用する ⊙ 適用しない ・ 図示による ・() *防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する(遮音性等級:) ・ 適用しない ・ 図示による *断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する(断熱性等級:) ・ 適用しない ・ 図示による 				
16.5.3 材料	<ul style="list-style-type: none"> *ビニル被覆鋼板 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 図示による ・() *カラー鋼板 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 図示による ・() *召合せ、縦小口包み板等 ※ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合金 *鋼板類の厚さ ※ 表16.5.1による ・(区分・使用箇所・厚さ:) ・ 図示による 				
16.5.4 形状及び仕上げ					
6節 ステンレス製建具					
16.6.3 材料	*ステンレス鋼板 ※ SUS304 ※ SUS430J1L ※ SUS443J1 ※ SUS430 ・()				
16.6.4 形状及び仕上げ	*表面仕上げ ※ HL ・()				
16.6.5 工法	*曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ				
7節 木製建具					

章	項目	特記事項	備考	
16	16.7.2 材料	<ul style="list-style-type: none"> *含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 [表16.7.1] *フラッシュ戸の表面材の合板の種類及び品質等 ※ 16.7.2(b)(i)~(iii) ・() *かまち戸の樹種 かまち() 鏡板の樹種 () *ふすまの上張りの種類 () 		
	16.7.3 形状及び仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> *フラッシュ戸 表面板の厚さ ※ 表16.7.6による ・()mm ・ 図示による *かまち戸の見込み寸法 ※ 36mm ・()mm ・ 図示による *ふすまの見込み寸法 ※ 19.5mm ・()mm ・ 図示による *戸ふすまの見込み寸法 ※ 30mm ・()mm ・ 図示による *紙張り障子の見込み寸法 ※ 30mm ・()mm ・ 図示による 		
	16.7.4 工法	*フラッシュ戸の定規線(引戸)の召合わせ框の形状 ・ 図示による ・ いんろう付き ・() [表16.7.7]		
	8節 建具用金物			
	16.8.2 材質、形状及び寸法	<ul style="list-style-type: none"> *金物の種類及び見え掛り部の材質 ※ 表16.8.1による ・() 表16.8.1中の *印の適用並びに備考中の特記について ⊙ 図示による ・() *樹脂製建具用丁番 ※ 表16.8.3による ・() *握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置 ⊙ 図示による ・() *マスターキー ⊙ 製作する() ・ 製作しない *鍵 ※ 3本1組とし、室名札を付ける ・() 鍵箱 ・ 要 ・ 不要 		
	16.8.3 取付け施工			
	16.8.4 鍵			
	9節 自動ドア開閉装置			
	16.9.2 性能	<ul style="list-style-type: none"> *スライディングドア用自動ドア開閉装置の性能値 ※ 表16.9.1による ・() *スイングドア用自動ドア開閉装置の性能値 ※ 表16.9.2による ・() 		
	16.9.3 機構	<ul style="list-style-type: none"> *戸の開閉方法 ※ 図示による ・() *センサーの種類 ・() ・ 図示による [表16.9.3] 凍結防止措置 ・ 要 ※ 不要 		
	10節 自動式上吊り引戸装置			
	16.10.3 性能等	*自動式上吊り引戸装置の性能 ※ 表16.10.1による ・()		
	11節 重量シャッター			
	16.11.2 形式及び機構	<ul style="list-style-type: none"> *シャッター種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター ・ 図示による *耐風圧強度(管理用シャッター、外壁用防火シャッター) () *開閉機能による種類 ※ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 *シャッターケース(外壁用防火シャッター、屋内用防火シャッター及び防煙シャッター以外の場合) ・ 設置する ・ 設置しない *スラット及びシャッターケース用鋼板 種類 ※ 図示による ・() めっき付着量 ※ Z12またはF12を満たす ・() 		
	16.11.3 材料			
12節 軽量シャッター				
16.12.2 形式及び機構	*開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用) [表16.12.1] 耐風圧強度 ・()			
16.12.3 材料	<ul style="list-style-type: none"> *スラットの材質及びめっき付着量 [・ JIS G 3312 (付着量 ※ Z06又はF06 ・()) ・ JIS G 3322 (付着量 ※ AZ90 ・()) 			
16.12.4 形状及び仕上げ	*スラットの形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形			
13節 オーバーヘッドドア				
16.13.2 形式及び機構	<ul style="list-style-type: none"> *セクション材料による区分 ※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ *耐風圧性能(JIS A 4715) () 開閉方式 ※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 *収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 *ガイドレールの材料 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 			
16.13.3 材料				
14節 ガラス				
16.14.2 材料	<ul style="list-style-type: none"> *板ガラス フロート板ガラス 厚さによる種類 () 型板ガラス 品種 () 厚さによる種類 () 網入板ガラス 品種 () 厚さによる種類 () 線入板ガラス 品種 () 厚さによる種類 () 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組み合わせ並びに合計厚さ () 強化ガラス 特性による種類 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 熱線吸収板ガラス 材料板ガラスの種類による名称 () 特性による種類 ・ I類 ・ III類 複層ガラス 材料板ガラスの種類 (Low-E) 厚さの組み合わせ並びに複層ガラス厚さ (18 21.8) 断熱性、日射遮蔽性区分 [・ 1種(U1) ・ 2種(U2) ・ 3種(U3-1) ・ 3種(U3-2) ⊙ 4種(E4) ・ 5種(E5) 			
16.14.3 ガラス溝の寸法、形状等	*倍強度ガラス 材料板ガラスの種類 () 厚さによる種類 ()			
16.14.5 ガラスブロック積み	<ul style="list-style-type: none"> *ガラス留め材 ⊙ シーリング材 ・ ガスケット (・ グレイジングチャンネル形 ・ グレイジングビード形) *溝の大きさ ※ 表16.14.1による(アルミニウム・鋼・ステンレス製建具) ・() ・ 図示による *材料 ガラスブロック 表面形状 () 呼び寸法 () 厚さ () 壁用金属枠 () 補強材 () 力骨 材質 ※ ステンレス鋼(SUS304) ・() 寸法 ※ 径5.5mm ・() 形状 ※ はしご形複筋及び単筋 ・() 化粧目地モルタルの色 () シーリング材の種類 () 金属製化粧カバー 材質 () 寸法 () 形状 () *工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 () 目地幅 平積み ()mm 曲面積み ()mm 伸縮調整目地 幅: ()mm 位置: ⊕ ()m以下ごと 壁用金属枠 間隔: ()mm 目地部の力骨の補強方法 ※ ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による ・() 			
		株式会社 黒川建築事務所	平針住宅集会所建設工事	図面番号
		一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦	木造工事特記仕様書 6	縮尺 No.A06
		検 図	製 図	設 計 H29年3月
		愛知県建設部建築局公営住宅課		

章	項目	特記事項	備考
17	17章 塗装工事 【建築工事標準仕様書 18章による】 1節 一般事項 18.1.3 材料 2節 素地ごしらえ 18.2.2 木部 18.2.3 鉄鋼面 18.2.4 亜鉛めっき鋼面 18.2.5 モルタル面、プaster面 18.2.6 コンクリート面、ALC面等 18.2.7 せっこうボード面等 3節 錆止め塗料塗り 18.3.2 塗料種別 18.3.3 錆止め塗料塗り 4節 合成樹脂調合ペイント塗り 18.4.2 塗料の種類 18.4.3 木部 18.4.4 鉄鋼面 5節 クリヤラッカー塗り(OL) 6節 NAD塗り 7節 耐候性塗料塗り(DP) 18.7.2 鉄鋼面DP塗り 18.7.3 亜鉛めっき鋼面DP 18.7.4 コンクリート面等DP塗り 8節 EP-G塗り 18.8.2 コンクリート面等EP-G塗 18.8.4 鉄鋼面EP-G塗 9節 EP塗り 10節 EP-T塗り 11節 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) 12節 ラッカーエナル塗り(LE) 14節 木材保護塗料塗り(WP)	<p>* 防火材料の指定 ・有() ・無</p> <p>* 種別 ※ A種(不透明塗料塗り) ※ B種(透明塗料塗り) ・() * 種別 ・A種 ・B種 ※ C種 * 種別 ・A種 ・B種 * 種別 ・A種 ※ B種 * 種別 ・A種 ※ B種(下地:コンクリート、ALCパネル面) (ただし耐候性塗料塗りの場合は表18.2.6による) * 種別 ・A種 ・B種(下地:コンクリート、押出成型セメント板面) * 種別 ※ A種(継目処理工法の場合) ※ B種(その他) ・()</p> <p>* 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料 ※ A種 ・B種 ※ C種(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの場合) [表18.3.2] * 鉄鋼面錆止め塗料塗り 見え掛り部 ※ A種 ・B種 見え隠れ部 ・A種 ※ B種 [表18.3.3] * 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗り 鋼製建具 ※ A種 ・B種 その他 ・A種 ※ B種 [表18.3.4]</p> <p>* 塗料の種類 ※ 1種 ・2種 * 種別 屋外 ※ A種 ・B種 屋内 ・A種 ※ B種 [表18.4.1] * 種別 ・A種 ※ B種 [表18.4.2] * 種別 ・A種 ※ B種 [表18.5.1] * アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り 種別 ・A種 ※ B種 [表18.6.1]</p> <p>* 鉄鋼面耐候性塗料塗り 上塗り塗料の等級 ・1級 ・2級 ・3級 [表18.7.1] * 亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗り 上塗り塗料の等級 ・1級 ・2級 ・3級 [表18.7.2] * コンクリート面及び押出成型セメント板面耐候性塗料塗り 種別 ・A種 ・B種 ・C種 [表18.7.3]</p> <p>* コンクリート面、モルタル面、プaster面、せっこうボード面、その他ボード面等つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り 種別 ・A種 ※ B種 [表18.8.1] * 鉄鋼面つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り 種別 ・A種 ※ B種 [表18.8.3] * 合成樹脂エマルジョンペイント塗り 種別 ・A種 ※ B種 [表18.9.1] * コンクリート面、モルタル面、プaster面、せっこうボード面等合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り 種別 ・A種 ※ B種 [表18.10.1] * 種別 ・A種 ※ B種 [表18.11.1] * 種別 ・A種 ※ B種 [表18.12.1] * 種別 ・A種 ※ B種 [表18.14.1]</p>	
18	18章 内装工事 【建築工事標準仕様書 19章による】 2節 ビニル床シート等張り 19.2.2 材料 19.2.3 施工 3節 カーペット敷き 19.3.3 材料 4節 合成樹脂塗床 19.4.3 工法 5節 フローリング張り 19.5.2 材料 19.5.3 工法一般 19.5.4 釘留め工法 19.5.5 接着工法 19.5.6 現場塗装仕上げ 6節 畳敷き 19.6.2 材料 7節 せっこうボード等張り 19.7.2 材料	<p>(ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り) * ビニル床シート 種類 ※ FS ・() 色柄 () 厚さ ※ 2.0mm () * ビニル床タイル 種類 (木目調) 厚さ ※ 2.0mm (3.0) * 特殊機能床材 帯電防止床シート 種類 () 厚さ () 帯電防止床タイル 種類 () 厚さ () 視覚障害者用床タイル 種類 () 形状 () 耐動荷重性床シート 種類 () 厚さ () 防滑性床シート、床タイル 種類 () 厚さ () * ビニル幅木 厚さ ※ 1.5mm ・() 高さ ※ 60mm ・() * ゴム床タイル 種類 () 厚さ () * 接着剤(施工箇所の下地がセメント系及び木質系以外の場合) ・() * 19.2.3(a)(1)~(3)以外の下地の工法 () * 熱溶接工法 ・適用する () () 適用しない</p> <p>* 織じゅうたん 種別 ・A種 ・B種 ・C種 織り方 () [表19.3.1] パイルの形状 () 帯電性 ※ 人体帯電圧3kV以下 ・() * タフテッドカーペット パイルの形状 () パイル長 () * ニードルパンチカーペット 厚さ () * タイルカーペット 種類 ※ 第一種 ・第二種 パイルの形状 ※ ループパイル ・() 寸法 ※ 500mm角 ・() 総厚さ ※ 6.5mm ・() * 下敷き材 ※ JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号、呼び厚さ8mm ・() * 取付け用付属品 見切り材 材質 () 種類 () 形状 () 押え金物 材質 () 種類 () 形状 () * タフテッドカーペットの工法 ・グリッパ工法 ・全面接着工法 * タイルカーペットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・() 階段 ※ 模様流し ・()</p> <p>* 仕上げの種類(弾性ウレタン樹脂系) ※ 平滑 ・防滑 ・つや消し [表19.4.4] * 仕上げの種類(エポキシ樹脂系) (・平滑 ・防滑) ・薄膜流し展べ ・厚膜流し展べ ・樹脂モルタル</p> <p>* 単層フローリング ・フローリングボード1等 ・フローリングブロック1等 ・モザイクパーケット1等 ・複合フローリング</p> <p>* 工法 ・釘留め(根太張り)工法 ・釘留め(直張り)工法 ・接着工法 * 樹種 ※ なら ・() 複合フローリングの種別 ・A種 ・B種 ※ C種(根太張り工法の防湿処理 ・有 ・無) * 樹種 ※ なら ・() * モザイクパーケット 樹種 () 厚さ () 大きさ () * 裏面の緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート ・()</p> <p>* 塗装 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステンの上ワックス塗り ・生地のままワックス塗り</p> <p>* 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床の記号:) [表19.6.1] * 種類 () 厚さ () その他 () * 普通合板 表面の樹種 生地そのまままたは透明塗料塗りの場合 ※ ラウン程度 ・() 不透明塗料塗りの場合 ※ しな程度 ・() 板面の品質 () 厚さ () 接着の程度 () 防虫処理 ・行う() ・行わない * 天然木化粧合板 化粧板の樹種名 () 接着の程度 () 厚さ () 防虫処理 ・行う() ・行わない</p>	

章	項目	特記事項	備考
18	18章 内装工事 8節 壁紙張り 19.8.2 材料 19.8.3 施工 9節 断熱・防露 19.9.2 断熱材打込み工法 19.9.3 断熱材現場発泡工法	<p>* 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・() 表面性能 () 接着の程度 () 防虫処理 ・行う() ・行わない * 遮音シール材(軽鉄下地ボード・遮音壁) ・アクリル系 ・ウレタン系 ・ジョイントコンパウンド(JIS A 6914) * 下地 ・軽量鉄骨下地 ・木造下地 ・() * 合板類の張付け種別 ・A種 ※ B種 [表19.7.3] * せっこうボードの目地工法の種類 ・継目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法 [表19.7.5]</p> <p>* 種類 (ビニル) 防火性能 (準不燃) * 素地ごしらえ モルタル及びプaster面 ・A種 ※ B種 コンクリート面 ・A種 ※ B種 せっこうボード面 ・A種 ※ B種</p> <p>* 材料(JIS A 9521 建築用断熱材) ・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 種類() 厚さ() ・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし) 種類() 厚さ() ・硬質ウレタンフォーム断熱材 種類() 厚さ() ・フェノールフォーム断熱材 種類() 厚さ() (JIS A 9511 発泡プラスチック保温材) ・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 厚さ() (・特号 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号) ・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし) 厚さ() (・1種 ・2種 ・3種) (・a ・b) ・A種硬質ウレタンフォーム保温材 厚さ() (・1種 ・2種) (・1号 ・2号 ・3号 ・4号) ・フェノールフォーム保温材 厚さ() (・1種 ・2種) (・1号 ・2号) * 種類(建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム(難燃性)) ※ A種1 ・A種2 ・A種3 ・B種 * 吹付け厚さ () mm</p>	
19	19章 断熱・防露 19.1.2 材料 19.1.3 施工部位 19.1.4 断熱材、防湿層の施工 19.1.5 各部位の工法 2節 ユニット工事等 20.2.2 フリーアクセスフロア 20.2.3 可動間仕切り 20.2.4 移動間仕切り 20.2.5 トイレブース 20.2.6 階段滑り止め 20.2.8 黒板及びホワイトボード 20.2.9 鏡 20.2.10 表示 20.2.11 煙突ライニング	<p>* 断熱材の種類、厚さ、使用量 ※ 図示による ・() [表19.1.1] * 防湿材 種類 厚さ [・JIS A6930によるもの ・JIS Z 1702によるもの(0.05mm厚以上) ・() ・JIS K 6781によるもの(0.05mm厚以上) ・()] * 気密材 種類 厚さ ※ 図示による ・() * 防風材 材料 ※ JIS A 6111による透湿防水シートB ※ 図示による ・()</p> <p>* 断熱工事の施工部位及び外気等に接する開口部を断熱構造とする部位 ※ 図示による ・() * 断熱材の取付け 充填断熱工法 19.1.4(c)(1)(i)~(iii)以外の取付けを行う場合 ※ 図示による ・() 外張断熱工法 19.1.4(c)(2)(i)~(iii)以外の取付けを行う場合 ※ 図示による ・() " 外張断熱材に防蟻処理を施す場合の処理の種類 ※ 図示による ・()</p> <p>* 防湿層の施工 防湿層の省略 ・有 ※ 無 開口部等まわりの施工 断熱構造部分の床下及び小屋裏点検口 ※ 図示による ・() 設備配管まわりの施工 ・19.1.4(d)(10)(ii)による ・19.1.4(d)(10)(ii)による ※ 図示による ・() ※ 19.1.5(1)による(床に防湿フィルム・張る ・張らない) ※ 図示による ・()</p> <p>* 天井の施工 [※ 19.1.5(3)による (天井断熱で天井点検口を設ける場合 ※ 図示による ・()) ※ 図示による ・()] * 屋根の施工 ※ 19.1.5(4)による ※ 図示による ・() * 気流止めの施工 ※ 19.1.5(5)による (気密材の材料及び工法 ※ 図示による ・()) ※ 図示による * 気密措置 ※ 19.1.5(6)による (工法 ※ 図示による ・()) ※ 図示による ・() * 床下防湿 ※ 19.1.5(7)による ※ 図示による ・() * 床下換気 ※ 19.1.5(8)による ※ 図示による ・() * 小屋裏換気 ※ 19.1.5(9)による ※ 図示による ・() * 養生 ※ 19.1.5(10)による ※ 図示による ・()</p> <p>* 材料等 フリーアクセスフロア及び表面仕上げ材 寸法 ※ 図示による ・() フリーアクセスフロア高さ () 耐震性能 () 所定荷重 () 帯電防止性能 () 漏えい抵抗 () 試験方法 耐荷重性能 ※ 20.2.2(b)(2)(i) ・() 耐衝撃性能 ※ 20.2.2(b)(2)(ii) ・() ローリングロード性能 ※ 20.2.2(b)(2)(iii) ・() 耐燃焼性能 ※ 20.2.2(b)(2)(iv) ・() 寸法精度 ※ 20.2.2(b)(5)による ・()</p> <p>* 材料等 構造形式による種類 () 構成基材の種類 () 遮音性 () パネル表面仕上げ () パネル内に取り付ける建具 ・寸法 () 形状 () ・図示による</p> <p>* 材料等 パネルの操作方法による種類 (平行方向移動式) パネル表面材 ・(材質 MDF 仕上げ クロス貼り) * 性能等 パネル圧接装置の操作方法 (メーカー仕様) 遮音性 (一般タイプ) ハンガーレール取付け下地の補強 ※ 20.2.4(c)(3)による (図示による)</p> <p>* 工法 あと施工アンカー 材質 () 寸法 () その他 () * 材料 パネル表面材 ・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 ※ 幅木タイプ ・()</p> <p>* 材種 () 形状 () 寸法 () * 取付け工法 ※ 接着工法 ・埋込み工法 * 黒板 種類 ※ 焼付け ・() 色 ※ 緑 ・() * 厚さ ※ 5mm * 衝突防止表示 対人衝突防止表示(ガラススクリーン) 形状 () 寸法 () 材質 () * 非常用進入口等 ・表示する ・表示しない ・図示による</p> <p>* 室名札、ヒケグラム、案内板等の形状、材質、寸法、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示による * 材料 煙突用成形ライニング材 ・ゾラト系つけい酸カルシウムライニング材 ・心材付き繊維積層ライニング材 適用安全使用温度 () °C</p>	
		株式会社 黒川建築事務所	平針住宅集会所建設工事
		一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦	縮尺 No.A07
		検 製 設 図 図 計 H29年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課

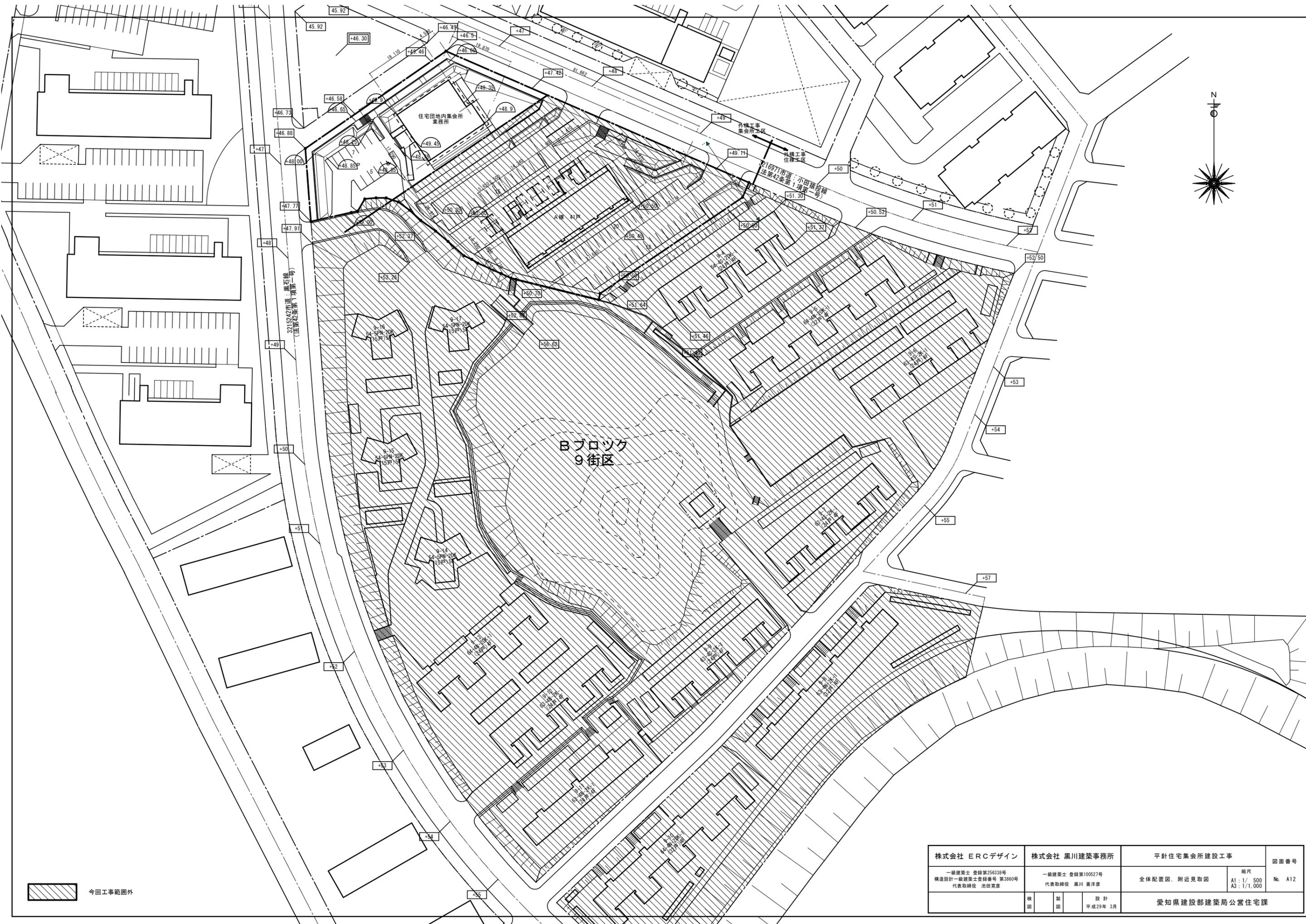
章	項目	特記事項	備考	
19章 断熱・防露・ユツト及びその他工事	20.2.12 ブラインド	*材料 形式・横型・縦型 横型ブラインド 種類 ※ギヤ式・() 幅() 高さ() スラット幅 ※25mm・() スラットの材質 ※アルミニウム合金・() ヘッドボックス及びボトムレールの材質 ※鋼製・() 縦型ブラインド 幅() 高さ() 開閉方式() スラット幅()mm 操作方法 ※2本操作コード方式・() スラット・アルミスラット(焼付け塗装仕上げ)・クロススラット(防炎性能の特殊樹脂加工)		
	20.2.13 ローラスクリーン	*操作方式() 幅()mm 高さ()mm *材料() 品質() その他() *巻取りパイプ、ウエイトバー、操作コード、又は操作チェーンその他材料 ※製造所の仕様による・()		
	20.2.14 カーテン及びカーテンレール	*形式、付属金物等 種類 ○シングル・ダブル 形式・片引き ○両引き・() 開閉操作方法(手動) *きれ地 種別(シャーカーテン 品質(プリント) 特殊加工() その他() レール、ブラケット 強さによる区分 ※10-90・() カーテンレール 材料による区分 ※アルミニウム ※アルミニウム合金の押出し成型材 仕上げ ※アルマイト・() 形状 ※角形・() *工法 ひだの種類・フランスひだ・箱ひだ・つまひだ ○アプレーンひだ・片ひだ 暗幕用カーテンの重なり 両端 ※300mm以上・() 上部 ※300mm以上・() 召合せ ※300mm以上・()		
	3節 プレキャストコンクリート工事			
	20.3.2 材料	*補強鉄線の径 ※3.2mm以上・()mm		
	20.3.3 製作	*調合 コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m ³ を満たす調合強度		
	20.3.4 養生その他	*鉄筋の組立 配筋 ※配筋を定めた計算書による(監督職員へ提出する)・() *取付け方法 ※図示による・()		
	4節 間知石、コンクリート間知B積			
	20.4.2 材料	*間知石 材質() *コンクリート間知ブロック 種類() 質量区分() 目塗り() 厚さ()mm		
	20.4.3 工法	*間知石積み 積み方 ※谷積み・布積み 伸縮調整目地 材質() *コンクリート間知ブロック積み 積み方 ※谷積み・布積み 目塗り() 厚さ()mm		
	3節 サイディング工事			
	19.3.2 窯業系サイディング工事	*材料 サイディング材 種類、形状、働き長さ・働き幅、厚さ、表面仕上げ、耐凍害性能及び防火・耐火性能 ※図示による・() 通気胴縁 樹種 ※杉 ※図示による・() 寸法 ※図示による・() 防腐処理 ○行う・行わない ○図示による *窯業系サイディングの張り方 ・縦張り・横張り ○図示による サイディングの取付け 建具上部で雨水の排水路を設ける箇所 ※図示による・() 換気口部の防水処理 ※19.3.2(c)(iii)①～④による ※図示による・() 換気口、接続パイプ及びパイプ受け ※19.3.2(c)(iii)④による ※図示による・() 金具留め工法の場合でVoが42m/sを超える地域での補強方法 ※図示による・() 現場塗装用サイディングで現場塗装を行う場合の下地処理及び仕上げ ※図示による・() シーリング材の目地寸法 ※幅10mm、深さ5mm(60分準耐火の場合は10mm以下) ※図示による・()		
	19.3.3 複合金属サイディング工事	*材料 サイディング 種類、形状、有効幅、長さ、厚さ、表面材・しん材の種類及び防火・耐火性能 ※図示による・() 通気胴縁 樹種 ※杉 ※図示による・() 寸法 ※図示による・() 防腐処理 ・行う・行わない ○図示による *複合金属サイディングの張り方 ・縦張り・横張り ○図示による		

章	項目	特記事項	備考
21章 舗装	3節 路盤		
	22.3.2 路盤の構成及び仕上り	*路盤厚さ (100~200)	
	22.3.3 材料	*路盤材料 ※RC-40(透水性舗装除く)・C-40・CS-40・()	[表22.3.2]
	4節 アスファルト舗装		
	22.4.2 舗装の構成及び仕上り	*構成及び厚さ ※図示による・() *平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度・()	
	22.4.4 配合その他	*加熱アスファルト混合物等の種類(表層) ○密粒度アスファルト混合物(13)・細粒度アスファルト混合物(13)	[表22.4.4]
	22.4.5 施工	*シールコートの施工 ・行う ○行わない	
	22.4.6 試験	*アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○行わない	
	5節 コンクリート舗装		
	22.5.2 舗装の構成及び仕上り	*構成及び厚さ ※図示による・()	
	22.5.3 材料	*設計基準強度、スランプ及び粗骨材の最大寸法 ※表22.5.1による・() *寒冷期の早強セメントの使用 ・する・しない 注入目地材 ※低弾性タイプ・高弾性タイプ	[表22.5.2]
	22.5.4 施工	*コンクリート版の目地の種類及び間隔 ※表22.5.3による・() 目地の構造 ※図22.5.1による・()	
	6節 カラー舗装		
	22.6.2 舗装の構成及び仕上り	*種類 ○加熱系・常温系 *加熱系カラー舗装 構成() 厚さ() 結合材の種類 ○アスファルト混合物・石油樹脂系混合物 *常温系カラー舗装 着色部の下部 ○アスファルト舗装・コンクリート舗装	
	22.6.3 材料	*加熱系混合物に添加する材料 ○着色骨材 ○自然石()	
	22.6.4 配合その他	*加熱系結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量() *ニート工法及び塗布工法の配合 () その他()	
	22.6.5 施工	*シールコートの施工 ・行う ○行わない	
	22.6.6 試験	*アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○行わない	
	7節 透水性アスファルト舗装		
22.7.2 舗装の構成及び仕上り	*舗装構成 ※図示による・() 平坦性 ※著しい不陸がないこと・()		
22.7.5 施工	*シールコートの施工 ・行う ○行わない		
8節 ブロック系舗装			
22.8.2 舗装の構成及び仕上り	*コンクリート平板舗装の目地材 ※砂・モルタル *舗石舗装の基層 ・アスファルト混合物 厚さ ※50mm・() ・コンクリート版 厚さ ※70mm・()		
22.8.3 材料	*平坦性 ※平板等間の段差3mm以内・() *コンクリート平板 種類 ※N300・() 寸法・() *インターロッキングブロックの種類、形状、寸法、表面加工等 車道部 ※曲げ強度5.0N/mm ² の普通ブロック、厚さ80mm・() 歩道部 ※曲げ強度3.0N/mm ² の普通ブロック、厚さ60mm・() *舗装に用いる石材の種類、形状、寸法 *ジオテキスタイル ・適用する(品質) ・適用しない		
10節 砂利敷き			
22.9.2 材料	*種別 通路 ※A種・B種 建物周囲その他・A種 ※B種	[表22.9.1]	
22章 植栽工事			
【建築工事標準仕様書 23章による】			
1節 一般事項			
23.1.3 植栽地の確認等	*土壌 水素イオン濃度試験 ・行う・行わない 電気伝導度試験 ・行う・行わない		
2節 植栽基盤			
23.2.2 植栽基盤一般	*植栽基盤整備工法(芝及び地被類の植栽以外) ・適用する ・適用しない *有効土層 整備面積 ※図示による・() 厚さ ※表23.2.1による・() *暗きよ、開きよ、排水層、縦穴排水等 ※設置しない ・設置する(図示による) *植栽基盤整備工法の種別 樹木 ※A種・B種・C種・D種 芝、地被類 ・A種 ※B種・C種・D種	[表23.2.2]	
23.2.3 材料	*土壌改良材の適用 ・有() ・無() *植込み用土 ・客土 ※現場発生土の良質土 *客土の材料(1m ² 当たり) さば土 0.84m ³ 雑物を含まない山さば土の良品 人工肥料 150kg 有機物(樹木の皮葉等)のものを換気発酵 固形肥料 1kg 窒素、りん酸、カリ肥料を6:4:3の割合としたもの		
3節 植樹			
23.3.2 材料	*樹木の樹種、寸法、株立数、及び刈込みものの適用並びに数量 ※図示による・() *支柱材 ※丸太・() 丸太の防腐処理方法 ※加圧式防腐処理・() *幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら、こも		
23.3.3 新植の工法	*支柱 ・添え柱形 ・鳥居形 ・ハツ掛け形 ・布掛け形 ・ワイヤ掛け形 ・地下埋設形		
23.3.4 新植樹木の枯補償	*新植樹木の枯補償期間 ※引渡日から1年間・()		
23.3.6 移植樹木の枯損処置	*移植樹木の枯損処置期間 ※引渡日から1年間・()		
4節 芝張、吹付けは種、地被類			
23.4.2 材料	*芝の種類 ※コウライシバの類・ノシバの類 *吹付けは種用種子 種類 ※洋芝類(23.4.2(c)(1)(ii)による)・() 量・() *地被類 樹種・() 芽立数・() コンテナ径・() コンテナ数・()/m ²		
23.4.3 芝張りの工法	*芝張り工法 平地 ※目地張り・べた張り 法面 ・目地張り ※べた張り		
23.4.7 芝張等の枯補償	*芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償期間 ※引渡日から1年間・()		
		株式会社 黒川建築事務所	平針住宅集会所建設工事
		一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦	縮尺 No.A08
		検 製 設 図 図 計 H29年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課

(選択)

章	項目	特記事項	備考	
6章	軸組構法(軸構造系)工事 2節 材料 6.2.2 木材 *集成材	* 構造材の種類 適用箇所		
		構造用集成材		
		化粧ばり構造用集成材		
		構造材の種類 樹種 寸法 強度等級 材面品質 接着性能 化粧薄板厚さ		
		構造用集成材		
		化粧ばり構造用集成材		
		* 構造用単板積層材	* 単板積層材のJAS第4条「構造用単板積層材の規格」による製材	
		使用箇所 等級 接着性能 樹種 寸法 厚さ 曲げヤング係数		
6章	* 製材	* 製材の種類 適用箇所		
		目視等級区分構造用製材		
		機械等級区分構造用製材		
		大臣指定の基準強度指定製材		
		広葉樹製材		
		無等級材		
		製材の種類 樹種 寸法 含水率 等級 (構造材種類、材面品質等)		
		目視等級区分構造用製材	桧	
		機械等級区分構造用製材	桧	(曲げ)
		大臣指定の基準強度指定製材	—	—
広葉樹製材				
無等級材	桧	—		
基準強度測定の対象部材(広葉樹製材、無等級材)	()			
機械等級区分構造用製材	見え掛り部に用いる場合 節、丸身、貫通割れ、曲がりの規定、等級等 ※ 機械等級区分構造用製材の規格による 適用しない ()			
6章	* 枠組壁工法 構造用製材	* 枠組壁工法構造用製材 #JASIは「枠組壁工法構造用製材の日本農林規格」		
		製材の種類 適用箇所		
		甲種枠組材		
		乙種枠組材		
		MSR枠組材		
		大臣指定の基準強度指定MSR枠組材		
		製材の種類 樹種又は樹種群 寸法型式 等級 含水率		
		甲種枠組材		—
		乙種枠組材		—
		MSR枠組材		—
大臣指定の基準強度指定MSR枠組材	—	—		
6章	* 枠組壁工法 構造用たて継ぎ材	* 枠組壁工法構造用たて継ぎ材 #JASIは「枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」		
		製材の種類 適用箇所		
		甲種たて継ぎ材		
		乙種たて継ぎ材		
		大臣指定の基準強度指定たて継ぎ材		
		製材の種類 樹種又は樹種群 寸法型式 等級 含水率		
		甲種たて継ぎ材		—
		乙種たて継ぎ材		—
		大臣指定の基準強度指定たて継ぎ材	—	—
6章	* その他	* 木質接着成形軸材料、木質複合軸材料、木質断熱複合パネル、木質接着複合パネル		
		材料名 適用箇所 形状 寸法 含水率		
		木質接着成形軸材料		
		木質複合軸材料		
		木質断熱複合パネル		
		木質接着複合パネル		
		6.2.3 構造用面材	* 構造用面材	
		面材の種類 適用箇所		
		構造用合板		
		パーティクルボード		
構造用パネル				
面材の種類 等級 接着の程度 表板の樹種 板面の品質 厚さ 防虫処理 強度等級				
構造用合板				
面材の種類 表裏面状態区分 曲げ強さ区分 接着剤区分 難燃性区分 厚さ				
パーティクルボード				
面材の種類 等級 厚さ				
構造用パネル				
6.2.4 接合金物・接合具等	* 接合金物			
接合金物の種類 適用箇所				
6.2.4(a)(i)によるもの				
6.2.4(a)(ii)によるもの				
6.2.4(a)(iii)によるもの				
6.2.4(a)(i)による場合 製作接合金物の寸法、形状、鋼材の材質、表面処理 ※ 図示による ()				
直接雨にさらされる接合金物の材質 ※ ステンレス ()				

章	項目	特記事項	備考
6章	* 釘及び木ねじ	適用箇所 材質 寸法 形状	
		6.2.4(b)(1)~(3)以外のコンクリート用釘	
		6.2.4(b)(1)~(3)以外のその他の特殊な釘	
		6.2.4(b)(1)~(3)以外のその他の木ねじ	
		* ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 [※ 6.2.4(a)(ii)又は(iii)による () 図示による () ・ 6.2.4(c)(ii)による(ボルト、ナットの材料 ※表6.2.2 ()) (座金の種別 ※ 図示による ())	
		* 6.2.4(a)(ii)又は(iii)以外のラグスクリュー 形状 () 図示による 寸法等 () 図示による	
		* ドリフトピン 形状 () 図示による 寸法等 () 図示による	
		* 木栓及び木だぼ 樹種 () 図示による 形状、長さ等 () 図示による	
		* 接着剤 床鳴り防止用接着剤 適用する(種類:) 適用しない 接着剤による接合及び接着剤を併用した接合 適用する(種類:) 適用しない	
		4節 木材の加工	
6.4.2 現寸図	* 床書き現寸図の作成 ・行う ※ 行わない 図示による ()		
6.4.5 孔あけ加工	* ボルト孔の径 ※ 表6.4.1による ()		
6.4.6 表面の仕上げ	* ドリフトピンの孔径 ※ ピン径と同径 () * 集成材 見え掛り面の仕上げ程度 ・ A種 ※ B種 [表6.4.2] * 製材 見え掛り面の表面仕上げ程度 機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 [表6.4.3] 手加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 [表6.4.4] * 木材保護塗料塗り 適用種別 ・ A種 ※ B種 ・ 適用しない [建築工事標準仕様書 表18.14.1]		
5節 搬入及び建方			
6.5.3 アンカーボルトの埋込み	* アンカーボルトの埋込み深さ () 図示による () * アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・ A種 ・ B種 [表6.5.1] アンカーボルトの埋込み位置の許容誤差 ※ ±5mm ()		
6.5.4 基礎天端 均しモルタルの仕上げ	* 基礎天端及び柱底均しモルタル 無収縮モルタル (使用する) ・ 使用しない () モルタルの厚さ (10) ・ 図示による 柱底均しモルタルの工法 ・ A種 ※ B種 [表6.5.2]		
6.5.7 建方精度	* 建入れ直し後の建方精度の許容値 ※ 垂直、水平の誤差の範囲 1/1000以下 ()		
6.5.8 接合部の工法	* 構造材を接合する釘及び木ねじの種類、本数、間隔 ※ 図示による		
釘	適用箇所 本数 間隔		
木ねじ			
6.5.10 釘及び木ねじの工法	* 部位ごとの釘の種類及び釘打ちの間隔 ※ 図示による		
部位	種類 間隔		
6.5.11 各種ボルトの工法	* 構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち方法 ・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し * ボルトの種類、径、本数、間隔及びボルトに応じた座金の大きさ等 ※ 図示による		
箇所	ボルト種類 径 本数 間隔 座金の大きさ		
6.5.12 ラグスクリューの工法	* ラグスクリュー 形状 () ※ 図示による 寸法 () ※ 図示による		
6.5.13 ドリフトピンの工法	* ドリフトピン 径 () ※ 図示による		
6.5.14 木だぼの工法	* 木だぼ 径 () ※ 図示による		
6.5.15 輪型ジベル接合			
6.5.16 圧入型ジベル接合			
種類	材質 形状 寸法 その他		
輪型ジベル			
圧入型ジベル			
6節 軸組			
* 部材の種類等	* ※ 図示による		
部材の種類	土台 火打土台(木製)		
樹種			
断面寸法			
部材の種類	柱 隅柱 通し柱		
樹種			
断面寸法			
6.6.1 土台	* 仕口及び継手の形状並びに位置 () ※ 図示による		
6.6.2 火打土台	* 火打土台の材種 () 木材 () 鋼製 () 図示による 木材の場合 土台と仕口の形状 () ※ 図示による 留付け釘の種類及び留付け方法 () ※ 図示による		
6.6.3 柱	* 仕口の形状 ※ 図示による ()		
株式会社 黒川建築事務所		平針住宅集会所建設工事	図面番号
一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦		木造工事特記仕様書 10	縮尺 No.A10
検図	製図	設計 H29年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課



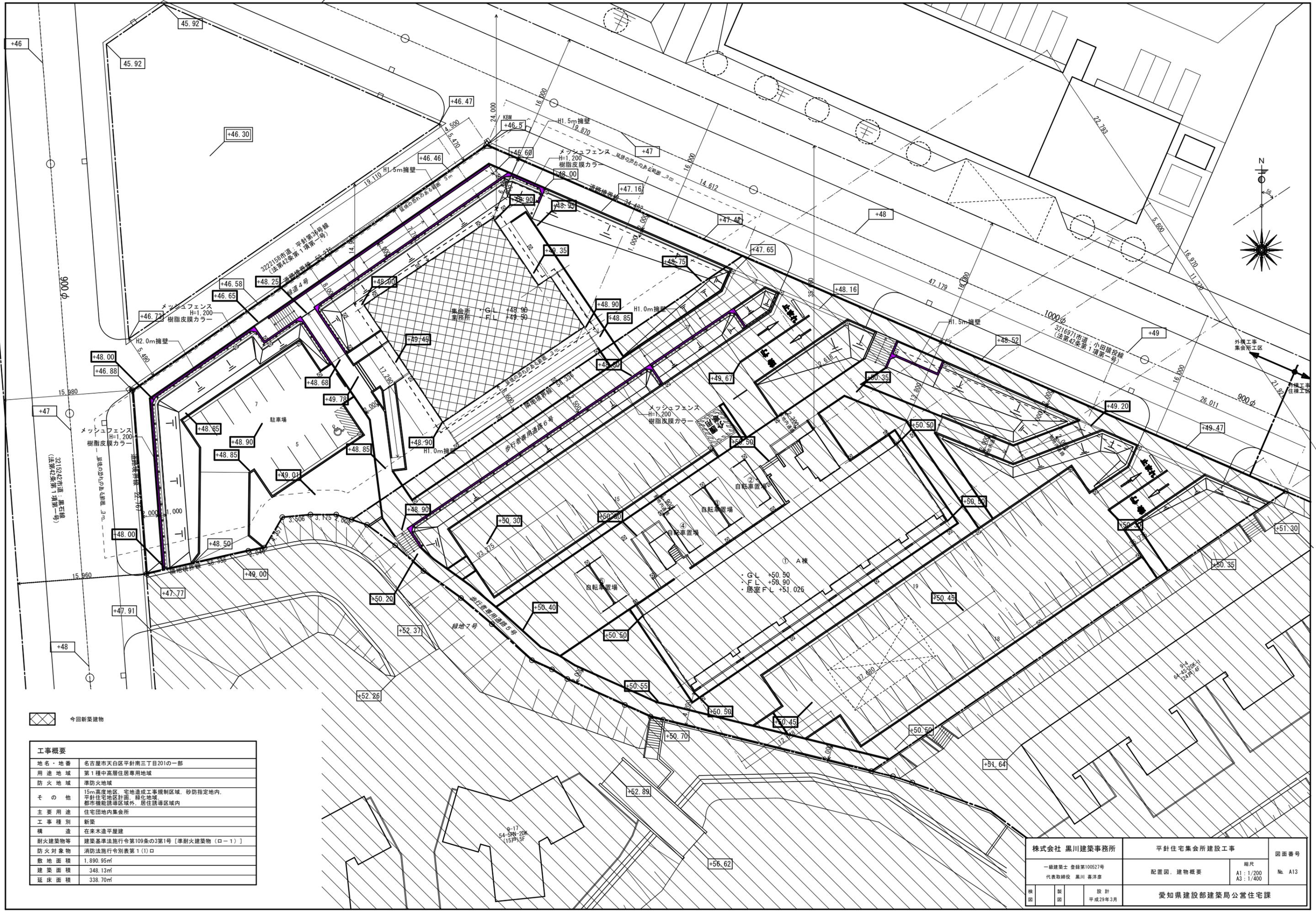
3215242市道：黒石線
(法第42条第1項第1号)

3216971市道：小田原線
(法第42条第1項第1号)

Bブロック
9街区

今回工事範囲外

株式会社 ERCデザイン 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田克彦	株式会社 黒川建築事務所 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦	平針住宅集会所建設工事		図面番号
		全体配置図、附近見取図		No. A12
		縮尺 A1 : 1/ 500 A3 : 1/1,000		
		設計 平成29年 3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	



今回新築建物

工事概要	
地名・地番	名古屋市天白区平針南三丁目201の一部
用途地域	第1種中高層住居専用地域
防火地域	準防火地域
その他	15m高度地区、宅地造成工事規制区域、砂防指定地内、平針住宅地区計画、緑化地域、都市機能誘導区域外、居住誘導区域内
主要用途	住宅団地内集会所
工事種別	新築
構造	在来木造平屋建
耐火建築物等	建築基準法施行令第109条の3第1号〔準耐火建築物（ロ-1）〕
防火対象物	消防法施行令第1(1)ロ
敷地面積	1,890.95㎡
建築面積	348.13㎡
延床面積	338.70㎡

株式会社 黒川建築事務所		平針住宅集会所建設工事		図面番号
一級建築士 登録第100527号		配置図、建物概要		縮尺
代表取締役 黒川 喜洋彦				A1: 1/200
				A3: 1/400
No.	A13			
換	型	設計	愛知県建設部建築局公営住宅課	
		平成29年3月		

外部仕上表 [準耐火建築物 (ロ-1)]			
外 壁 (屋根下地まで張上げ)	【構造】木造：耐火構造：法第2条第七号。[H12.5.30]建設省告示第1399号	種	軒種：塩ビ角種W=150 壁種：カラー塩ビ管 VPφ75
	【仕上】防火構造用サイディング板(窯業系) 7=16 横張(通気工法)塗装品		北3本、西1本、東1本の計5本は、土間天+1,800まで養生管(SUS管) 付
	【外側下地】強化石膏ボードGB-F(V)[ひる石入]防水タイプ 7=21×2 [NM-1498] 【内側下地】強化石膏ボードGB-F(V)[ひる石入] 7=21×2 [NM-8615]		襖み金物：ステンレス製 (φ1200程度ずれ防止共)
巾 木	モルタル金ゴテ仕上 7=20	開口部	住宅用アルミサッシ(標準色) Low-E複層ガラス
屋 根	【構造】木造：不燃材料：法第2条第九項。[H12.5.30]建設省告示第1400号	館名文字	ステンレス箱文字 (H.L仕上) A R 録書体M
	【仕上】陶器引掛板瓦葺き		平針住宅集会所 (7文字 200×200×15 PL-0.5加工) 西側壁面設置
	【下地】耐火野地板：硬質木片セメント板 7=25 アスファルトルーフィング940		平針住宅集会所 (7文字 80×80×10 PL-0.5加工) 業務所入口壁面設置
	【仕上】カラーガルバリウム 7=0.4 タテ置き アスファルトルーフィング940 【下地】耐火野地板：複合板 7=40 (木毛/木片板 7=25+木片-M吸音板 7=15)		
軒 裏	無石棉ケイ酸カルシウム板 7=6 目透かし貼 EP塗装一部有孔板		

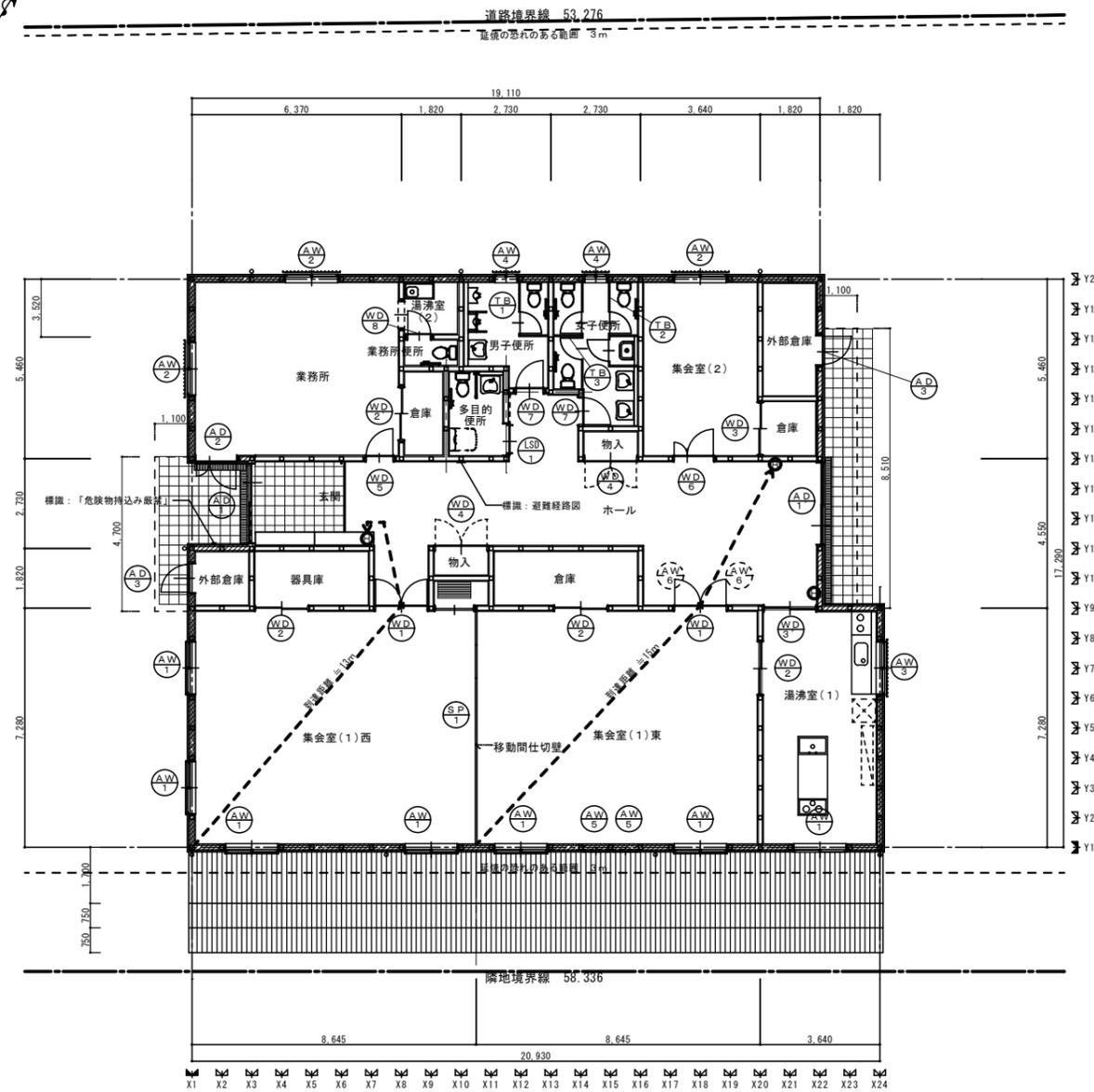
内部仕上表							
室 名	床	巾 木	壁		天井	天井高 廻り縁	備 考
			腰部	腰上			
玄 関	磁器質タイル 300角(屋外用)、床見切：ステンレス W=40 モルタル下地 t=30	タモ集成材 C.L H=100	杉集成小巾板張 7=12 C.L 本実加工	ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 P.B 7=12.5 下地	岩綿吸音板貼 7=9 P.B 7=9.5 捨張下地	H=2.500 塩ビ見切	下駄箱 W3600×H1800×D400 (消火器(ABC10型)置場付) 木製I型手摺 L=600 34φ
ホ ー ル	ビニル床タイル貼 t=3.0 (木目調) 構造用合板 厚28 耐水合板 厚12 下地	タモ集成材 C.L H=100	杉集成小巾板張 7=12 C.L 本実加工	ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 P.B 7=12.5 下地	岩綿吸音板貼 7=9 一部化粧梁(構造用集成材) P.B 7=9.5 捨張下地 吹抜部 杉径単板合板 7=6 目透し貼	H=2.500, 3.300 塩ビ見切	避難経路図、火気厳禁ステッカー、ピクチャーレール 掲示板：1200×900(マグネット、面紙併用)
集 会 室 (1)	ビニル床タイル貼 t=3.0 (木目調) 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地	タモ集成材 C.L H=100	杉集成小巾板張 7=12 C.L 本実加工	ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 P.B 7=12.5 下地	岩綿吸音板貼 7=9 一部化粧梁(構造用集成材) P.B 7=9.5 捨張下地	H=2.700 塩ビ見切	室名札、マグネット：2100×1200、掲示板：1200×900(マグネット、面紙併用)、ピクチャーレール 木製カーテンボックス(露出)カーテンレール、A.Cスリーブ・カバープレート(機械) 天井点検口
	器具庫	タモ集成材 C.L H=100	シナ合板 7=5.5	／	化粧P.B 7=9.5 (ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号	H=2.700 塩ビ見切	天井点検口
	倉庫	タモ集成材 C.L H=100	シナ合板 7=5.5	／	化粧P.B 7=9.5 (ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号	H=2.700 塩ビ見切	
	可動間仕切 収納庫	タモ集成材 C.L H=100	ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 P.B 7=12.5 下地	／	岩綿吸音板貼 7=9 一部化粧梁(構造用集成材) P.B 7=9.5 捨張下地	H=2.700 塩ビ見切	
集 会 室 (2)	ビニル床タイル貼 t=3.0 (木目調) 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地	タモ集成材 C.L H=100	ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 P.B 7=12.5 下地	／	岩綿吸音板貼 7=9 P.B 7=9.5 捨張下地	H=2.500 塩ビ見切	天井点検口
	倉庫	タモ集成材 C.L H=100	シナ合板 7=5.5	／	化粧P.B 7=9.5 (ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号	H=2.500 塩ビ見切	
湯 沸 室 (1)	ビニル床タイル貼 t=3.0 (木目調) 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地	タモ集成材 C.L H=100	ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 一部不燃物材貼 7=3.0 不燃(個) NM-2183号 耐水P.B t=12.5下地	／	化粧P.B 7=9.5 (ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号	H=2.400 塩ビ見切	室名札、流し台(1型L=1800)、コンロ台(L=600マグネット付)、吊戸棚(1型L=1800)、 スリル製水切棚 W=900、スリル水切、床下点検口 600角、消火器(フックバンド付) 調理実習台(900×2400)、A.Cスリーブ・カバープレート(機械)、天井点検口
男 子 便 所	ビニル床シート貼 7=2.8 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地	タモ集成材 C.L H=100	ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 耐水P.B t=12.5下地	／	化粧P.B 7=9.5 (ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号	H=2.500 塩ビ見切	ピクトサイン、紙巻器(機械)、L型手摺(700×700)、小便器用手摺、鏡(360×900)、 トイレブース、面台：メラミン、床下点検口 600角
女 子 便 所	ビニル床シート貼 7=2.8 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地	タモ集成材 C.L H=100	ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 耐水P.B 7=12.5 下地	／	化粧P.B 7=9.5 (ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号	H=2.500 塩ビ見切	ピクトサイン、紙巻器(機械)、L型手摺(700×700)、鏡(360×900)、 トイレブース、面台：メラミン、棚板、床下点検口 600角
多 目 的 便 所	ビニル床シート貼 7=2.8 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地	タモ集成材 C.L H=100	ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 耐水P.B 7=12.5 下地	／	化粧P.B 7=9.5 (ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号	H=2.500 塩ビ見切	ピクトサイン、紙巻器(機械)、L型手摺(700×700)、可動手摺(跳ね上げ式)、 面台：メラミン、開閉式ベビーベットの(機械)、呼出ボタン(電気)、床下点検口 600角
物 入	ビニル床タイル貼 t=3.0 (木目調) 構造用合板 厚28	タモ集成材 C.L H=100	ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 P.B 7=12.5下地	／	化粧P.B t=9.5 (ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号	H=2.500 塩ビ見切	
業 務 所	ビニル床シート貼 7=2.8 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地	タモ集成材 C.L H=100	ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 P.B 7=12.5下地 ホールに面する壁は、P.B 7=12.5+12.5 下地	／	岩綿吸音板貼 7=9 P.B 7=9.5 捨張下地	H=2.500 塩ビ見切	室名札、木製カーテンボックス(埋込)、カーテンレール(W)、A.Cスリーブ・カバープレート(機械) 室内固定換気レジスター(150φ、スリル防虫網付、屋外スリルフード)(機械)、天井点検口
	湯沸室(2) 業務所便所	タモ集成材 C.L H=100	ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 耐水P.B 7=12.5 下地 男子便所に面する壁は、P.B 7=12.5+耐水P.B 12.5 下地	／	化粧P.B 7=9.5 (ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号	H=2.500 塩ビ見切	ミニキッチン L=900(扉タイプ)、紙巻器(機械)、L型手摺(700×700)、棚板、床下点検口 600角
	倉庫	タモ集成材 C.L H=100	ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 P.B 7=12.5下地 多目的便所に面する壁は、P.B 7=12.5+12.5 下地	／	化粧P.B 7=9.5 (ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号	H=2.500 塩ビ見切	
外部倉庫	防水モルタル金ゴテ仕上	タモ集成材 C.L H=100	無石棉ケイ酸カルシウム板 7=6 EP塗装 目透かし張り	／	無石棉ケイ酸カルシウム板 7=6 目透かし貼 EP塗装	H=2.550 塩ビ見切	

特記事項			
・コンクリートに接する木材は防蟻剤2回塗とする事。 ・工場処理かつクワドリビスの添加されていないものを使用する。	・木部見掛面は、C.L仕上とする。 ・木材の工事現場運搬時における含水率は、12.2.1表とする。	・屋根瓦・磁器質タイルは愛知県産材を使用のこと。 ・特記なき造作材・腰板は集成材とする。	・原則として構造材及び内装材(杉、桧他)で扱う無垢材、仕上板等の見掛り部分については愛知県産材(愛知県内で伐採された原木又はその原木を加工した製材等の木材)とする。又、愛知県産材であることを証明する書類として、納入業者から建設業者宛の県産材証明書等を監督職員に提出すること。ただし、構造集成材については、この限りでない。
・ビニルクロス下地のP.Bは、テーパーボードとする。 ・吊戸棚、トイレ便座等に涙目戸当り取り付けとする。	・壁下地の胴縁は杉21×42 横φ303、縦φ455程度とする。 ・仕上材、塗材、接着材、建具、流し台、吊戸棚は全てF☆☆☆☆とする。	・地面から高さが1m以内の外壁の軸組及び土台は防蟻・防蟻処理を施すこと。 ・建具U.C塗装2回塗りとする。	・特に定めのない項目については、「木造建築工事標準仕様書 平成28年版」によるか、監督職員との協議による。
・特記無き限り、合板はラワン合板1型とする。 ・ビニル床シートはワックス1回塗とする。	・小屋裏に用いる合板は全てF☆☆☆☆以上とする。 ・化粧鏡は厚5.0φ1/1付付とする。	・木部見え掛り面はかな仕上りとし、仕上りの程度はA種(12.1.1表)とする。 ・ピクチャーレールはフック(2個/m)、チェーン(又はワイヤー)付とする。	
・本工事は、国土交通大臣官庁「木造建築工事標準仕様書(平成28年版)」を適用する。	・ビニル床シートは抗菌性発泡層付複層ビニル床シートとする。		

凡 例													
	コンクリート		天井点検口 床下点検口	SOP	合成樹脂調合ペイント	CB	コンクリートブロック	SD	スチール扉		建具記号	d・t	厚さ
	木造		床高さ(各々ラインより)	EP	合成樹脂エポキシ付塗料	FP板	押出法スリルフォーム保温板	AW	アルミ製窓			L	長さ
	断熱材(グラスウール)		壁種	OS	オイルステイン	LGS	軽量鉄骨下地	AD	アルミ製扉		展開図案内	W	幅
	断熱材(スリルフォーム)		ルーフトレン	CL	クリアラッカー	PS	バイブスペース	AG	アルミ製ガラリ			φ	直径
	砕石		フロアドレン・中継ドレン	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り			WD	木製扉			r	半径
	コンクリートブロック							F	襖				
	木造1時間耐火構造(外壁)		ポリサルファイド系シーリング					DC	ドアクローザー				

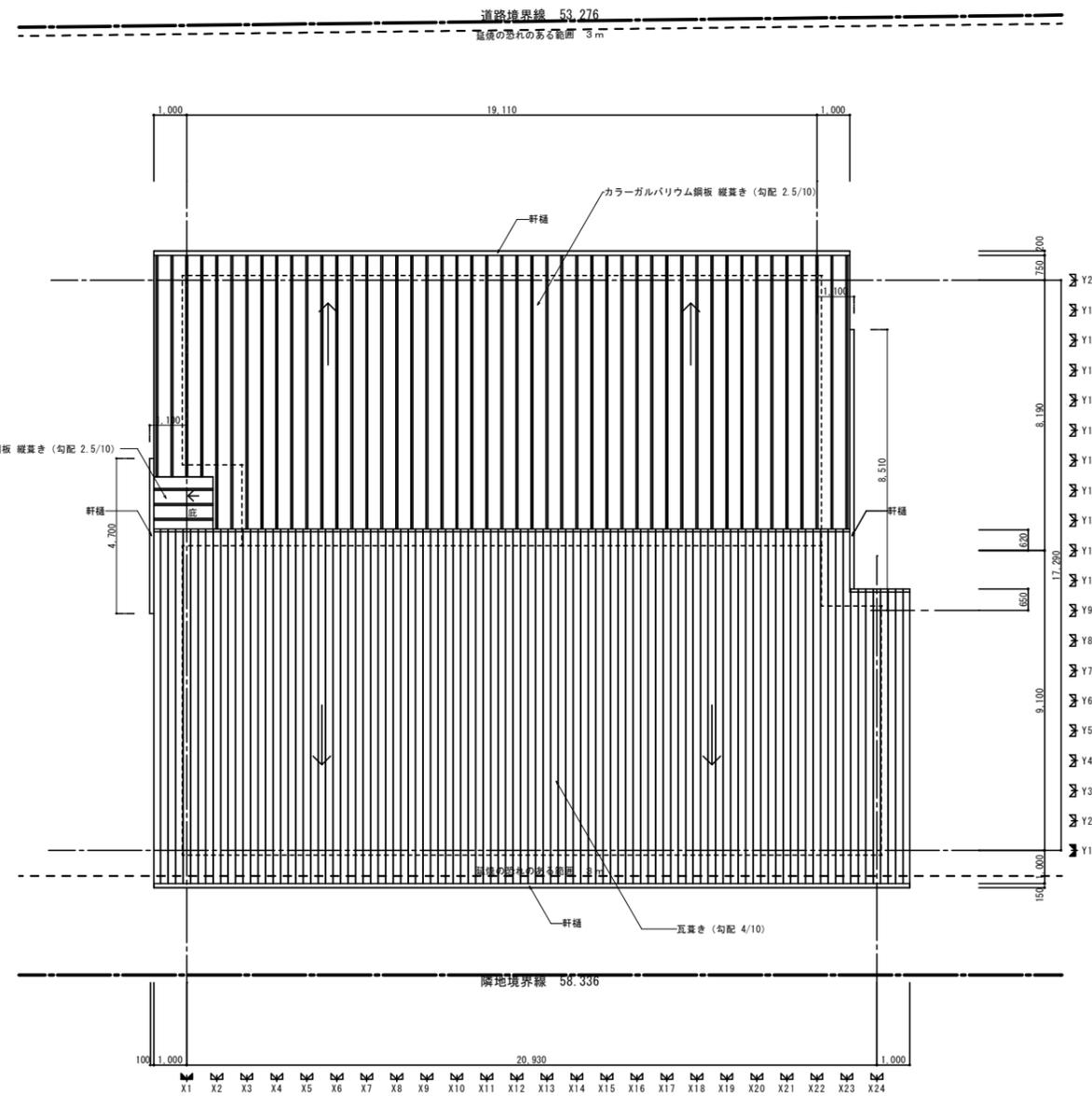
耐火仕様
法第2条第七号
[H12.5.30]建設省告示第1399号

株式会社 黒川建築事務所		平針住宅集会所建設工事		図面番号
一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦		仕上表		No. A14
概 算	製 図	設 計	平成29年 3月	
愛知県建設部建築局公営住宅課				



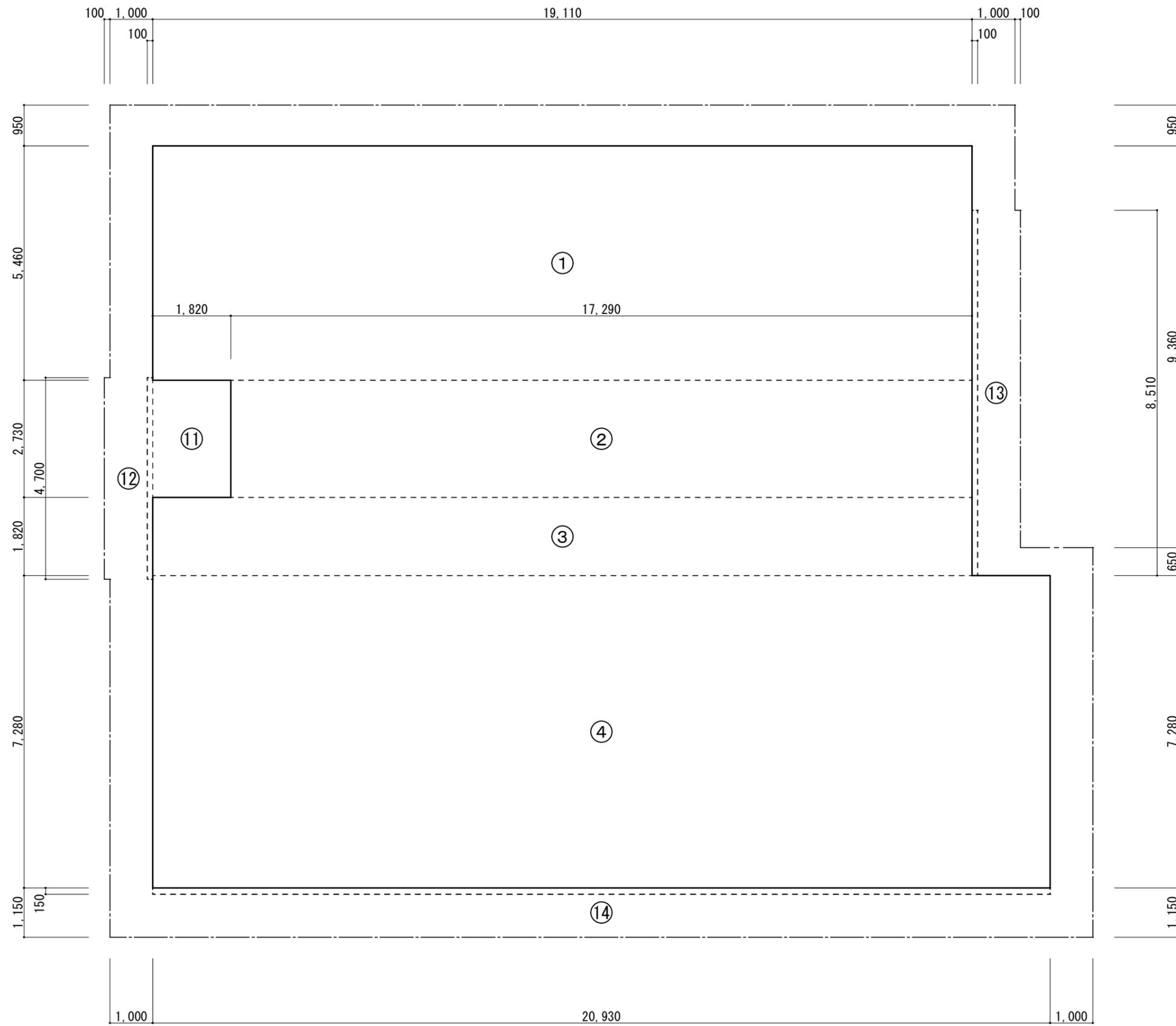
1階平面図

○ : 消火器 (ABC-10)



屋根伏図

株式会社 黒川建築事務所		平針住宅集会所建設工事		図面番号
一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦		平面図、屋根伏図	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	No. A15
提出	製図	設計	愛知県建設部建築局公営住宅課	
		平成29年 3月		



求積計算

- ① : $19.11 \times 5.46 = 104.341$
- ② : $17.29 \times 2.73 = 47.202$
- ③ : $19.11 \times 1.82 = 34.781$
- ④ : $20.93 \times 7.28 = 152.371$
- ⑪ : $1.82 \times 2.73 = 4.969$
- ⑫ : $0.10 \times 4.70 = 0.470$
- ⑬ : $0.10 \times 8.51 = 0.851$
- ⑭ : $20.93 \times 0.15 = 3.140$

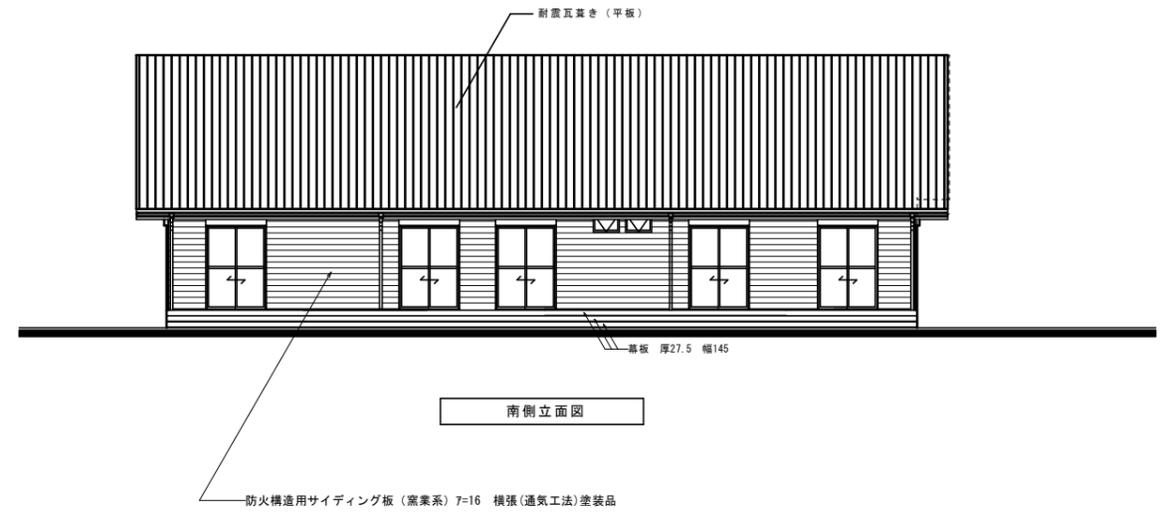
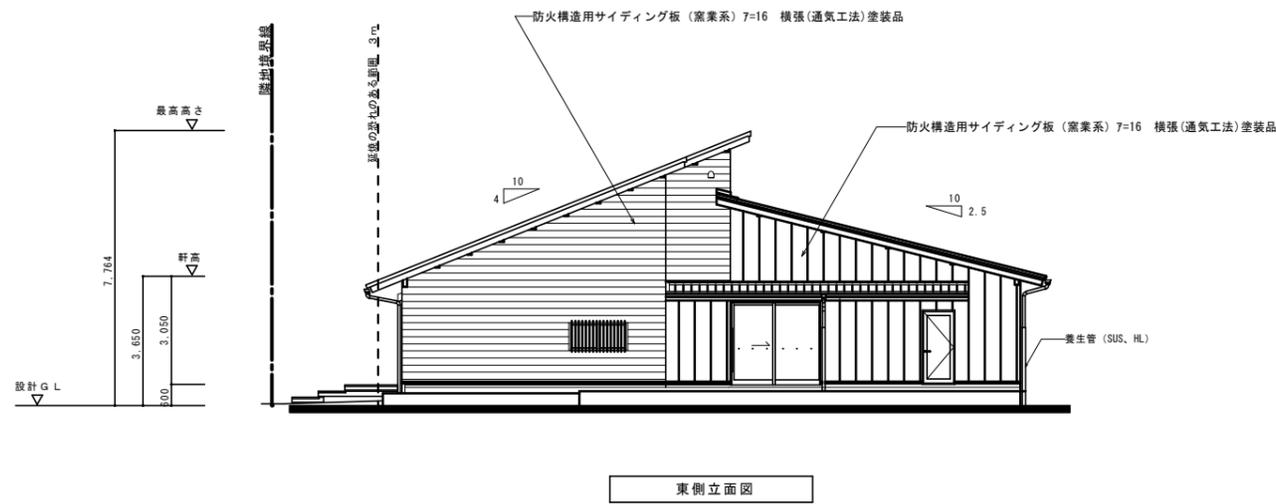
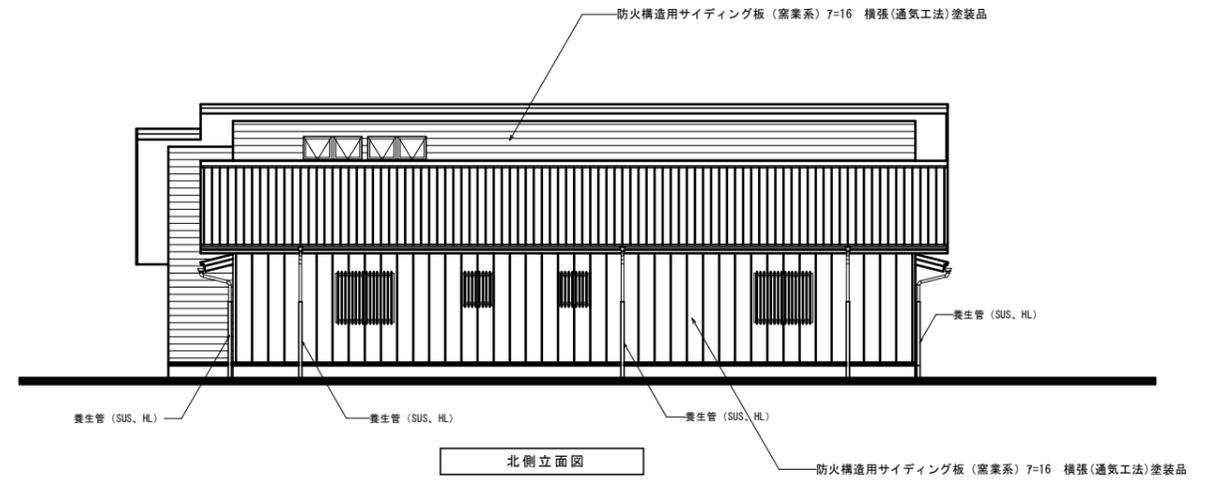
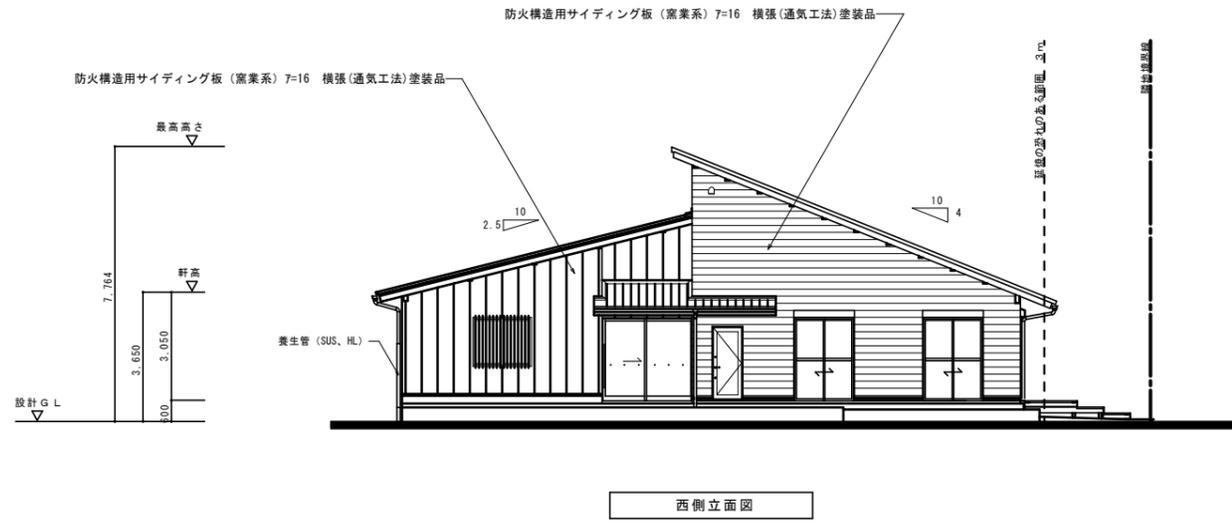
延床面積

①+②+③+④=338.695 → 338.70㎡

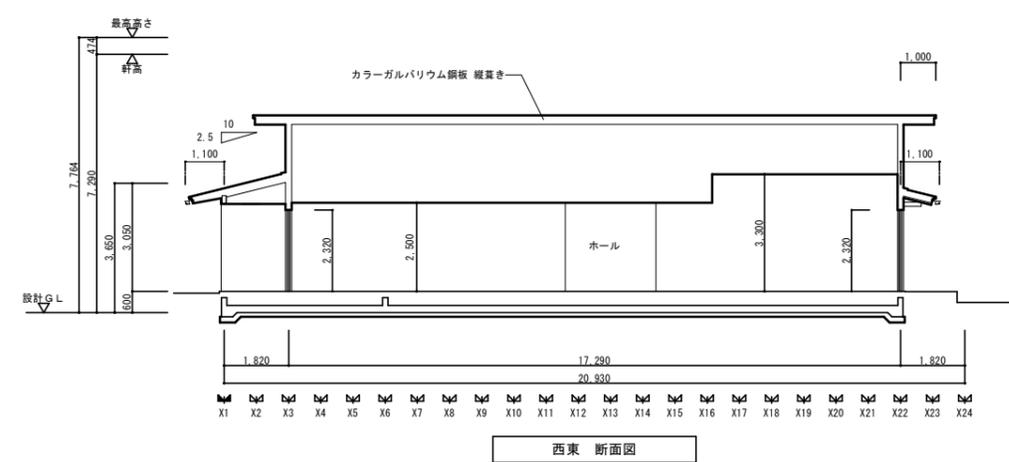
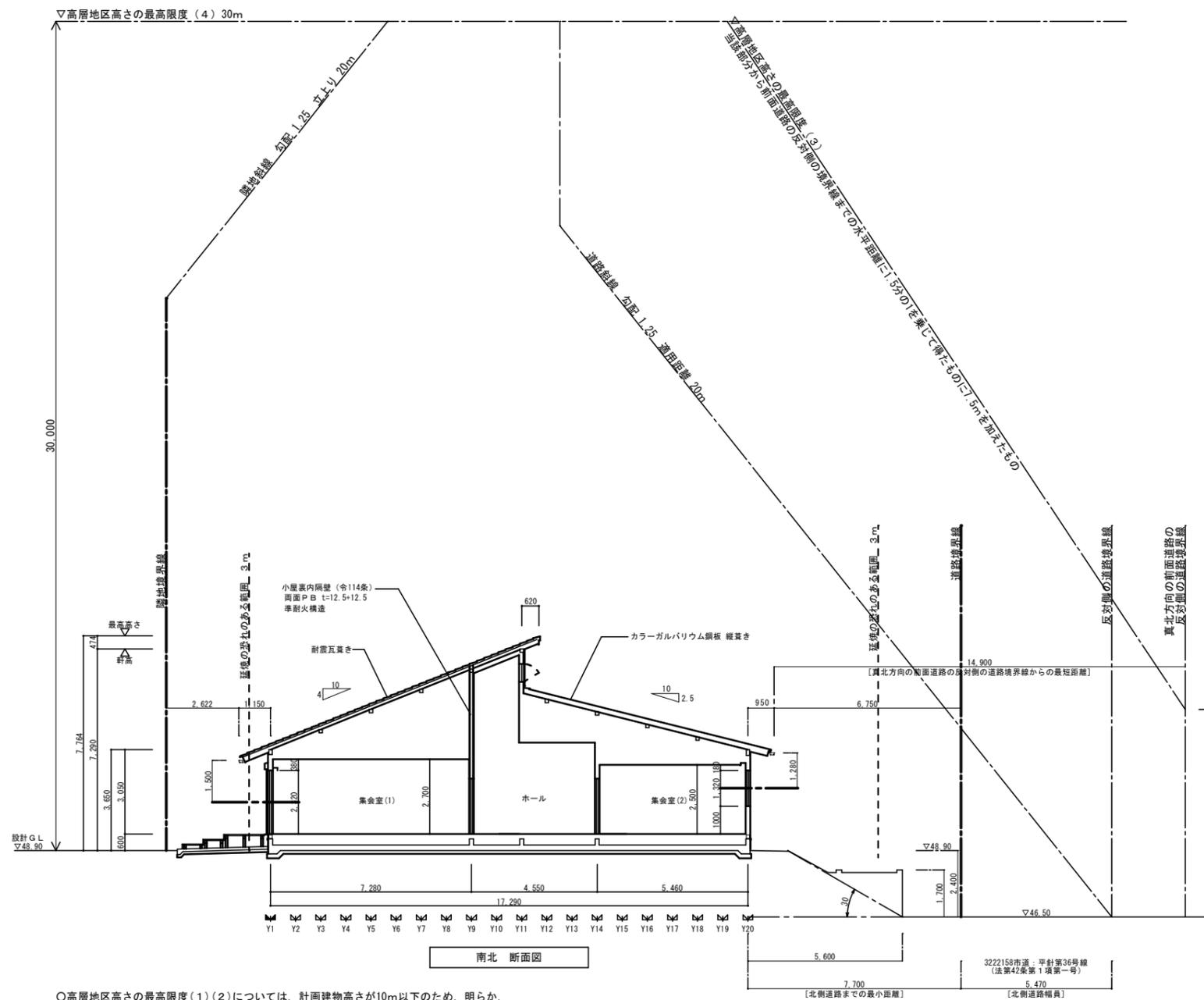
建築面積

[延床面積]+⑪+⑫+⑬+⑭=348.125 → 348.13㎡

株式会社 黒川建築事務所		平針住宅集会所建設工事		図面番号
一級建築士 登録第100527号		求積図		編尺 A1:1/50 A3:1/100
代表取締役 黒川 喜洋彦		設計 平成29年3月		No. A16
愛知県建設部建築局公営住宅課				

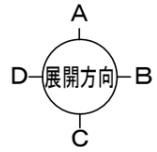
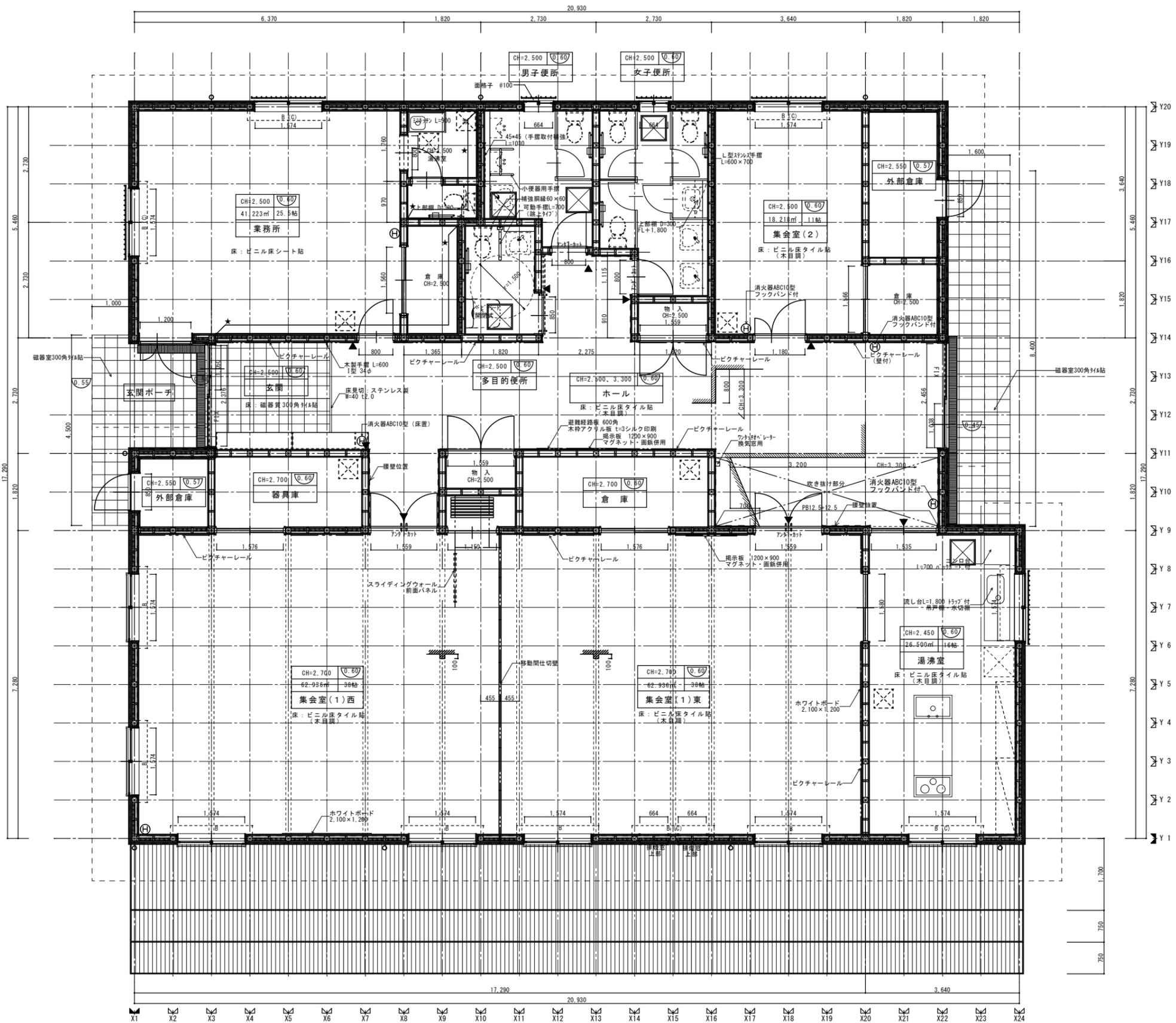


株式会社 黒川建築事務所		平針住宅集会所建設工事		図面番号
一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦		立面図	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	No. A17
検出	製図	設計 平成29年 3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	

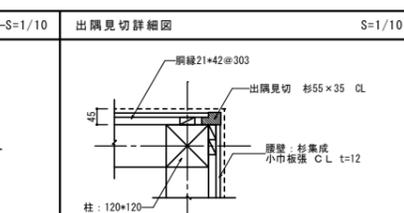
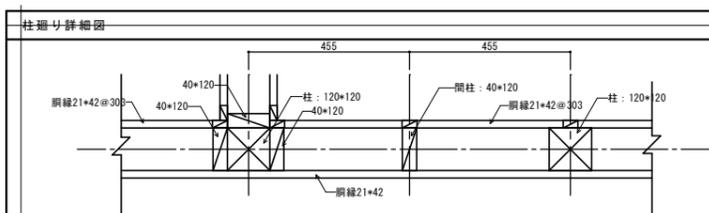


○高層地区高さの最高限度(1)(2)については、計画建物高さが10m以下のため、明らか。

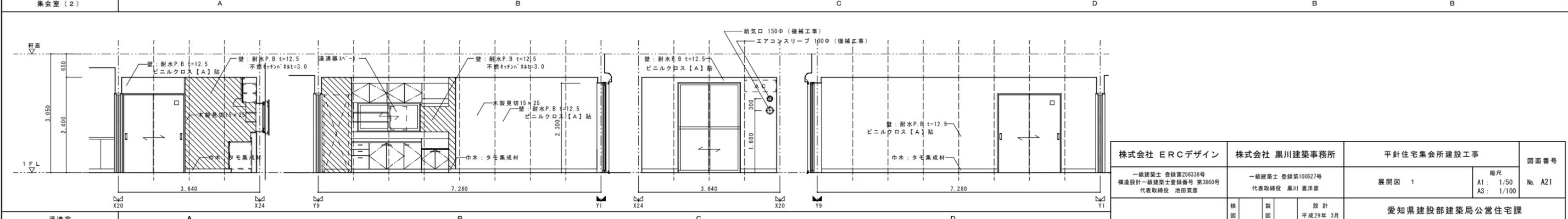
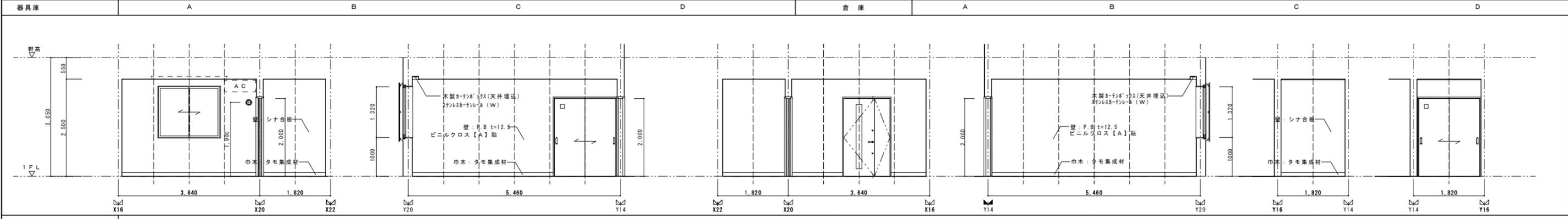
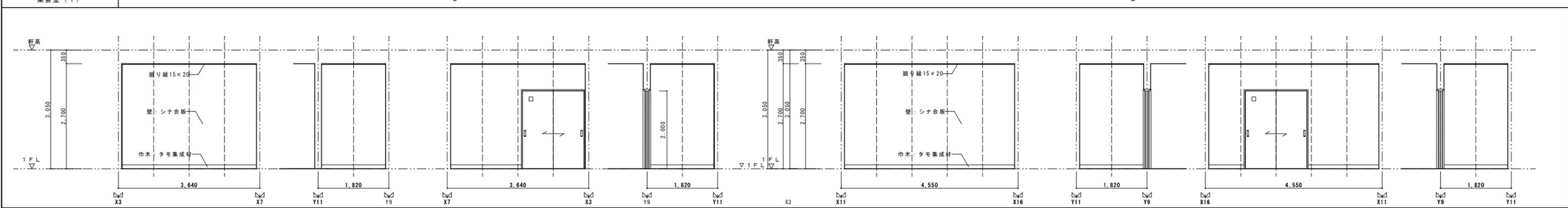
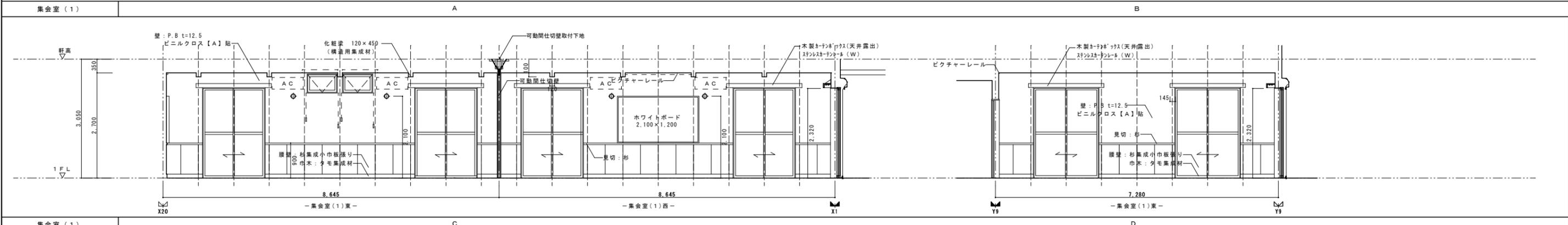
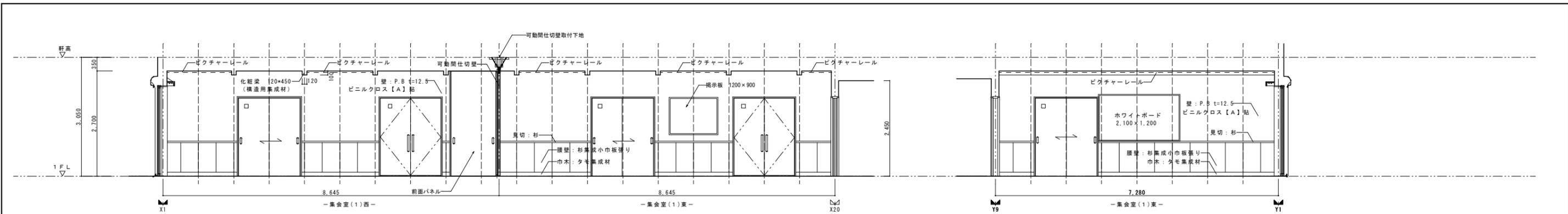
株式会社 黒川建築事務所		平針住宅集会所建設工事		図面番号
一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦		断面図	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	No. A18
提出	製図	設計	愛知県建設部建築局公営住宅課	
		平成29年 3月		



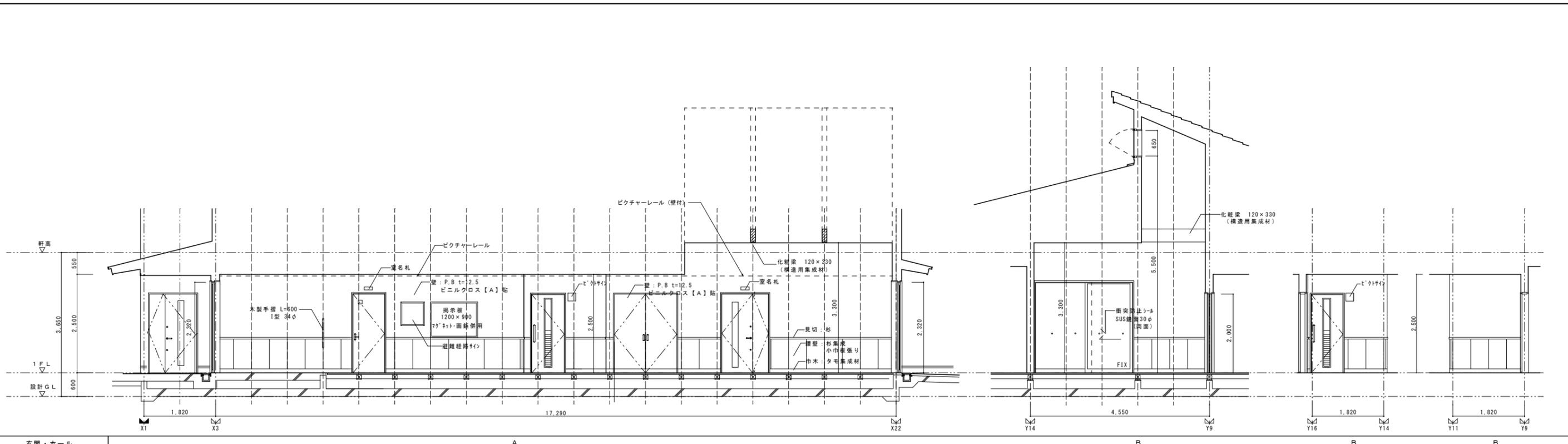
凡一例			
	天井点検口 (アルミ製450×450)		遮音壁 (PB12.5+12.5 小屋裏まで PBを貼上げる)
	床下点検口 (アルミ製600×600)		産名札(平付) 便所はビクトサイン
	消火器ABC10型 フックバンド付		設計仕からの高さ
	木製カーテンボックス (露出)		
	カーテンレール (W) : ステンレス製		
	木製カーテンボックス (露出)		
	カーテンレール (W) : ステンレス製		



株式会社 ERCデザイン		株式会社 黒川建築事務所		平針住宅集会所建設工事		図面番号
一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田寛彦		一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦		平面詳細図		縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
検 図	製 図	設 計	愛知県建設部建築局公営住宅課			
		平成29年 3月				



株式会社 ERCデザイン 一級建築士 登録第25638号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田克彦	株式会社 黒川建築事務所 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦	平針住宅集会所建設工事		図面番号
		展開図 1	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	No. A21
機	製	設	愛知県建設部建築局公営住宅課	
		平成29年 3月		



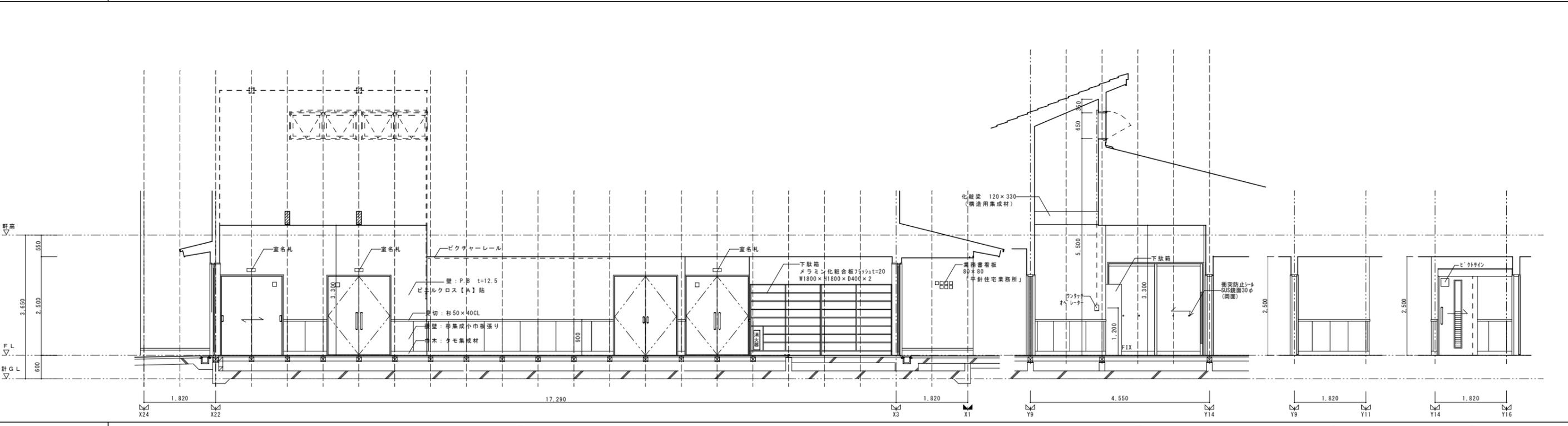
玄関・ホール

A

B

B

B



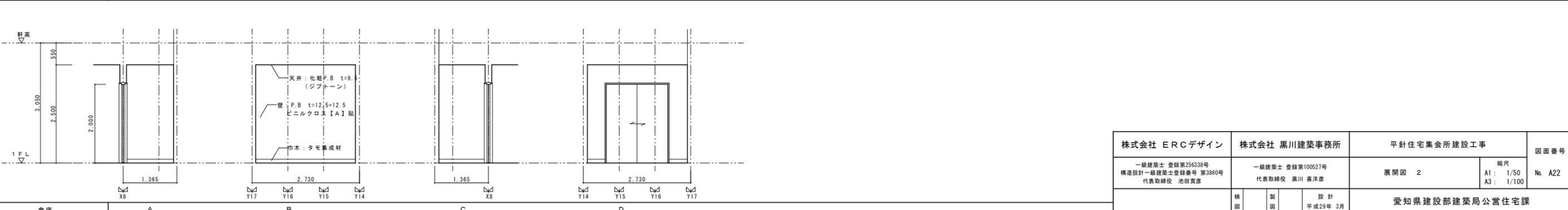
玄関・ホール

C

D

D

D



倉庫

A

B

C

D

株式会社 ERCデザイン 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田克彦	株式会社 黒川建築事務所 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦	平針住宅集会所建設工事		図面番号
		展開図 2	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	No. A22
概図	製図	設計 平成29年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	



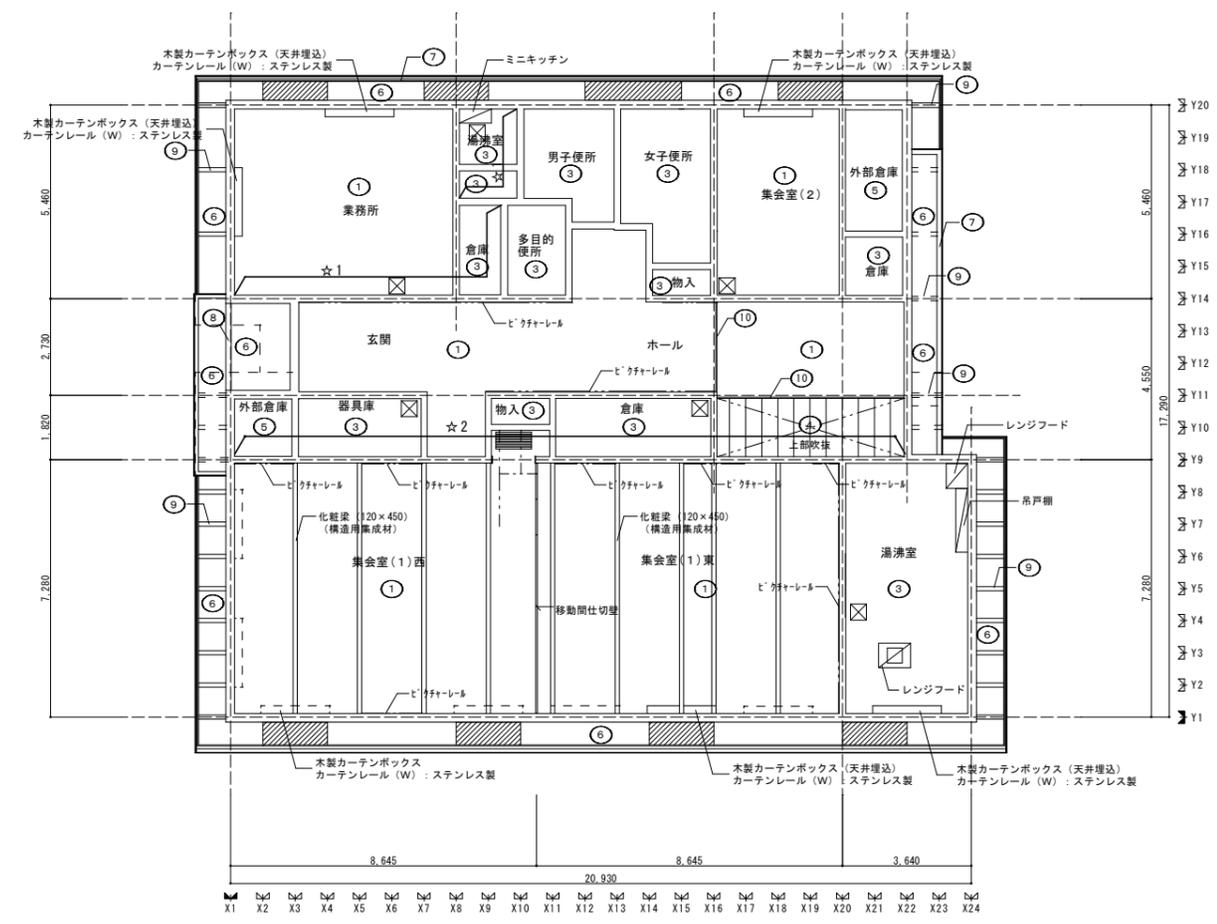
株式会社 ERCデザイン <small>一級建築士 登録第25638号 構造設計一級建築士登録番号 第3660号 代表取締役 池田克彦</small>	株式会社 黒川建築事務所 <small>一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦</small>	平針住宅集会所建設工事		図面番号
		展開図 3	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	No. A23
機 図	製 図	設計 平成29年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	

符号・形式	(AW1) アルミ製引違いサッシ	(AW2) アルミ製引違いサッシ(外付)	(AW3) アルミ製引違いサッシ(外付)	(AW4) アルミ製引違いサッシ(外付)	(AW5) アルミ製外開しサッシ(外付)	(AW6) アルミ製2連外開しサッシ(外付)	(AD1) アルミ製ハンガー引戸	(AD2) アルミ製親子開きドア
性能								
寸法 数量	1,574 × 2,300 7	1,574 × 1,300 3	1,574 × 700 1	664 × 900 2	664 × 450 2	1,574 × 650 2	2,376 × 2,300 (2,456 × 2,300)* 2	1,200 × 2,000 1
使用箇所	集会所(1)西, 集会所(1)東, 湯沸室(1)	業務所, 集会所(2)	湯沸室(1)	男子便所, 女子便所	集会所(1)東	ホール	玄関, ホール	業務所
図								
寸法 数量	850 × 2,000 2	1,559 × 2,000 2	1,576 × 2,000 (1,560 × 2,000)* 4	1,566 × 2,000 2	1,559 × 2,000 2	800 × 2,000 1	1,180 × 2,000 1	820 × 2,000 2
使用箇所	外部倉庫	集会所(1)西, 集会所(1)東	集会所(1)西内器具庫, 集会所(1)東内倉庫, 湯沸室(1), 業務所内倉庫	集会所(2)内物入, 湯沸室(1)	物入	業務所	集会所(2)	男子便所, 女子便所
図								
性能								
寸法 数量	700 × 2,000 1	950 × 2,000 1	7,093 × 2,700 (1,150 × 2,700) 1	7,093 × 2,700 (1,150 × 2,700) 1	7,093 × 2,700 (1,150 × 2,700) 1	下記による 1	下記による 1	下記による 1
使用箇所	業務所便所	多目的便所	集会所(1)	集会所(1)	集会所(1)	男子便所	女子便所	女子便所
図								
性能								
寸法 数量	700 × 2,000 1	950 × 2,000 1	7,093 × 2,700 (1,150 × 2,700) 1	7,093 × 2,700 (1,150 × 2,700) 1	7,093 × 2,700 (1,150 × 2,700) 1	下記による 1	下記による 1	下記による 1
使用箇所	業務所便所	多目的便所	集会所(1)	集会所(1)	集会所(1)	男子便所	女子便所	女子便所
図								
性能								
寸法 数量	700 × 2,000 1	950 × 2,000 1	7,093 × 2,700 (1,150 × 2,700) 1	7,093 × 2,700 (1,150 × 2,700) 1	7,093 × 2,700 (1,150 × 2,700) 1	下記による 1	下記による 1	下記による 1
使用箇所	業務所便所	多目的便所	集会所(1)	集会所(1)	集会所(1)	男子便所	女子便所	女子便所
図								

特 記

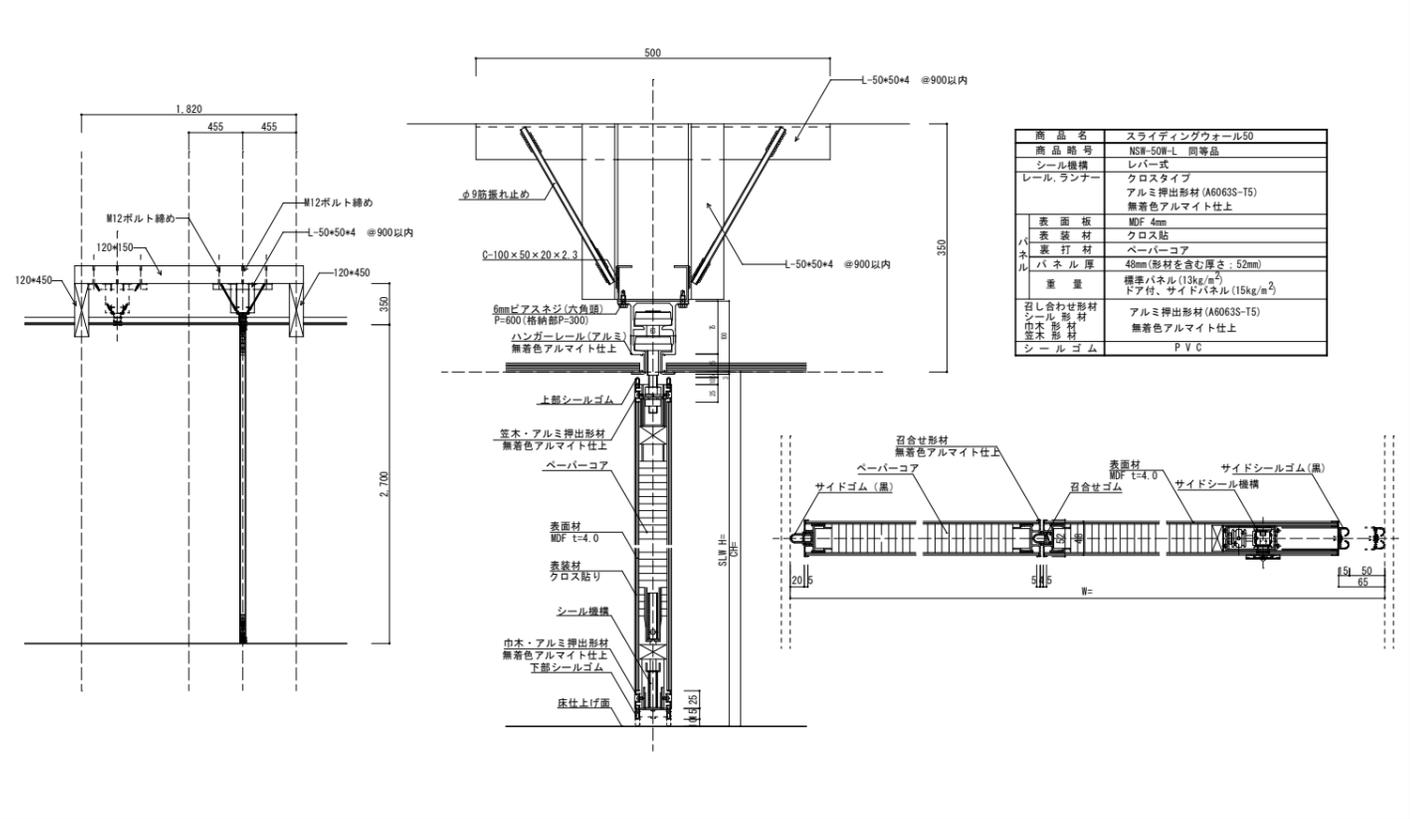
- ① 建具寸法 (W×H) は、開口内法有効寸法とする。
- ② アルミサッシはカラーアルミとする。(シルバーは不可)
- ③ ステンレス丁番は3ヶ所止めとする。

凡例			
①	P.B t=9.5 拵貼下地 岩綿吸音板貼 t=9	⑥	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP塗装
②	シナ合板 t=5.5	⑦	鼻隠：押出成形板 H=210
③	化粧P.B t=9.5 (ジブトーン)	⑧	SUS見切25×100×1.2
④	杉葺扉合板 t=6 目透かし貼	⑨	母屋：SOP.3 回塗り
⑤	無石棉ケイ酸カルシウム板 t=6 目透かし貼 EP塗装	⑩	見切縁35×20(35×45) CL
有孔材'ト'貼 EP塗装を承す			
☆1	P.B t=12.5+12.5とし、小屋裏まで張り延ばしとする。(業務所側)		
☆2	小屋裏内隔壁：両面P.B t=12.5+12.5張り 準耐火構造		
---	ピクチャーレール		
⊗	天井点検口 (アルミ製450×450)		



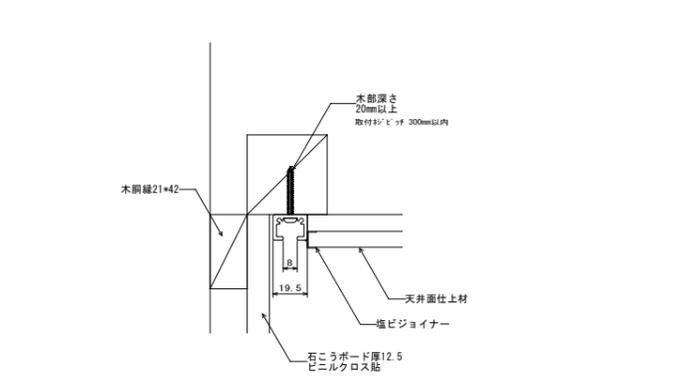
1階 天井伏図 S=1/100

スライディングウォール詳細図

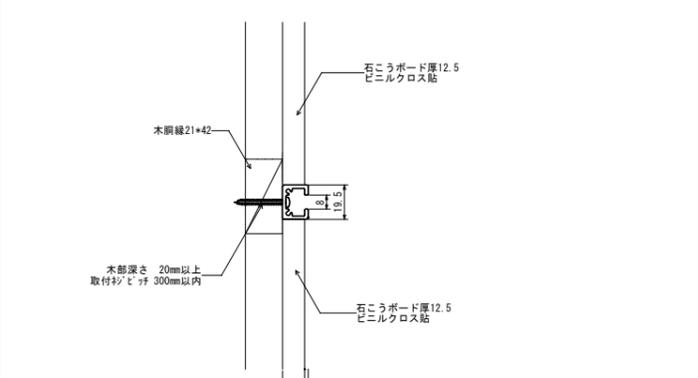


商品名	スライディングウォール50
商品番号	NSP-50W-L 両等品
シール機構	レバー式
レール、ランナー	クロスタイプ アルミ押出型材 (A6063S-T5) 無着色アルマイト仕上
表面板	MDF 4mm
裏板材	クロス貼
裏打ち材	ペーパーコア
パネル厚	48mm (形材を含む厚さ: 52mm)
重量	標準パネル (13kg/m ²) ドア付、サイドパネル (15kg/m ²)
召し合わせ材	アルミ押出型材 (A6063S-T5)
シール材	無着色アルマイト仕上
定木形材	無着色アルマイト仕上
シールゴム	PVC

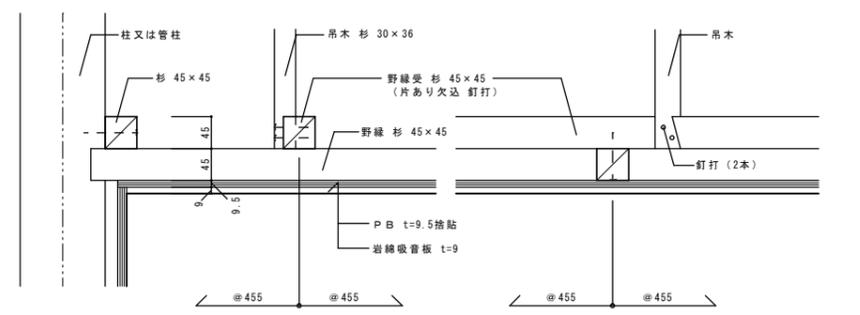
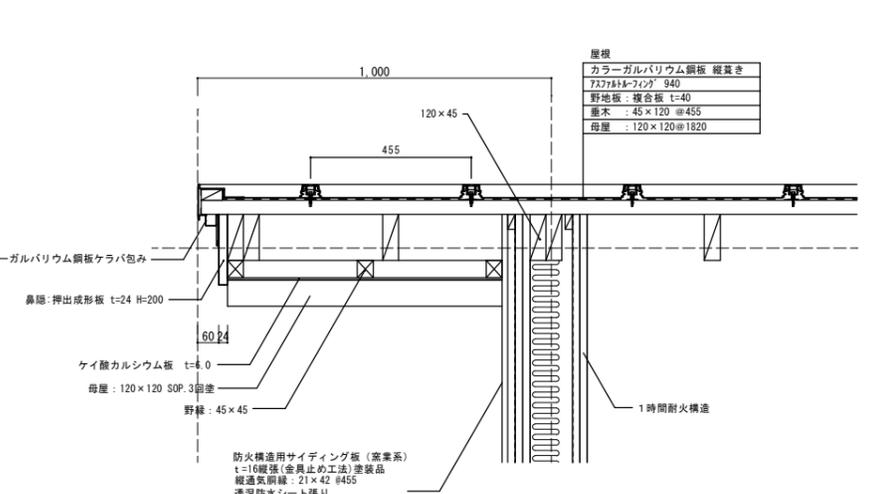
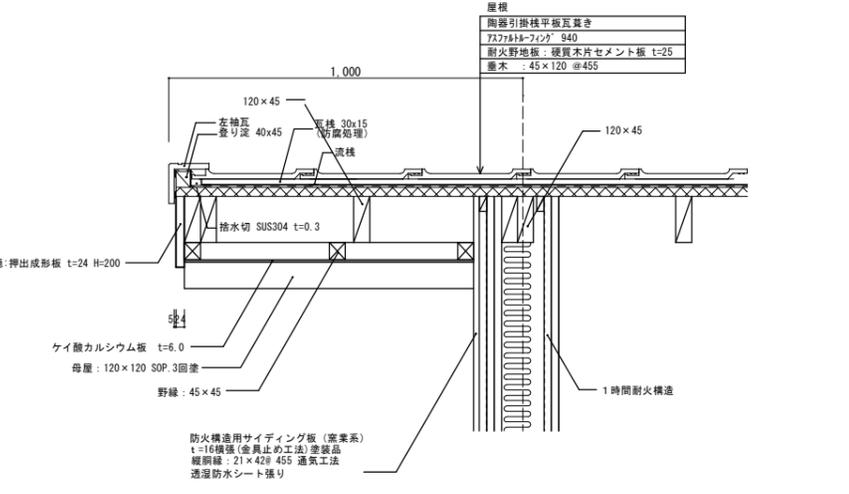
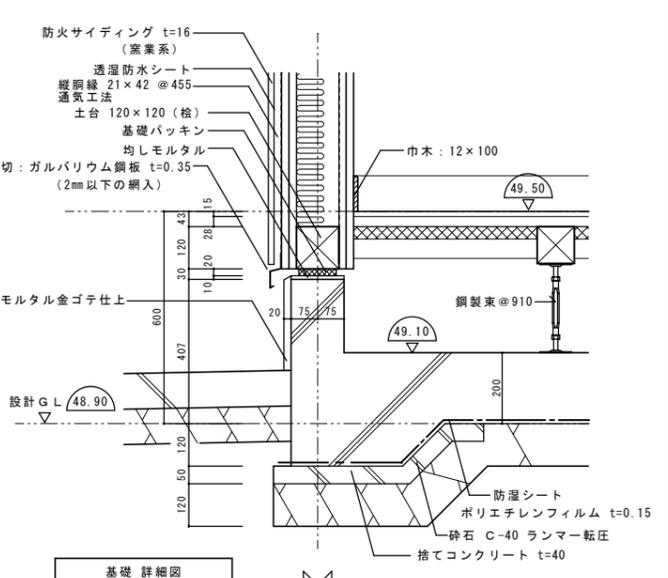
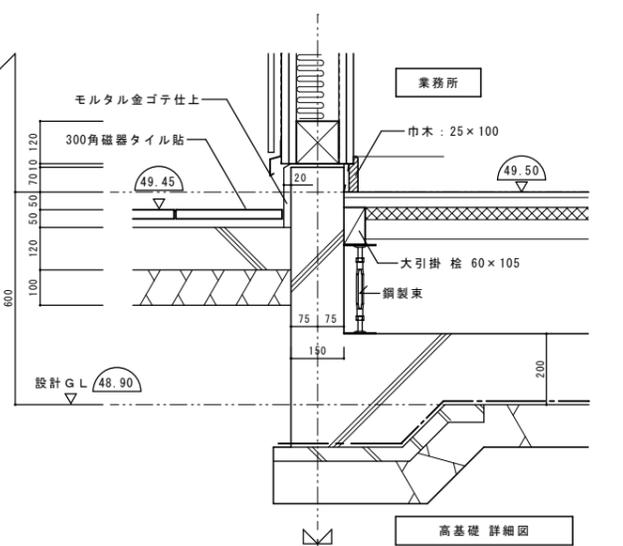
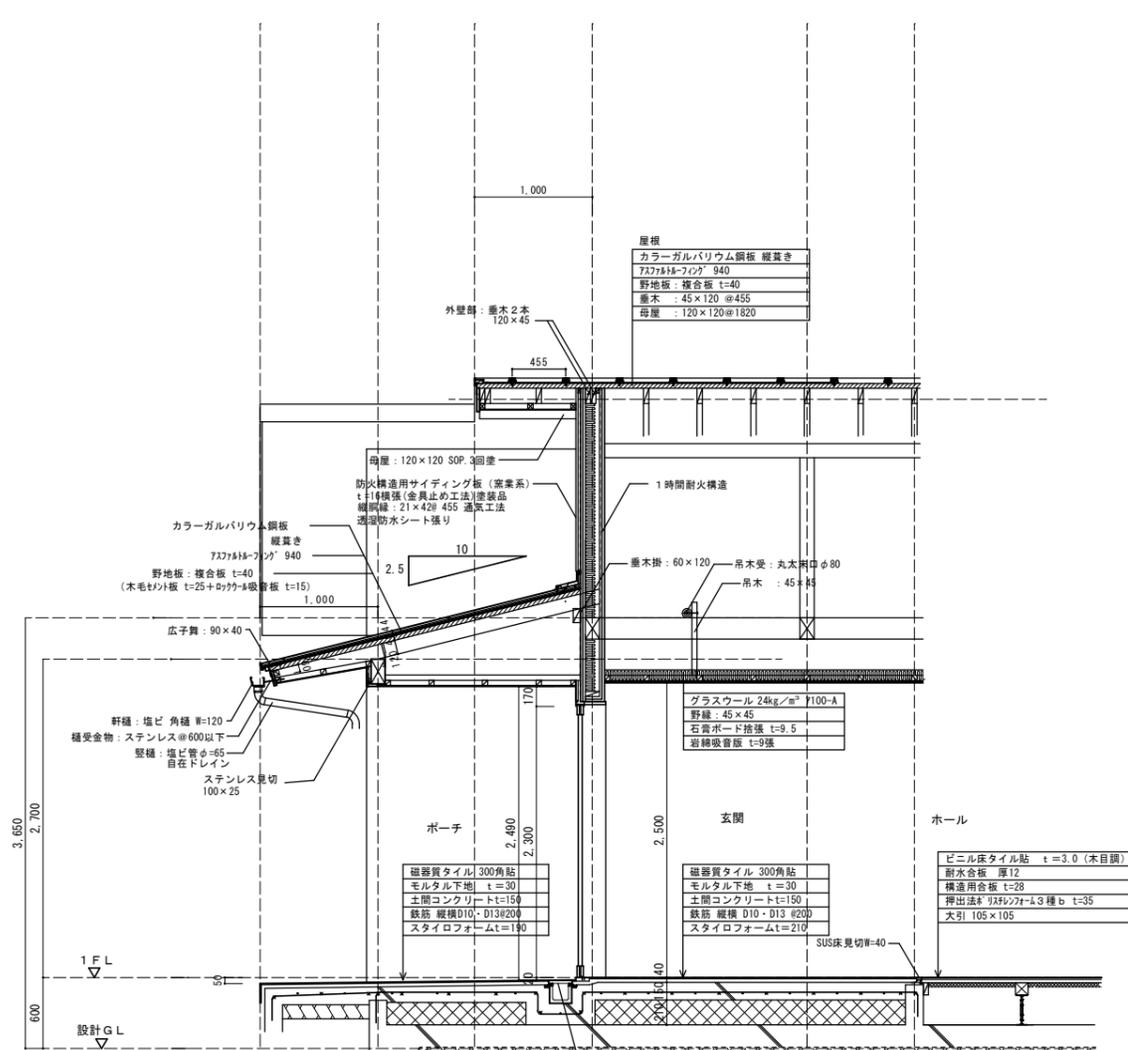
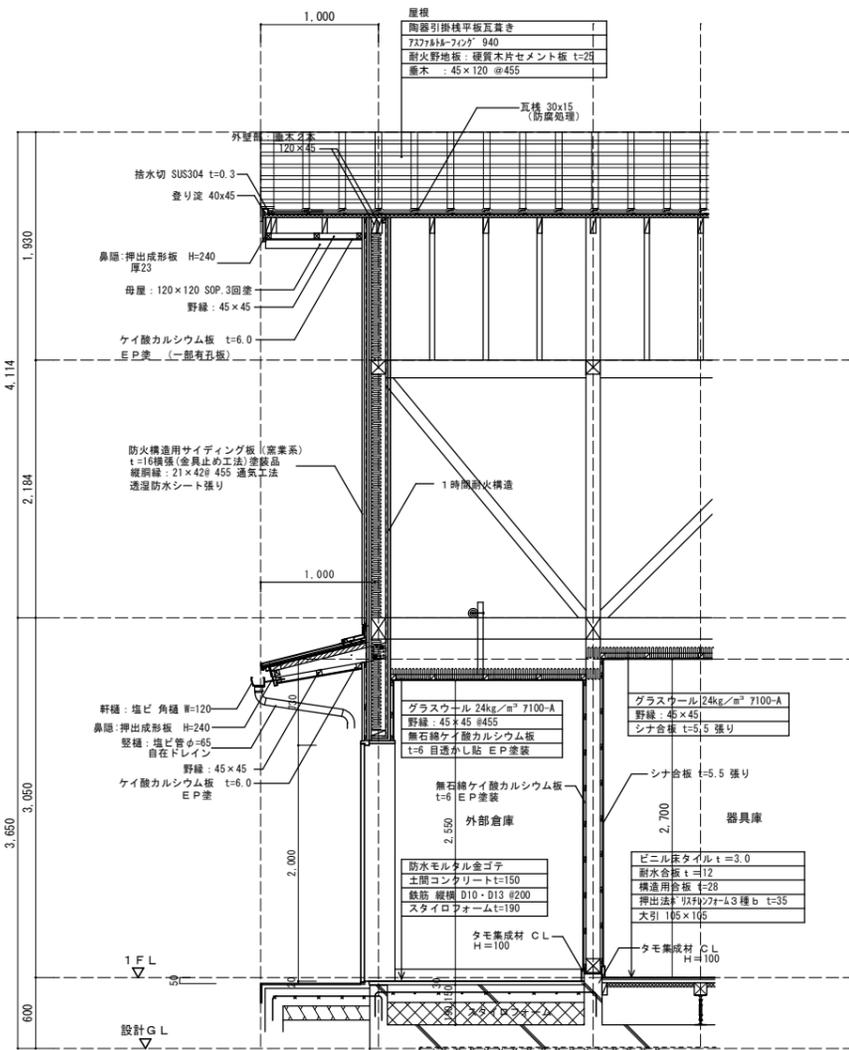
ピクチャーレール詳細図 S=1/2



ピクチャーレール (壁付) 詳細図 S=1/2

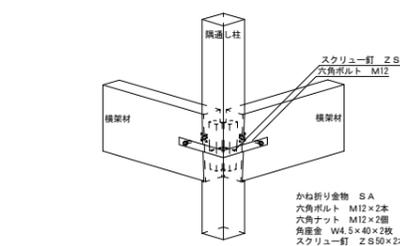


株式会社 ERCデザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅集会所建設工事		図面番号
一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3660号 代表取締役 池田克彦	一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦	天井伏図_雑詳細図	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	No. A25
機	製	設計	愛知県建設部建築局公営住宅課	
		平成29年 3月		

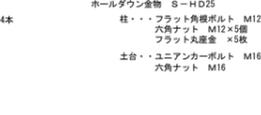
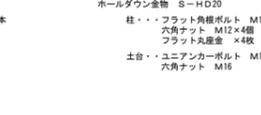
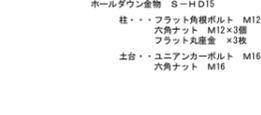
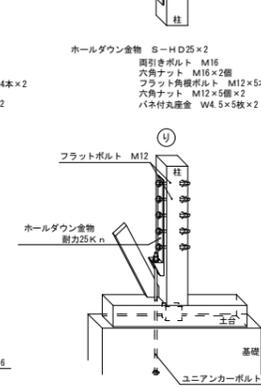
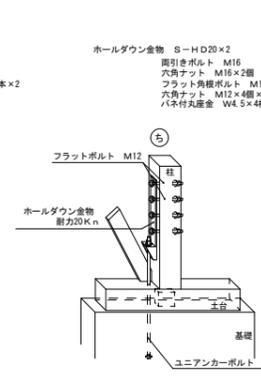
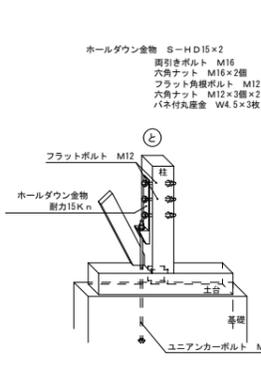
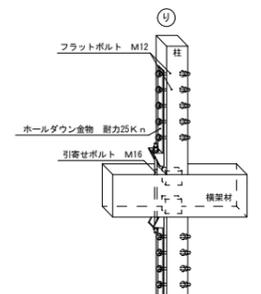
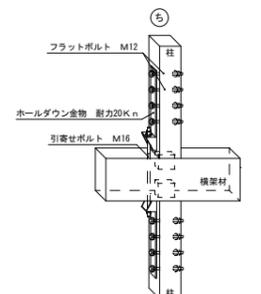
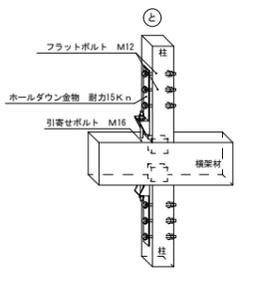
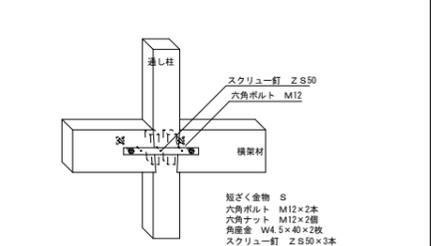


株式会社 ERCデザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅集会所建設工事		図面番号
一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田克彦	一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦	雑詳細図 (1)	縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60	No. A26
機 製 設 計 図 図 平 成 29 年 3 月		愛知県建設部建築局公営住宅課		

2階隔通し柱・胴差緊結金物施工前標準図



通し柱・胴差緊結金物施工前標準図

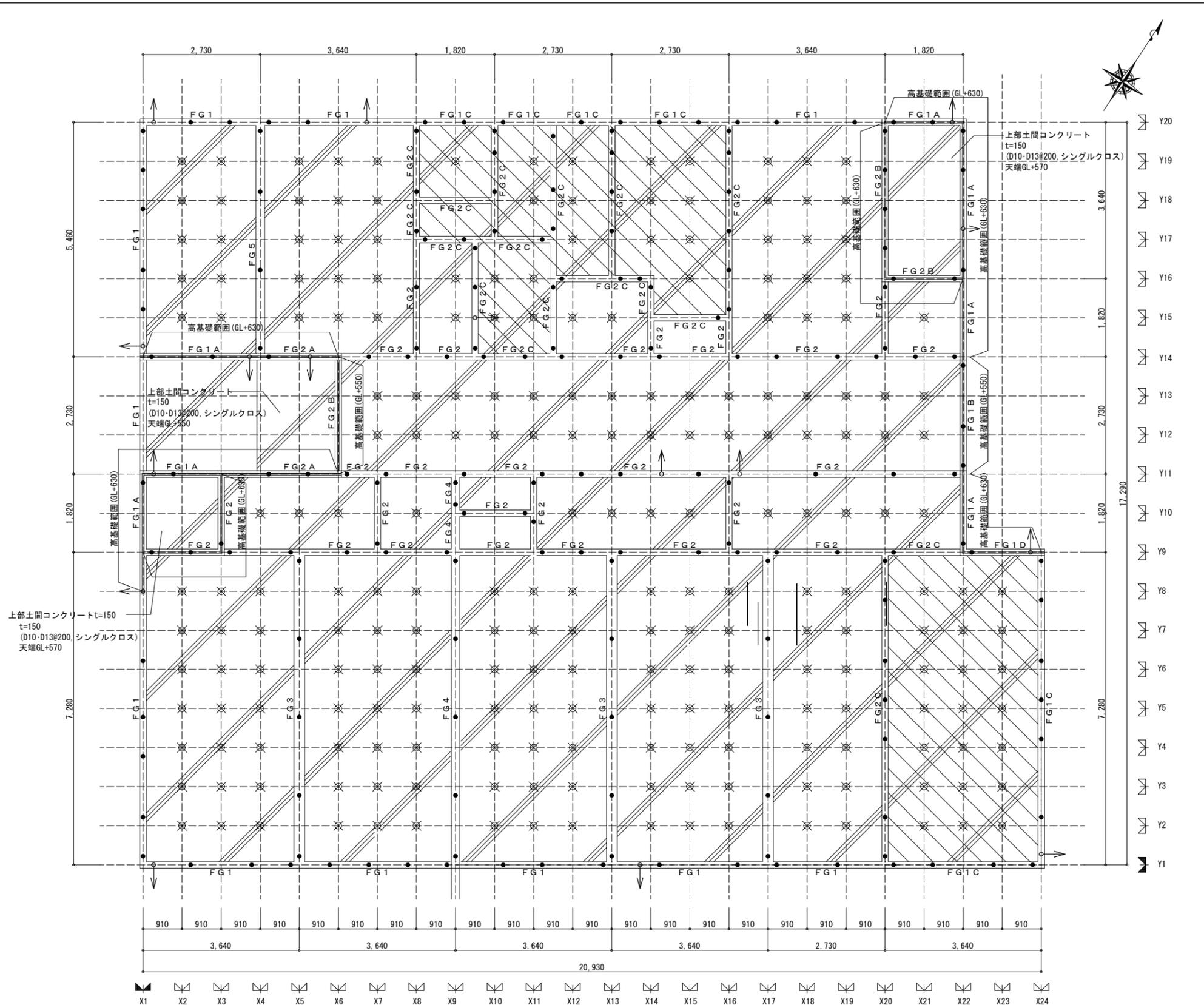


金物	種類・記号	接合金物
羽子板ボルト SB・E	【寸法・形状】 ◎使用接合具 六角ボルトM12 L=280・310・340 六角ナットM12 370・400・430 角座金W4.5×40 スクリークズ ZS50	◎用途 小屋ばりや軒桁、軒桁と柱、胴差と通し柱の連結
かね折り金物 SA	【寸法・形状】 ◎使用接合具 六角ボルトM12 L=210・240・270・300・345 六角ナットM12 角座金W4.5×40 スクリークズ ZS50	◎用途 通し柱と胴差の取合
ひねり金物 ST (右ひねりのみ)	【寸法・形状】 ST-9, ST-12 ◎使用接合部 太めくぎ ZN40	◎用途 たるきと軒げた、または、もやとの接合 【使い方】
折曲げ金物 SF (右ひねり及び左ひねり)	【寸法・形状】 右ひねり 左ひねり ◎使用接合部 太めくぎ ZN40	◎用途 ひねり金物と同様の用途 【使い方】
くら金物 SS	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ ZN40	◎用途 ひねり金物と同様の用途 【使い方】
かど金物 CP・L CP・T	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ ZN65	◎用途 引張りをつける柱と土台・横架材の接合 【使い方】

小屋梁	材種
	はり(丸太) □ あかまつ □ くらまつ □ べいまつ ■ その他(ひのき) はり(その他) □ あかまつ □ くらまつ □ べいまつ □ からまつ ■ その他(ひのき)
小屋束	材種 □ すぎ □ あかまつ □ くらまつ □ べいまつ □ からまつ □ べいつが ■ その他(ひのき) 工法 上部の仕口は長柄・下部の仕口は短柄差しとし、かど金物留めもしくはかすがい両面打ちとする。
棟木・母屋	材種 □ すぎ □ あかまつ □ くらまつ □ べいまつ □ からまつ □ べいつが ■ その他(ひのき) 工法 垂木当たりの欠き込みを考慮して適切な断面寸法とし、継手は束の位置を避け、持ち出し腰掛け蟻継ぎとする。
桁すじかい(くも筋かい)	材種 ■ すぎ □ あかまつ □ くらまつ □ べいまつ □ からまつ □ べいつが □ その他() 工法 束に添えつけ、N50釘2本打ちとする。 振れ止めの断面寸法は真程度とする。
垂木	材種 ■ すぎ □ ひのき □ あかまつ □ くらまつ □ べいまつ □ からまつ □ べいつが □ その他() 工法 1. 継手は乱に配置し、母屋上端でそぎ継ぎとし、釘2本打ちとする。 2. 受け材当たりN75釘で両面を斜め打ちとする。ただし、垂木のせいが45mm程度の場合は、N100釘を脇天打ちとすることができる。 3. 軒先部の留め付けは、桁へひねり金物(ST)、折曲げ金物(SF)、又はくら金物(SS)を当て釘打ちとする。 4. 互棒置き屋根根の場合の垂木間隔は、互棒の留め付け幅と同一とする。
小屋組	継手及び仕口の参考例 小屋ばりの継手(台持継ぎ) 小屋ばりと軒げたとの仕口(かぶとあり) 小屋ばりと軒げたとの仕口(渡りあご) (注) 羽子板ボルトについては、施工性を考えて、軒げたとはり、軒げたと柱を一定間隔ごとに交互に緊結する。
垂木	たる木とひねり金物の施工例 たる木、ひねり金物、小室づか、振れ止め、小室ばり、小室ばり

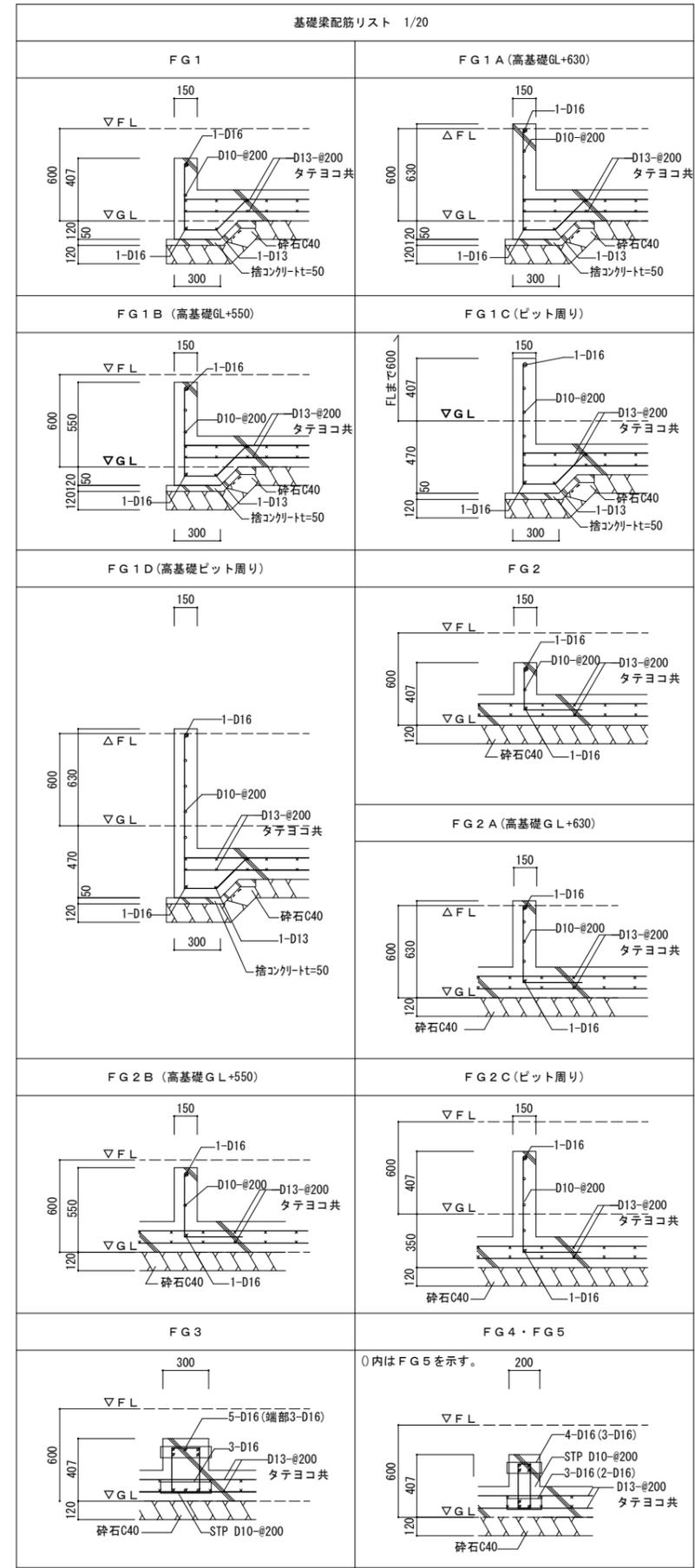
金物	種類・記号	接合金物
火打金物 HB	【寸法・形状】 ◎使用接合具 平くぎZF55 小型角座金W2.3×30 六角ボルトM12 六角ナットM12 角座金W4.5×40	◎用途 床組及び小屋組の隅角部の補強
ひら金物 SM-12	【寸法・形状】 ◎使用接合具 太めくぎZN65	◎用途 かすがいと同様の用途
ひら金物 SM-40	【寸法・形状】 ◎使用接合具 太めくぎZN65	◎用途 管柱の連結等
筋かいプレート BP	【寸法・形状】 ◎使用接合具 角根平頭ボルトM12 小型角座金W2.3×30 六角ナットM12 太めくぎZN65	◎用途 筋かいを柱と横架材に同時に接合 角根平頭ボルトM12

株式会社 ERCデザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅集会所建設工事	
一級建築士 登録第25638号 構造設計一級建築士登録番号 第3660号 代表取締役 池田克彦	一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦	木工事標準仕様書 3	図面番号 No. S03
製 図	設計 平成29年 3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	

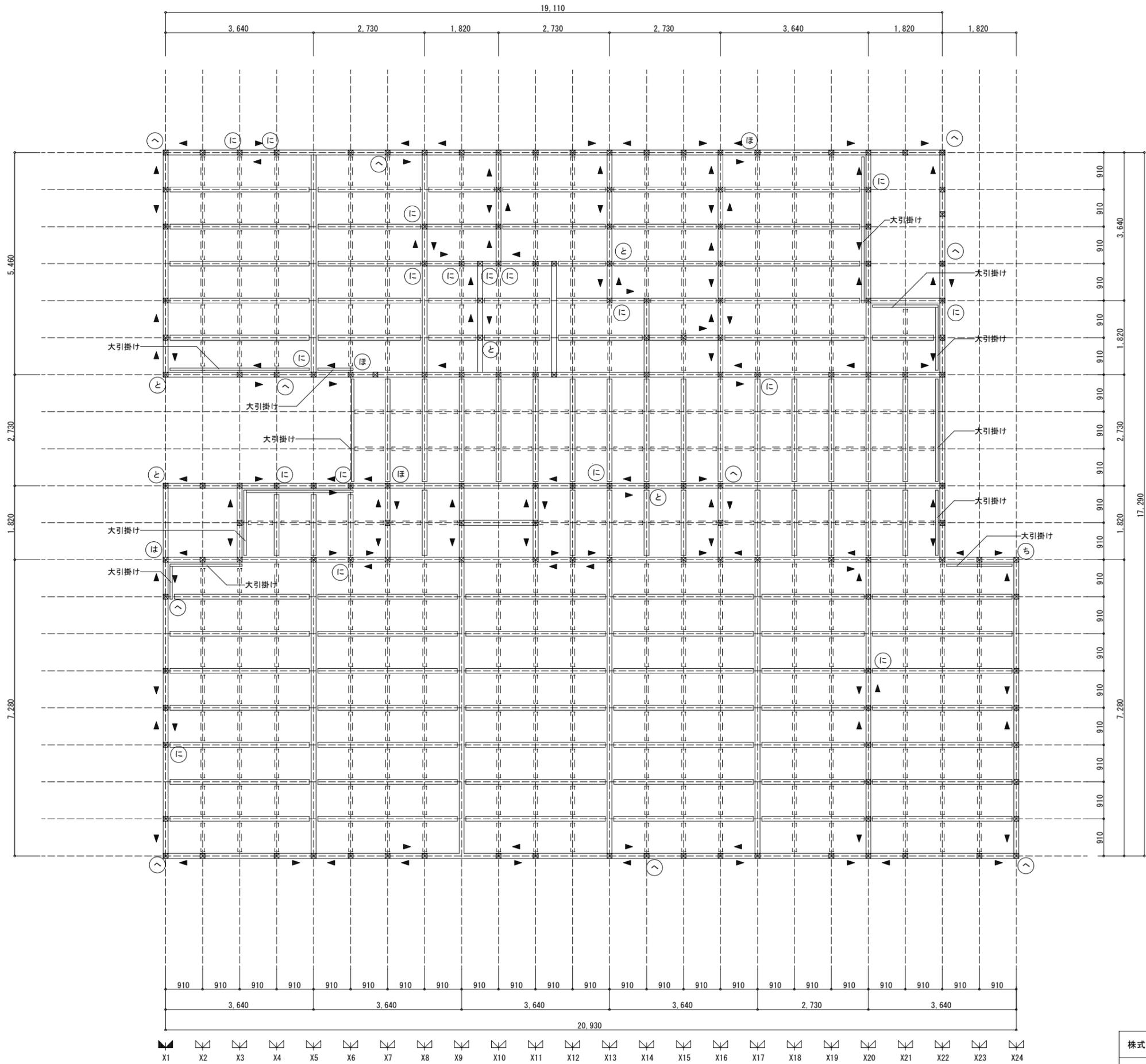


凡例	
	べた基礎コンクリート FS1 t=200 D13@200(30) (ダブル) 天端: GL+200 (特記なき限り)
	ピット範囲 べた基礎天端: GL-150
	A-BOLT M12 L=450 @2000以内 角座金 4.5×40×40 特記なき限り、柱芯より200ずらしとし、アンボルトの出は、ねじ3山以上とする 土台上部端部 (オス) 側にアンカーを設けること
	A-BOLT A90 M 16 ネルが金物及び基礎に緊結 特記なき限り、柱芯より120ずらしとする
	束 (鋼製)

基礎伏図	
使用材料	
1. コンクリート 躯体 土間 捨てコン	Fc= 24N/mm ² Fc= 18N/mm ² Fc= 18N/mm ²
2. 鉄筋	D16以下 SD295A 重ね継ぎ手
3. 地耐力	20kN/m ² 平板載荷試験実施。位置は建物中央(1ヶ所)とし、詳細は監督職員指示による。
4. 砕石	基礎、基礎梁下 C-40 土間下 RC-40
	水セメント比 50%以下 スランプ 18cm以下 単位水量 185kg/m ³ 以下 単位セメント量 270kg/m ³ 以上 空気量 4~6%



株式会社 ERCデザイン 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田寛彦	株式会社 黒川建築事務所 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善彦彦	平針住宅集会所建設工事 基礎伏図 縮尺 A1: 1/20, 1/50 A3: 1/40, 1/100	図面番号 No. S04
株式会社 黒川建築事務所 代表取締役 黒川 善彦彦 平成29年3月		愛知県建設部建築局公営住宅課	



凡 例	
	管 柱 (檜 KD) 120×120 JAS構造用製材
	土 台 (檜 KD) 120×120 (防蟻処理) JAS構造用製材
	大引 105×105 @910 (檜 KD) JAS構造用製材
	大引掛 60×105 (檜 KD) JAS構造用製材
	90×90 (檜 1等) JAS構造用製材
	床下地 構造用合板 t=28 N50@150以内
	間柱 (杉 1等) 45×120 設置位置は平面詳細図参照
	筋かい 45×90 (杉 1等) 筋かいプレートBP同等取付
	山形プレート (同等品)
	羽子板ボルトまたは短冊金物 (同等品)
	羽子板ボルト+スクリーナ釘 (同等品)
	ホールド金物 S-HD10 (同等品) 基礎緊結 1-M 16
	ホールド金物 S-HD15 (同等品) 基礎緊結 1-M 16
	ホールド金物 S-HD20 (同等品) 基礎緊結 1-M 16

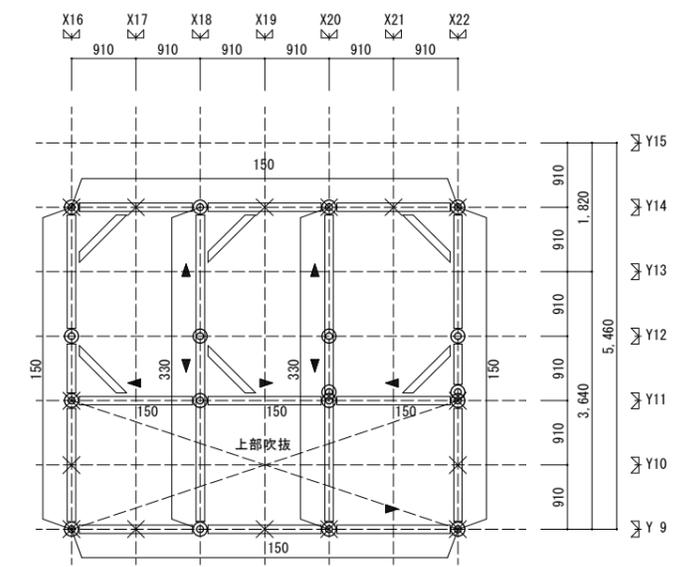
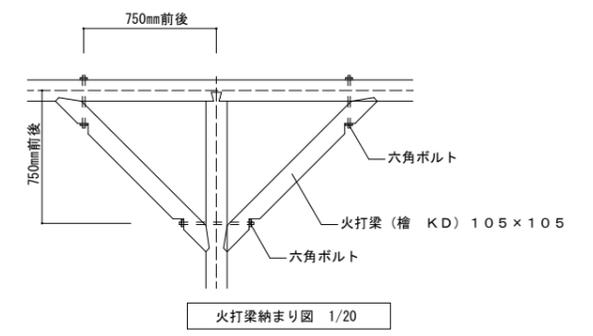
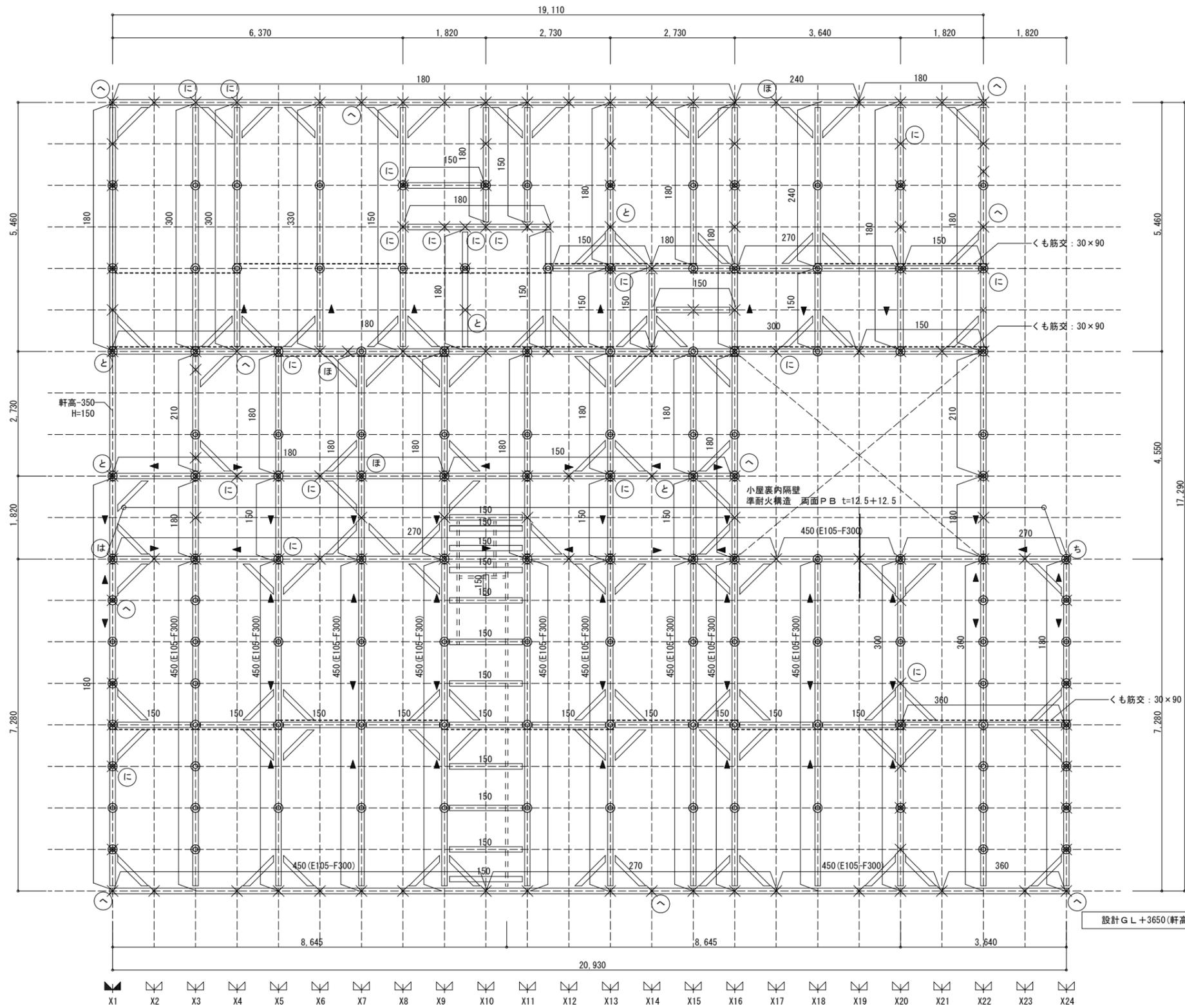
・特記なき柱仕口部はかど金物 (T型) 同等金物
 ・筋かい (小屋共) は筋かいプレートBP同等又は
 ボルト締めM12 (見掛部は垂鉛ひき) とする

地面から高さが1m以内の外壁の軸組及び土台は
 防蟻・防蟻処理を施すこと。
 床下換気は、土台ハッチ20による。
 敷き込み間隔は、@900以内とする。

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15 X16 X17 X18 X19 X20 X21 X22 X23 X24

土台伏図

株式会社 ERCデザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅集会所建設工事	図面番号
一級建築士 登録第25638号 構造設計一級建築士登録番号 第3660号 代表取締役 池田克彦	一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦	土台伏図	縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100 No. S05
機 製 設 計 図 図 平 成 29 年 3 月		愛知県建設部建築局公営住宅課	

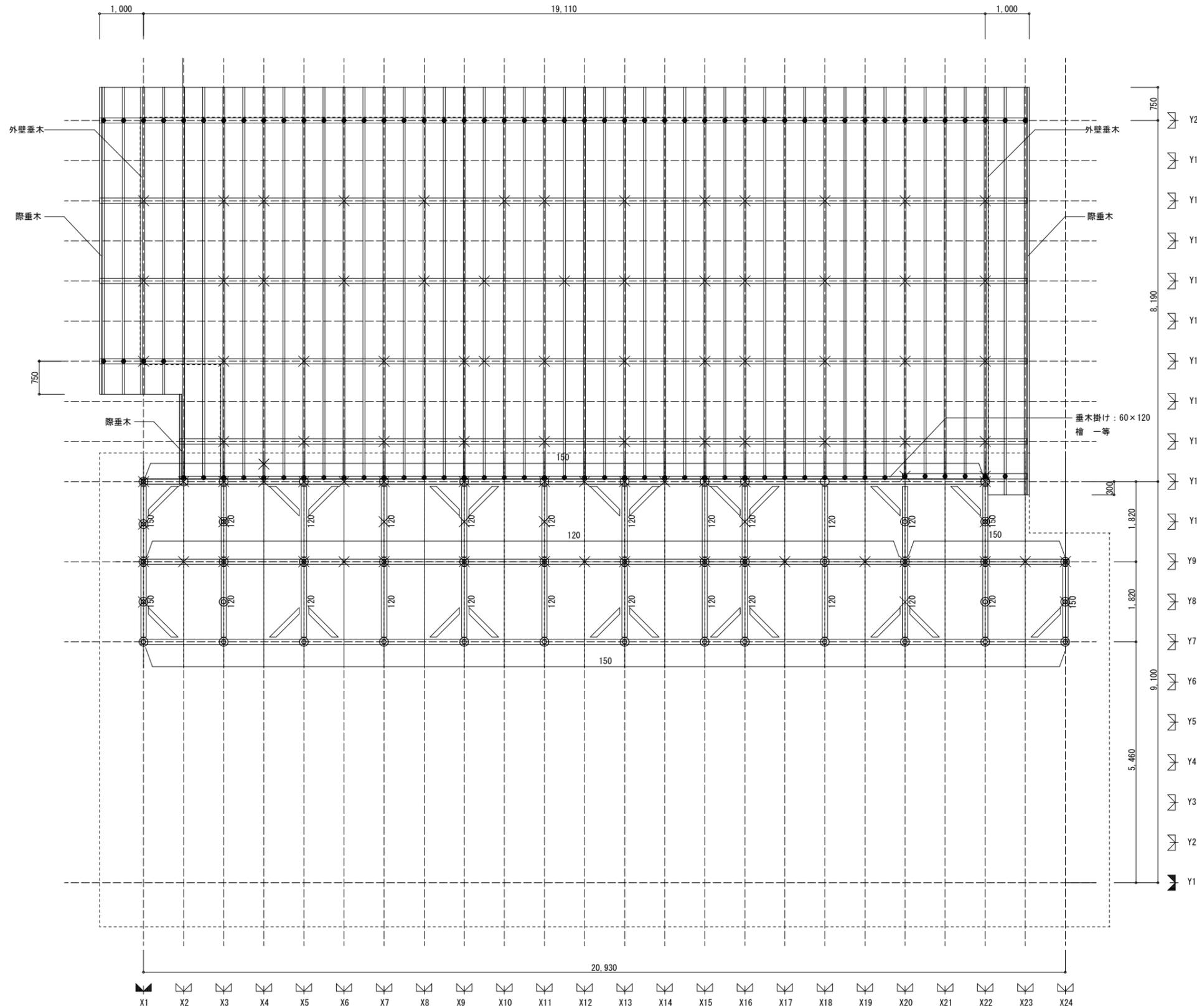


設計 G L +4250

凡例	
150	梁、桁 (檜 KD) 梁幅 120 JAS構造用製材
	構造用集成材 (E105-F300) 仕上用 ※数字は梁せいを示す
⊙	束 (檜 KD) 120×120
×	下階柱を示す
▽	火打梁 (檜 KD) 105×105
----	くも筋交 (杉 1等) 30×90
は	かど金物 CP-T (同等品)
に	羽子板ボルトまたは短冊金物 (同等品)
ほ	羽子板ボルト+スクリュー釘 (同等品)
へ	ホ-ル'の金物 S-HD10 (同等品) 基礎緊結 1-M16
と	ホ-ル'の金物 S-HD15 (同等品) 基礎緊結 1-M16
ち	ホ-ル'の金物 S-HD20 (同等品) 基礎緊結 1-M16
(上側) (下側)	方づえ 45×90 (杉 1等) 仕口金物はBP同等品以上とする
・特記なき柱仕口部はかど金物 (T型) 同等金物 ・筋かい (小屋共) は筋かいプレートBP同等又は ボルト締めM12 (見掛部は垂鉛ワキ) とする	



株式会社 ERCデザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅集会所建設工事	図面番号
一級建築士 登録第25638号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田寛彦	一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦	小屋伏図	縮尺 A1 : 1/20, 1/50 A3 : 1/40, 1/100 No. S06
機	製	設計	愛知県建設部建築局公営住宅課
図	図	平成29年 3月	

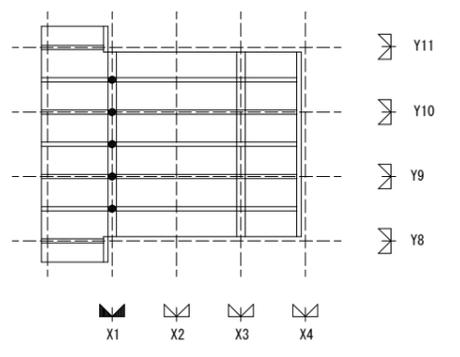
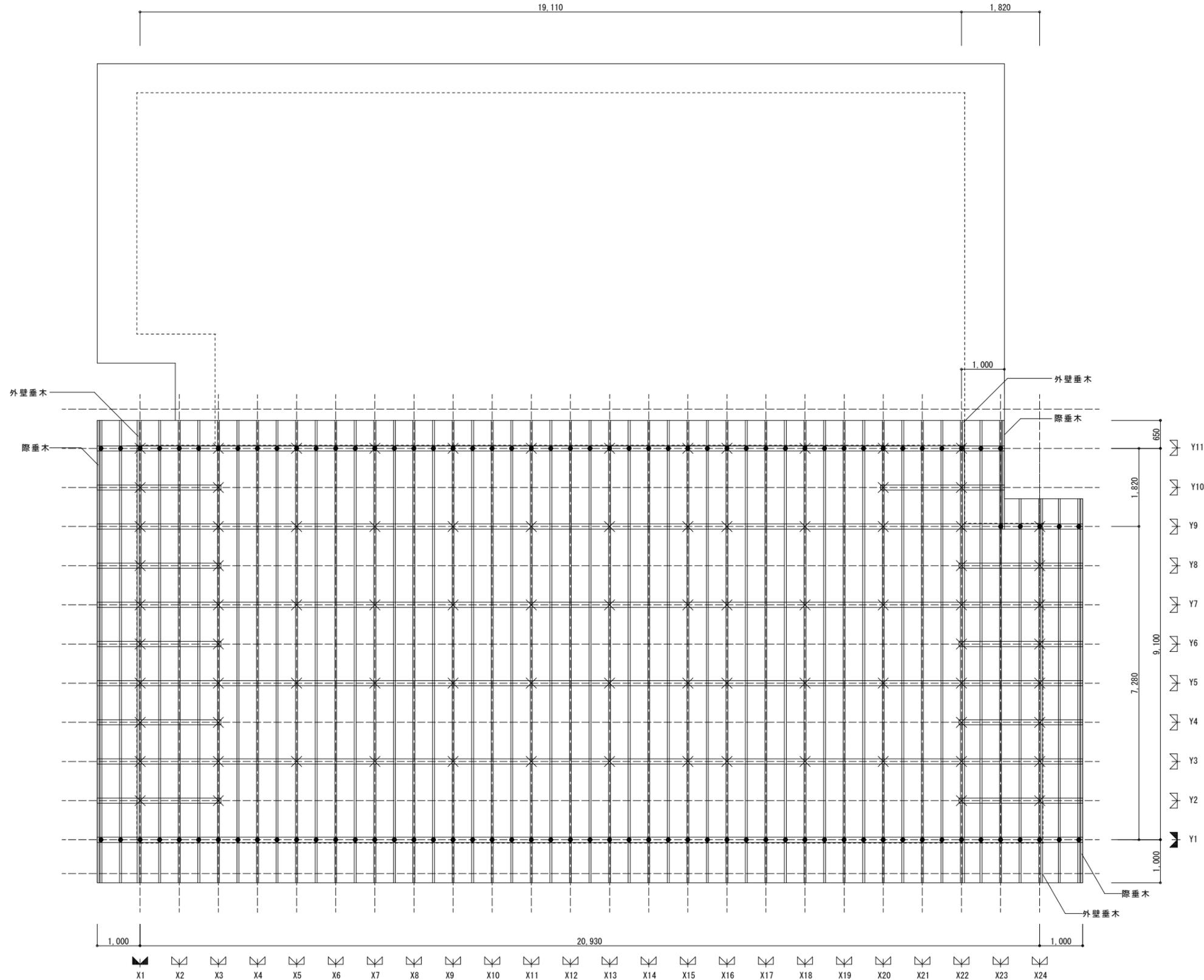


屋根伏図

小屋伏図 (設計 G.L.+5834)

凡 例	
	母屋 (檜 KD) 特記なき限り 120×120 @1,820 一部@910 JAS構造用製材
	垂木 (杉 特1等) 45×120@455
	クラ金物 (SS) によるタル木固定 を示し、表示のないタル木は、 ひねり金物 (ST) 固定とする。
	下階束を示す 小屋束 (檜 KD) 120×120
	梁、桁 (檜 KD) 梁幅 120 JAS構造用製材 構造用集成材 (E105-F300) 仕上用 ※数字は梁せいを示す
	束 (檜 KD) 120×120
	下階柱を示す
	火打梁 (檜 KD) 105×105

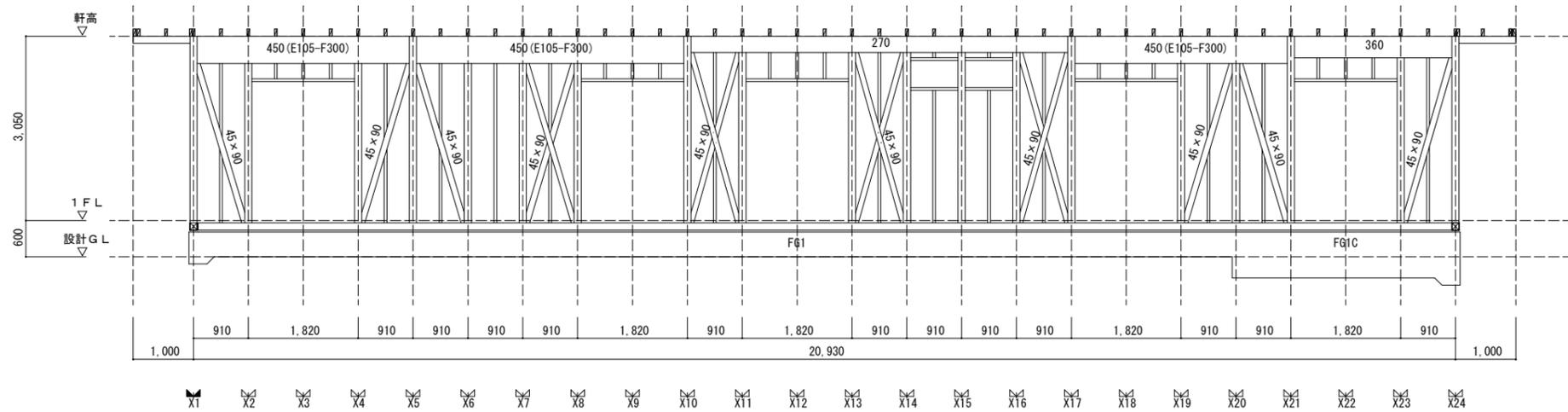
株式会社 ERCデザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅集会所建設工事		図面番号
一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田克彦	一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦	屋根伏図, 小屋伏図	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	No. S07
検 査 製 図 図 製 設計 平成29年 3月		愛知県建設部建築局公営住宅課		



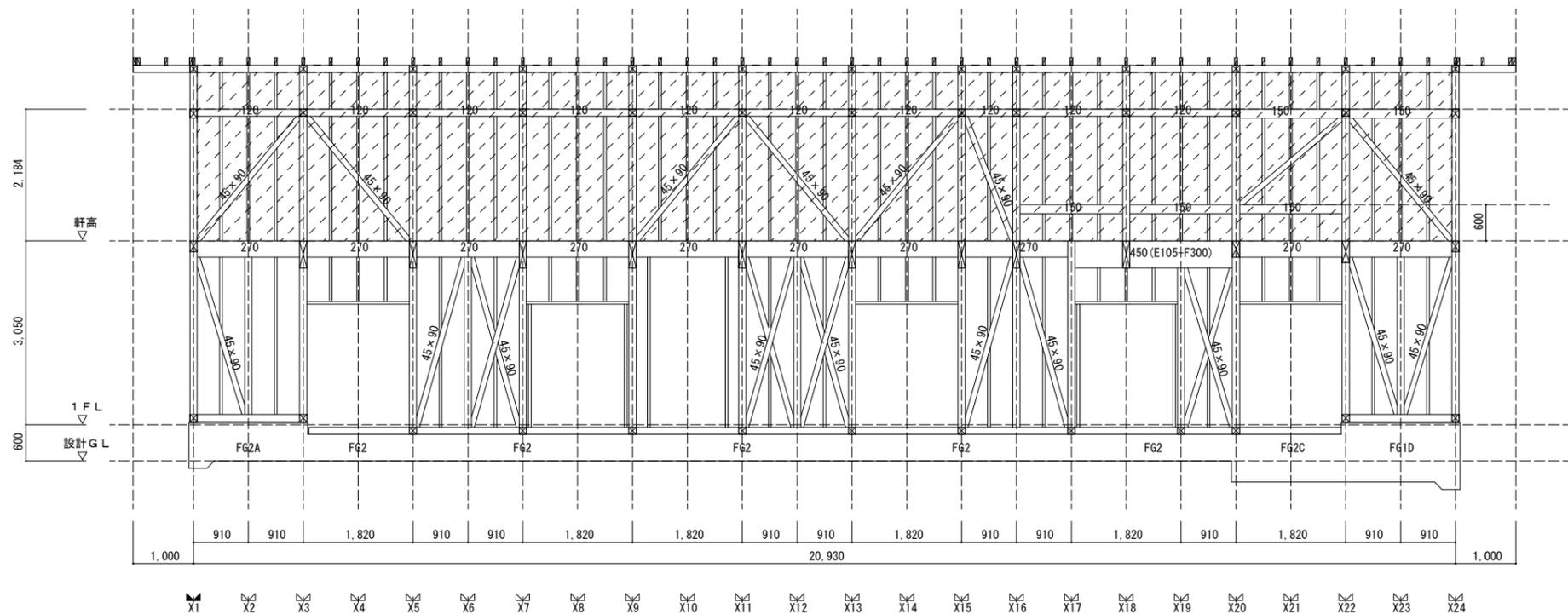
凡 例	
	母屋 (檜 KD) 特記なき限り 120×120 @1,820 一部@910 JAS構造用製材
	垂木 (杉 特1等) 45×120@455
	クラ金物 (SS) によるタル木固定 を示し、表示のないタル木は、 ひねり金物 (ST) 固定とする。
	下階束を示す 小屋束 (檜 KD) 120×120

屋根伏図

株式会社 ERCデザイン 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田克彦	株式会社 黒川建築事務所 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦	平針住宅集会所建設工事 屋根伏図 A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号 No. S08
検 製 設 計 図 図 図 図 平成29年 3月		愛知県建設部建築局公営住宅課	



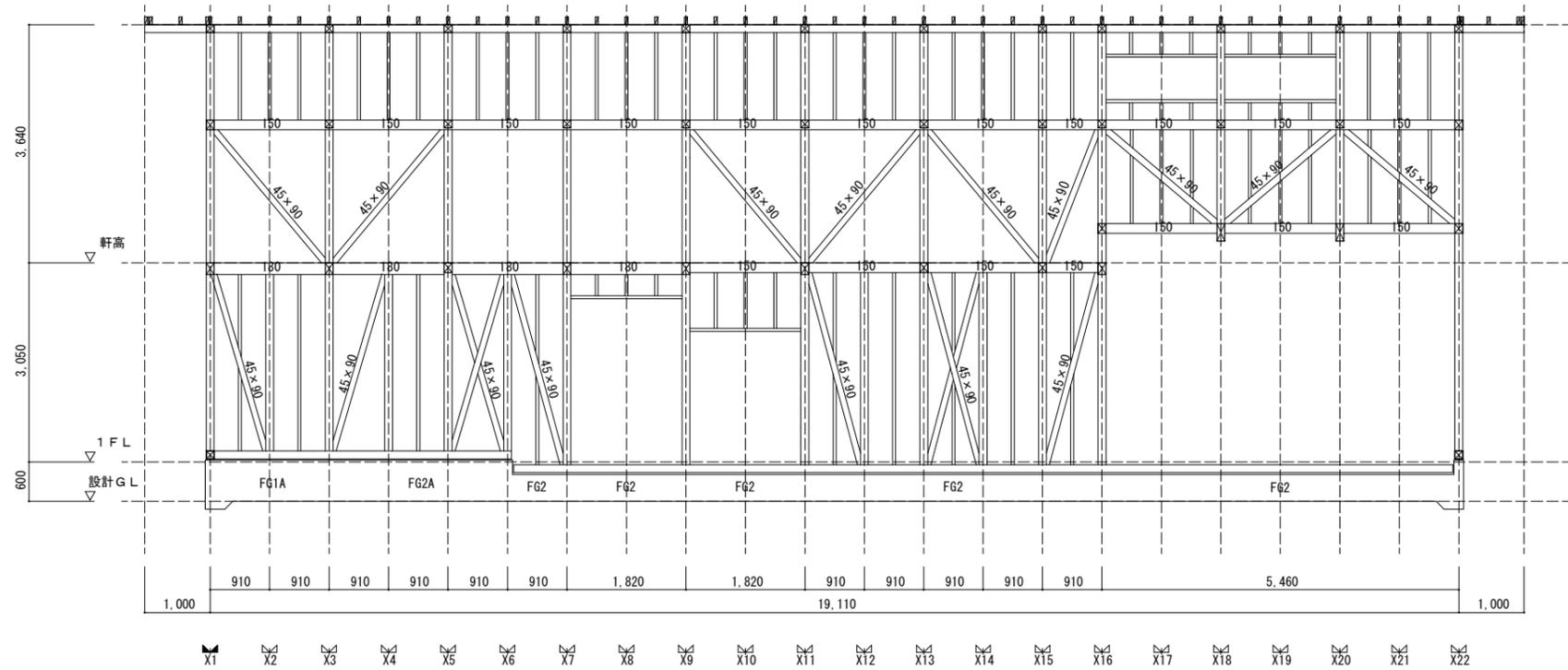
Y 1 通り



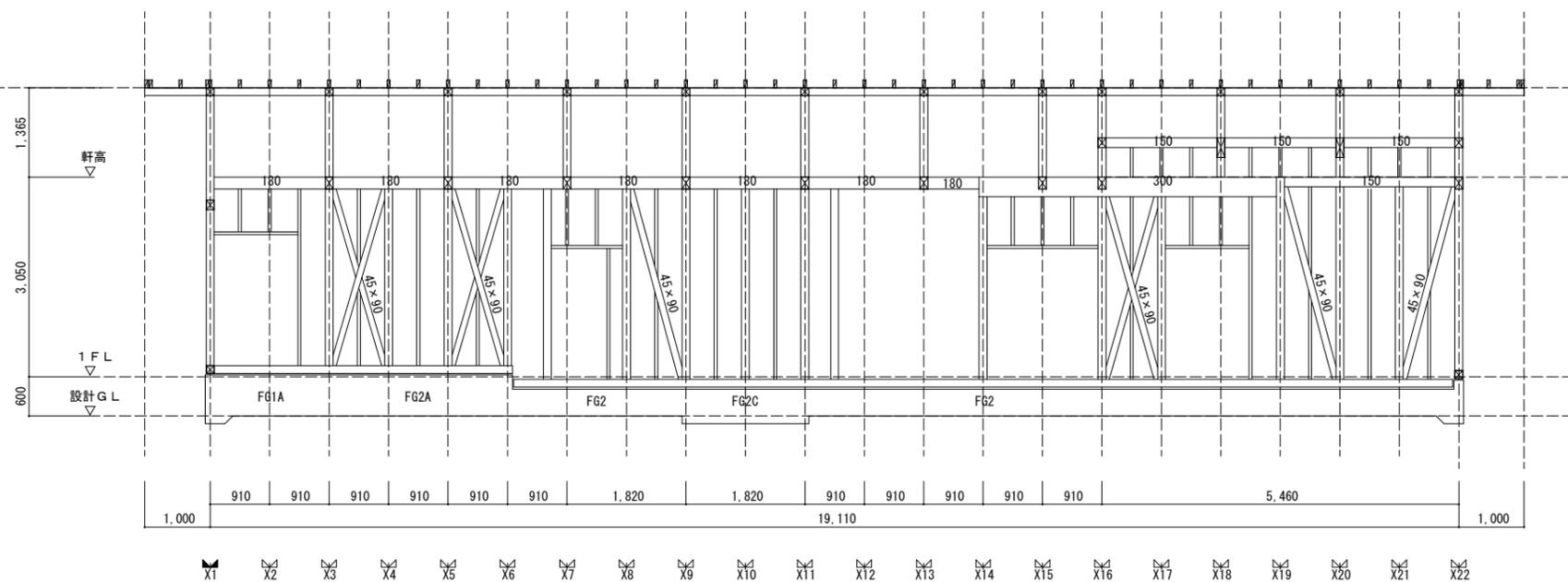
Y 9 通り

凡 例	
150	梁、桁 (檜 KD) 梁幅 120 JAS構造用製材 構造用集成材 (E105-F300) 仕上用 ※数字は梁せいを示す
	間柱 (杉 1等) 45 × 120
	筋かい 45 × 90 (杉 1等) 筋かいプレートBP同等取付
	方づえ (杉 1等) 45 × 90
	タル木 45 × 120 @ 455 (杉 1等) 棟・軒先部は、クラ金物 (SS) による固定、 上記以外は、ひねり金物 (ST) 固定とする
	準耐火構造 両面PB t=12.5+12.5
	・特記なき柱及び小屋束の仕口部は、 かど金物 (T型) 同等金物とする。 ・筋かい (小屋共) は筋かいプレートBP同等又は ボルト締めM12 (見掛部は垂鉛丸) とする

株式会社 ERCデザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅集会所建設工事		図面番号
一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3660号 代表取締役 池田寛彦	一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦	軸組図 (1)	縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	No. S09
機 製 設 計 図 図 平 成 29 年 3 月		愛知県建設部建築局公営住宅課		



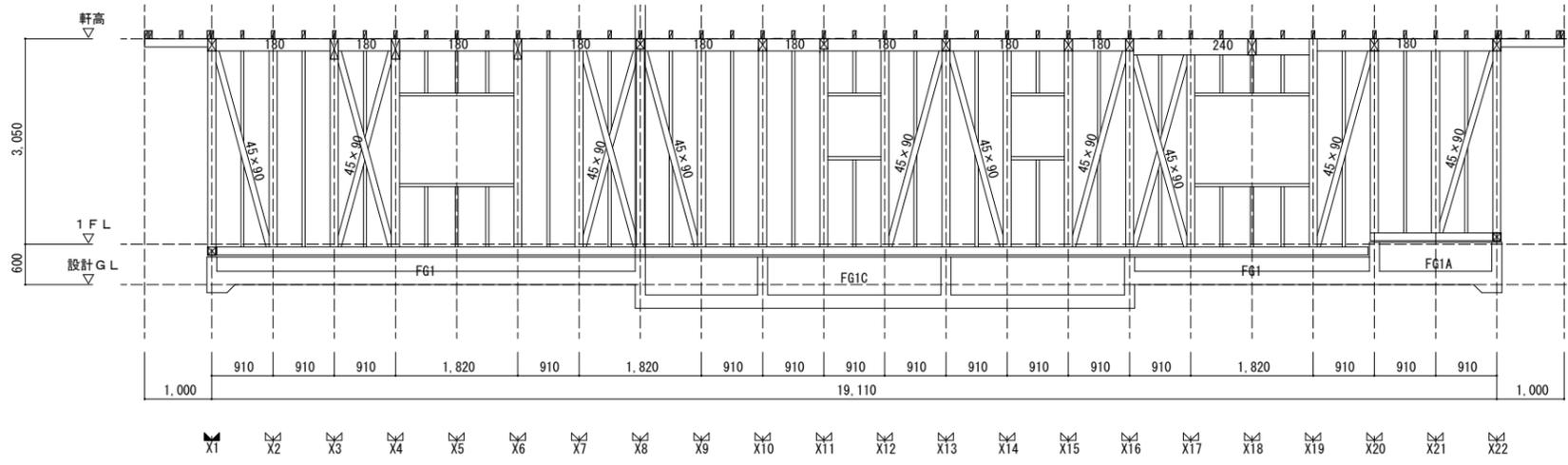
Y11通り



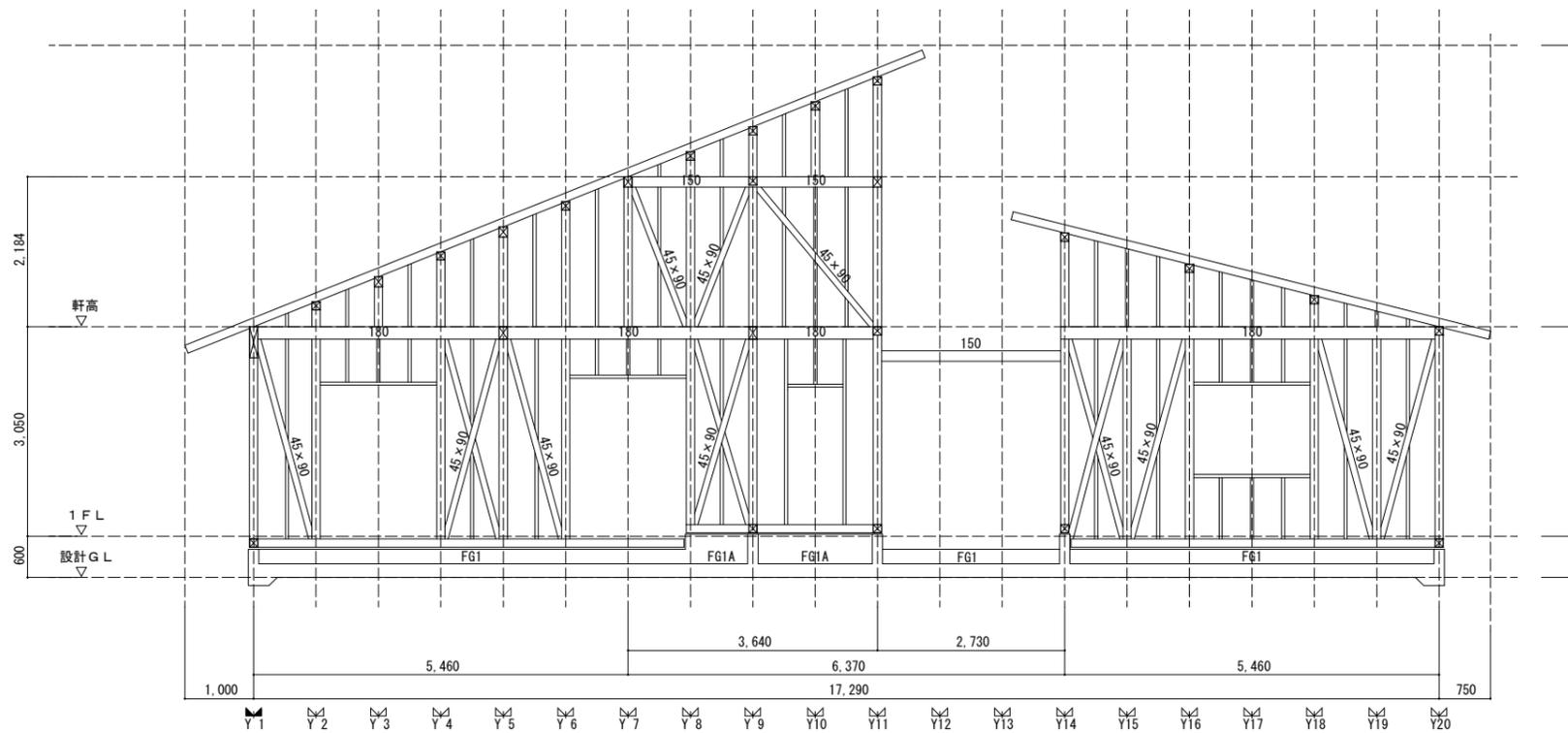
Y14通り

凡 例	
150	梁、桁 (檜 KD) 梁幅120 JAS構造用製材 構造用集成材 (E105-F300) 仕上用 ※数字は梁せいを示す
	間柱 (杉 1等) 45×120
	筋かい 45×90 (杉 1等) 筋かいプレートBP同等取付
	方づえ (杉 1等) 45×90
	タル木 45×120@455 (杉 1等) 棟・軒先部は、クラ金物 (SS) による固定、 上記以外は、ひねり金物 (ST) 固定とする
<ul style="list-style-type: none"> ・特記なき柱及び小屋束の仕口部は、かど金物 (T型) 同等金物とする。 ・筋かい (小屋共) は筋かいプレートBP同等又はボルト締めM12 (見掛部は垂鉛付) とする 	

株式会社 ERCデザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅集会所建設工事		図面番号
一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田寛彦	一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦	軸組図 (2)	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	No. S10
機 製 設 計 図 図 平 成 29 年 3 月		愛知県建設部建築局公営住宅課		



Y20通り



X1通り

凡 例	
150	梁、桁 (檜 KD) 梁幅120 JAS構造用製材 構造用集成材 (E105-F300) 仕上用 ※数字は梁せいを示す
	間柱 (杉 1等) 45×120
	筋かい 45×90 (杉1等) 筋かいプレートBP同等取付
	方づえ (杉 1等) 45×90
	タル木 45×120@455 (杉1等) 棟・軒先部は、クラ金物 (SS) による固定 上記以外は、ひねり金物 (ST) 固定とする
<ul style="list-style-type: none"> ・特記なき柱及び小屋束の仕口部は、かど金物 (T型) 同等金物とする。 ・筋かい (小屋共) は筋かいプレートBP同等又はボルト締めM12 (見掛部は垂鉛ノリ) とする 	

株式会社 ERCデザイン 一級建築士 登録第25638号 構造設計一級建築士登録番号 第3660号 代表取締役 池田寛彦	株式会社 黒川建築事務所 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦	平針住宅集会所建設工事 軸組図 (3)	縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	図面番号 No. S11
機 製 設 計 図 図 平 成 29 年 3 月		愛知県建設部建築局公営住宅課		